文部科学省認可通信教育

2026年度第2学期

面接授業シラバス
東海・北陸ブロック版

開講期間：2026年10月17日（土）～2027年1月24日（日）

放送大学
教養学部

面接授業シラバス（面接授業時間割表ブロック版）のペーパーレス化について

2026 年度第 1 学期まで、学生の皆様には「面接授業時間割表ブロック版」冊子をお送りしておりましたが、SDGs の目標 12「つくる責任 つかう責任」の廃棄物の大幅削減、目標 15「陸の豊かさも守ろう」の森林の保護の達成に向け、本学の「面接授業時間割表ブロック版」冊子につきましては、原則として印刷物はお送りしないこととなりました。

2026 年度第 2 学期の面接授業シラバスなどの詳細は、下記のウェブサイトでご覧ください。また、システム WAKABA シラバス検索では、開講曜日やキーワードによる検索ができ、ご希望にかなう授業が見つけやすくなりますのでぜひご活用ください。

【面接授業ウェブサイト】
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

【システム WAKABA シラバス検索】
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

面接授業シラバスをウェブサイトでご覧いただくことが難しい方へ
ご所属の学習センターで印刷物を配付します。

1．受取方法
（1） 窓口
所属学習センターの窓口で配付します。開所日時にご注意ください。
（2）郵送
面接授業シラバスを送付してほしい旨を便箋等に記載し、「お届け先」を記入したレターパック（ライト）と一緒に、所属学習センターまでお送りください。
印刷物を封入して返送します。学習センター所在地は、本冊子巻末に記載しています。

2．期限
2026 年 8 月 15 日（土）から 2026 年度第 2 学期の科目登録申請が始まりますので、その前までに窓口又は郵送で受け取るようお願いします。これより遅くなると、科目登録申請期限までにお渡しできない可能性がありますのであらかじめご了承ください。

※ご所属以外のブロック版の印刷物を希望する場合
各ブロックの**太字・下線**で示している学習センターで取扱っておりますのでお手続きください。

ブロックは以下７つに分かれています。
・北海道・東北ブロック（北海道、青森、岩手、**宮城**、秋田、山形、福島）
・北関東・甲信越ブロック（茨城、栃木、**群馬**、新潟、山梨、長野）
・南関東ブロック（埼玉、千葉、東京渋谷、**東京文京**、東京足立、東京多摩、神奈川）
・東海・北陸ブロック（富山、石川、福井、岐阜、静岡、**愛知**、三重）
・近畿ブロック（滋賀、京都、**大阪**、兵庫、奈良、和歌山）
・中国・四国ブロック（鳥取、島根、岡山、**広島**、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
・九州・沖縄ブロック（**福岡**、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

（ライブ Web 授業のシラバスは全てウェブ上で確認するようお願いしております。PDF、冊子は配付していませんのでご了承ください。）

【東海・北陸ブロック】の各学習センターで開設される2026年度第２学期面接授業のシラバスを掲載しています。各科目の授業概要や日程等の詳細をご確認ください。
科目登録の方法や履修にあたっての注意事項等は、「2026年度第２学期面接授業開設科目一覧」でご確認ください。

なお、東海・北陸ブロック以外のシラバスは、大学ウェブサイトからご参照いただけますので、ぜひご利用ください。

●面接授業ウェブサイト
全ブロックの面接授業シラバスをPDFで公開しています。
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

●WAKABAシラバス検索
科目名やフリーワードなどを条件指定し、放送授業・オンライン授業・面接授業・ライブWeb授業を横断的に検索することも可能ですので、ぜひご活用ください。
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

目　　次

● シラバス
- 富山学習センター …… 2
- 石川学習センター …… 12
- 福井学習センター …… 20
- 岐阜学習センター …… 32
- 静岡学習センター …… 46
- 浜松サテライトスペース …… 59
- 愛知学習センター …… 65
- 三重学習センター …… 90

● 各学習センター案内図 …… 97

【巻末資料】
● 追加登録申請書

科目コード	2694158
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**En+Joy English**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	16名
担当講師	リチャード・ブライアン・カーティス Richard B. Curtis 高岡法科大学非常勤講師
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では基本的な英語の会話を構築する方法を学びます。特にジェスチャーやアイコンタクトなどの非言語的コミュニケーションに焦点を当てて学び、各回ごとにそれらを活かした実践会話をしていただきます。
【到達目標】
コミュニケーション活動に必要となる簡単な単語と文法を身に付けて、自信を持って周りの人と簡単な英会話が出来る様になる。
【授業テーマ】
第1回 英語での面接のやり方を学ぶ
第2回 好きと嫌いの表現方法を学ぶ
第3回 単数形と複数形の使い方を学ぶ
第4回 頻度を表す副詞の使い方を学ぶ
第5回 テーマに沿った会話１：家族や親せきについて話す
第6回 テーマに沿った会話２：週末何をして過ごしたかを話す
第7回 発表に向けての準備
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
各回ごとに学んだことを実践会話していただきます。ジェスチャーやアイコンタクトは特に大切です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び、2名ずつペアを作りスピーキングテストにて行います。

【受講者が当日用意するもの】
辞書（電子辞書又は紙の辞書）やスマートフォン等の英単語が調べられる物をお持ちください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・Talk a Lot, Starter Book（David Martin／EFL Press／¥2,750／ISBN=4580244420117）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2694166
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**視知覚の心理学と神経科学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	イド　ケイスケ 井戸　啓介 富山県立大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
現代の心理学は、脳神経科学とも深いつながりを持っています。この講義では、人間の知覚・認知について、「視覚」を題材とし、視知覚の諸現象（たとえば錯視現象）について実験心理学的研究を紹介するとともに、神経科学とも関連させて解説を行います。
【到達目標】
実験心理学分野での重要なテーマである人間の視知覚・視覚認知の特性を理解し、その背景にあるメカニズムを心理学および神経科学・脳科学の観点から考えること・説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 視知覚研究の意義と科学的な考え方
第2回 知覚心理学を理解するための神経科学的基礎
第3回 視知覚の研究手法
第4回「色」の知覚：現象とメカニズム（1）
第5回「色」の知覚：現象とメカニズム（2）
第6回「かたち」「動き」の知覚：現象とメカニズム（1）
第7回「かたち」「動き」の知覚：現象とメカニズム（2）
第8回 視覚の障害と神経科学
【学生へのメッセージ】
「心理学の入門的講義、概論」を学んでいることに加え、「心理学実験」または「心理学研究法」を学んでいることを前提として授業を行います。
【受講前の準備学習等】
心理学の概論・入門的な教科書の中の「知覚（視覚）心理学」、「実験」や「研究法」の授業の教科書を読んで理解を深めておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・心理学概論（森津太子、向田久美子／放送大学教育振興会／¥2,640／ISBN=9784595324475）
・心理学研究法（三浦麻子／放送大学教育振興会／¥2,750／ISBN=9784595321771）
・心理学統計法（清水裕士／放送大学教育振興会／¥2,970／ISBN=9784595322457）
・神経・生理心理学（高瀬堅吉／放送大学教育振興会／¥3,080／ISBN=9784595323171）
・知覚・認知心理学（石口彰／放送大学教育振興会／¥3,080／ISBN=9784595323850）

【その他（特記事項）】
参考図書は、授業時に紹介します。

科目コード	2689189
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	16名
担当講師	マツオ　アイ 松尾　藍 松本大学専任講師
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、様々な心理検査の理論や仕組みについて学びます。また、受講生自身が被検者となって３つの心理検査を実際に体験し、各心理検査の特徴や限界、そして倫理的問題についての理解を深めます。加えて、検査結果を解釈し、レポートを作成する過程において、自己理解を深めることも目的とします。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、３つの心理検査全てについて標準的なレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション　心理検査の成り立ちとその種類
第2回 心理検査の利用と倫理
第3回 心理検査実習１　Locus of Control尺度
第4回 心理測定尺度の尺度構成（信頼性と妥当性）
第5回 レポートの書き方
第6回 心理検査実習２　NEO-PI-R人格検査
第7回 心理検査実習３　20答法
第8回 総合的理解のために（テストバッテリー）

【学生へのメッセージ】
心理学概論や心理統計の基礎等は既に理解しているものとして授業を進めます。不足分は各自補った上で受講してください。本科目で実施する３つの心理検査を通し、ご自身を振り返るきっかけとなれば幸いです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆、消しゴム（心理検査への回答に使用）、電卓、定規（検査結果の集計及びプロフィールの作成に使用）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	16名
担当講師	ツボミ　ヒロユキ 坪見　博之 富山大学教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

現代心理学では心を科学的に測定することで研究が進められますが、目に見えない心はどのようにして測ればいいのでしょうか。本講義では、実験を通じた心の測定法に習熟するため、3つの心理学実験（ストループ効果、逆向抑制、触二点閾の測定）を取り上げます。受講生の皆さんは、実験者や参加者として実験を行い、心理学の仮説設定・実験の方法・統計学によるデータ整理・レポートの書き方について理解することを目指します。※原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学における実験とは何か（講義）
第2回 ストループ効果（実験）
第3回 ストループ効果（データ解析と解説）
第4回 心理学実験のレポートの書き方
第5回 逆向抑制（実験）
第6回 逆向抑制（データ解析と解説）
第7回 触二点閾（実験）
第8回 触二点閾（データ解析と解説）
【学生へのメッセージ】
実験の実施やデータの整理にはパソコンを使用します。インターネットへの接続と、インターネット上からデータをダウンロードして保存することに慣れておいてください。
【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
事後には、資料を見ながら授業内容を振り返り、実験レポートを作成してください。
システムWAKABAにログインして、キャンパスメールを読み書きできるようにしておいてください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学や他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20)、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
二つ穴を開けたプリントを配布しますのでA4のリングファイルを用意してください。
この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
OSの種類は問いませんが（Windows、macOS、ChromeOS等）、次の3点を満たすことが必要です。
(1) Word、Excel、PowerPointの3つがすべてインストールされていること（バージョンは問いません）。3つすべてがインストールされてないと、実験ができません。
(2) Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox-、Safariのいずれかでインターネットに繋げること（バージョンは問いません）。
(3) マウスの使用を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
(1) 心理学実験について
色識別を要する実験課題があります。
心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
(2) パソコン操作について
パソコン操作に習熟されていることが履修条件です。
（Excelに文字や数値を入力する。指定されたファイルを記憶装置（USBメモリー等）にコピー・保存する。）
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694174
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**学校における 情報活用能力の育成**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	コバヤシ　ユウキ 小林　祐紀 放送大学准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では、学校教育（主に小学校、中学校）で重視される情報活用能力について、学習指導要領等の文部科学省から公開されている資料をもとに基本となる考え方（理論）を学び、理解を深めます。また、学校教育の現場で行われている授業事例の解説を通して、実践的な理解を図っていきます。
また授業では、情報活用能力の育成を意図した教育実践について、体験的に学ぶことを想定しています。具体的には汎用のクラウドツール（ホワイトボードアプリやチャット等）を使って、授業内容について考えや感想を書き込み、相互に見合い、議論するような活動を取り入れる予定です。
【到達目標】
学校教育における情報活用能力について、基本的な知識と考え方を理解し、さらに授業づくりの要点や学習効果等について、的確に判断できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 社会の変化と学校における情報活用能力の育成
第2回 情報活用能力を整理する試み
第3回 問題解決・探究における情報活用
第4回 学校における情報モラル教育
第5回 小学校段階におけるプログラミング教育の充実
第6回 情報活用能力の育成に着目した教員研修
第7回 教師に求められるIT・情報リテラシー
第8回 情報活用能力育成のこれから
【学生へのメッセージ】
授業は初等中等教育の今に焦点を当てています。自分の受けてきた授業をもとに形成した「教育とはこうあるべきだ」といった固定観念は、学習を阻害しかねません。その点は十分に留意してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、参考図書等で示した資料をもとに予習・復習に努めてください。分からない専門用語は、積極的に調べるようにしてください。また、授業で扱ったICTの具体的な活用方法について、ご自身で試してみることで学習内容の深い理解につなげてください。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。
なお、レポートのテーマは『情報活用能力を育成するための授業実践のポイント』です。
レポートは持参するコンピュータ等を利用して作成します。現時点の予定では、作成後にGoogleClassroomを利用して、Classroom内のフォルダーへ提出します。最終提出形態については各自で可読性があることを確認の上提出してください。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンまたはタブレットを持参してください（スマートフォンは不可）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
３．ソフトのインストール
　ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。推奨ブラウザはGoogle Chromeです。
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・[図解]AI時代の教師が知っておきたいIT・情報リテラシー　校務DXに必要な基礎知識（小林祐紀、郡司竜平、安井政樹（編著）／インプレス／¥1,870）
・教育の情報化に関する手引-追補版-（令和2年6月）（文部科学省／文部科学省／¥0）
　以下のURLから閲覧可能です。
　https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html
・初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）（文部科学省／文部科学省／¥0）
　以下のURLから閲覧可能です。
　https://www.mext.go.jp/a_menu/other/mext_02412.html
・小学校プログラミング教育の手引（第三版）（文部科学省／文部科学省／¥0）
　以下のURLから閲覧可能です。
　https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1403162.htm

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694182
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**心理学特別講義**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	イシヅ　ケンイチロウ 石津　憲一郎 富山大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学を「心」についての科学的アプローチとして位置付け、その歴史的経緯と現在までに明らかになっている知見を紹介します。心理学は哲学、教育学、経済学、物理学、情報工学、生理学など、様々な領域と関連をもつ学問です。したがって他の学問領域とも本講義の内容をつなげていくことを期待します。
【到達目標】
本講義では、こころとは何かというテーマに対して、心理学の基礎的知識を修得しながら、それを教育等、他者との交流に生かすための視点を獲得できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 記憶の仕組みとその変容
第2回 学習心理学の基礎
第3回 学習心理学の応用
第4回 社会心理学と対人交流
第5回 感情心理学
第6回 動機づけの心理学
第7回 パーソナリティ心理学
第8回 発達心理学
【受講前の準備学習等】
「グラフィック心理学」などを参考に、心理学の基礎を事前に学習しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・グラフィック心理学（北尾倫彦／サイエンス社／¥1,980／ISBN=9784781908250）

科目コード	2694204
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**社会と教育**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	タカヤマ　リュウタロウ 高山　龍太郎 富山大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、日本における不登校をめぐる状況を手がかりに、学校や義務教育と社会のあり方について考えていく。
最初に、統計等を用いて、不登校の現状を確認する。次に、不登校が社会の中でどのように語られてきたのかを、簡単な資料を用いながら確認する。そのうえで、学校以外の場所で子どもたちを支える取り組みを紹介し、不登校の子どもたちがどのような環境で学びや生活を送っているのかを見ていく。
授業では、不登校を「個人の問題」として捉える見方と、「社会や制度との関係の中で生じるもの」として捉える見方について考える。また、不登校の子どもへの学びの保障を目的として制定された教育機会確保法について、その考え方や背景を分かりやすく解説する。
後半では、学校に通わない子どもへの公的な支援の仕組みや、海外における教育費支給の制度を紹介し、日本の義務教育制度との違いについて考える。
授業全体を通して、不登校という現象を一つの入り口として、「義務教育とは何か」「社会はどのように子どもの学びを支えるべきか」について、受講生一人ひとりが自分なりに考えることを目標とする。
【到達目標】
(1) 日本における不登校の状況について、基本的な考え方や背景を説明できるようになる。
(2) 不登校をめぐるさまざまな見方や支援の方法があることを理解し、それぞれの特徴を整理できるようになる。
(3) 義務教育や学校の役割について、自身の経験や関心と結びつけながら考えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 不登校という現象を知る
第2回 学校以外の学びの場を知る
第3回 不登校をめぐる考え方の整理
第4回 教育機会確保法の考え方と仕組み
第5回 不登校の子どもを支える制度
第6回 海外の教育費支給の事例
第7回 義務教育のあり方を考える
第8回 まとめ、質疑応答、ディスカッション
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・「多様な教育機会」をつむぐ――ジレンマとともにある可能性（森直人・澤田稔・金子良事編著／明石書店／¥3,300／ISBN=4750358061）

科目コード	2694190
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**日常生活のなかの犯罪と法律**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	ニシオ　ノリコ 西尾　憲子 高岡法科大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちの日常生活のなかでは、いろいろなことが起きています。その事象の中には、起きていることの原因や問題点があり、それを解決するために、法律や法制度というツールを使って、正解がわからない課題や問題に対する検討が必要になります。こうした検討において、すべての人が安心して生活していくため、そこにある課題を解決するためには何が必要なのかについて一緒に考えましょう。

【到達目標】
日常生活のなかで起きていることについて、学んだことを土台として冷静かつ客観的に見ることができるようになり、私たちでもできることを検討することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 日常生活のなかで起きていることと法律の関係
第2回 犯罪と刑罰
第3回 交通事犯とその対応
第4回 薬物事犯とその対応
第5回 少年たちをめぐる犯罪・非行とその対応
第6回 女性犯罪とその対応
第7回 高齢社会のなかでの犯罪とその対応
第8回 刑事政策と犯罪学及び被害者学

【学生へのメッセージ】
この授業では、私たちが生活している社会に起きていることに興味関心を持っていただきたいと思います。
起きていること、特に、社会問題になっていることについて、どのように解決すればよいのか話し合いましょう。
講義テーマとして直接挙げていない内容であっても、そのとき、いま社会で起きていることについて、受講生のみなさんが興味関心を持っていることがあれば、講義のなかで一緒に考えていきたいと思っています。
みなさんが積極的に参加していただける課題解決型ディスカッションができる講義にしていきたいと思います。

【受講前の準備学習等】
いまのこの社会のなかで起きていることについて、何が問題なのか、いまの法制度で解決できるかどうか、必要な対応策は何か、など自分なりに考えておいてください。そして、単にニュースやインターネットに表示される内容だけでは判断できないということも考慮したうえで考えておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694212	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 本講義では富山を事例としてこれまでとこれからの地域づくりについて考えます。富山の自然環境、時代変化、そして人口や産業について整理し、それに立脚して将来の地域づくりのあり方について検討します。授業中、地域の現状を把握するために、地理院地図（国土地理院が提供するweb地図）とRESAS（地域経済分析支援システム）をインターネットを通じて閲覧する機会があるので、準備をお願いします。 **【到達目標】** ・地域の統計をみて、地域差や地域の特色を読み取り、説明することができる。 ・地域の統計を使って、地域を分析する手続きを理解し、地域の特色を表す統計地図を作ることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 地理空間情報と社会 第2回 統計地図で見る富山 第3回 地理院地図と今昔マップでみる富山 第4回 政府統計の活用 第5回 RESASの活用 第6回 統計地図を作ってみよう（1） 第7回 統計地図を作ってみよう（2） 第8回 富山の未来像を考える **【学生へのメッセージ】** 地理空間情報を活用して富山県や身近な地域について考えます。授業ではインターネットでオープンデータを活用したり、表計算ソフトで統計を整理したりします。エクセルの利用について、難しい操作はありません。簡単な表計算の経験があれば授業を履修して困ることはないです。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 インターネットへの接続が必要です。 学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	富山学習センター		
学習センターコード	16A		
クラスコード	K		
科目名	**地理空間情報を通してみる富山**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	オオニシ　コウジ 大西　宏治 富山大学教授		
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	富山学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 １．持参する端末 種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましい）。 ２　OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 ３．ソフトのインストール Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox、Safariのいずれかでインターネットに繋げる必要があります（バージョンは問いません）。 表計算ソフト（Excelなど）が必要です。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694220
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**文化財と科学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ナガエ　タケカズ 長柄　毅一 富山大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、文化財とはどのようなものかを知り、その魅力や価値を理解することから始めます。さらに、文化財を科学の力で調べると、材料や製作方法、歴史的背景まで多くのことがわかることを学びます。目で見る観察から、X線や赤外線などを使った非破壊分析、年代を調べる方法まで、文化財研究を支える科学技術をわかりやすく紹介します。また、文化財がどのように傷み、どのように守られているのかを知り、未来に残すために私たちができることを考えます。デジタル技術や市民参加の取り組みにも触れ、文化財を社会全体で守る意義を学ぶ授業です。

【到達目標】
1．文化財の科学的調査方法の意義について説明できる。
2．X線などを用いた文化財の非破壊分析法の原理を説明できる。
3．文化財が傷む理由を理解し、これを守るためにどのようなことができるかを考えることができる。

【授業テーマ】
第1回 文化財の種類　-文化財とはなにか
第2回 文化財分析の意義 -なぜ、科学的調査が必要なのか
第3回 材料から読み解く文化財の歴史
第4回 文化財をみる　（目視からマイクロスコープまで）
第5回 文化財の劣化と保存　-科学が守る未来
第6回 非破壊分析の世界　-文化財を傷付けずに調べる技術
第7回 文化財の年齢を調べる
第8回 文化財科学の未来と市民参加　みんなで守る文化財

【学生へのメッセージ】
文化財は昔のものを眺めるだけではありません。科学で調べると、作り方や歴史、人々の暮らしまで見えてきます。X線で中身をのぞいたり、年代を測ったり、まるで“文化財の探偵”になるような体験ができる授業です。未来へ残す方法も一緒に考えましょう。

【受講前の準備学習等】
授業開始までに、様々な博物館のウエブサイトにアクセスし、文化財に親しんでおいてください。
国立博物館総合目録検索システム　https://www.bunka.go.jp/nmportal/　では、国立博物館所蔵の文化財を検索することが可能です。そのほか、奈良県立橿原考古学研究所付属博物館や泉屋博古館など、興味深い展示がみられる博物館が数多くありますので、ぜひ、事前に閲覧をお願いします。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・文化財保存科学ノート（沢田正昭／近未来社／¥2,619／ISBN=9784906431076）

科目コード	2694239
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**言語学入門**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	20名
担当講師	クレビト　メグミ 呉人　恵 北海道立北方民族博物館館長
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月13日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、まず世界や日本の諸言語、富山方言をはじめとする日本語の諸方言を概観します。次に、品詞分類をはじめ、格、数、人称、時制等々、これまで国語や英語の授業で聞いたことはあるけれど、正確なところは今一つわからないといった様々な文法カテゴリーについて概説します。その際、言語学の入門的な授業であることをふまえ、日本語とその他の諸言語を比較対照しながら、できるだけ高度な専門用語は避け、わかりやすくそれらのカテゴリーについて分析し、敷居が高いという印象の文法の面白さに触れていただきます。
【到達目標】
・ことばをめぐる様々な事象を考察・分析することにより、言語学とはどのような学問なのかを正しく理解できるようになる。
・ことばについてこれまで抱いていた先入観を排し、客観的かつ科学的にことばを考察できるようになる。
・ことばの興味深い現象を自分で発見できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 世界の諸言語の分布、系統、類型、現状
第2回 日本の諸言語と諸方言の分布、歴史、系統、類型、現状
第3回 品詞分類とはなにか？：日本語などを通してみたその難しさと面白さ
第4回 格とはなにか？：言語によって異なる主語と目的語の表し方
第5回 数とはなにか？：数のない日本語、４数まで区別する言語
第6回 人称とはなにか？：人称を区別しない日本語、多人称を区別するコリャーク語
第7回 時制とはなにか？：現在・過去・未来は普遍的な時制ではない
第8回 総合討論
【学生へのメッセージ】
「～学」とつくと、なんだか敷居が高いような印象を受けるかもしれませんが、言語学は実は大変面白く、奥深い研究分野です。ぜひ楽しんで受講していただければ幸いです。
【受講前の準備学習等】
・シラバスに記載された通り3回～7回のテーマは質問形式になっています。授業の内容を実際に聞かなければ、わからないこともあるかとは思いますが、事前に自分でもその質問について、調べて予備知識を得ておいてください。
・授業で学んだ内容について、必ずもう一度配布資料やノートを見直して、理解を深めておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
毎回、資料を配布します。ノートなどの筆記用具や電子辞書をご準備ください（ただしこれらは任意）。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694247
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**自然と環境 ー北陸の野生哺乳類**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヨコハタ　ヤスシ 横畑　泰志 富山大学名誉教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちの暮らす北陸地域（新潟県～福井県）には、多種多様な野生生物が分布しています。その中には分布域が限られていたり、個体数が減少するなどして保護の必要性が認められる種もあれば、分布域の拡大や個体数の増加によって人間生活や生態系などへの悪影響が生じ、対策が必要な種も存在します。この授業では、私たちにとって比較的身近な存在である小型～大型の哺乳類（モグラ、クマ、イノシシ、シカなど）を例として、それらの生態や分布の現状、人間活動との関わり、それらと向き合う時に考えなければならないことについて講演します。
【到達目標】
北陸地域に分布する大小様々な野生哺乳類の生態や生息状況、それらを保護していく上での問題点や被害対策について理解を深める。一般社会では、しばしば野生動物との共存や生物多様性の保全に関して生物学的、生態学的な観点から見た時に問題のある考えが散見されるが、そうした考えに陥らないだけの見識を持つことができる。
【授業テーマ】
第1回 私と彼らはこんなものー講師と北陸の哺乳類の紹介、「生物多様性」とは
第2回「モグラとキノコが支える快適なお墓参り」が教えてくれるもの
第3回 世界一多様な北陸のモグラーうちの田んぼの絶滅危惧種
第4回 富山に帰ってきたイノシシとシカ ー絶滅種から害獣へ（1）
第5回 富山に帰ってきたイノシシとシカ ー絶滅種から害獣へ（2）
第6回 ツキノワグマよ、お前もかー研究者も悩む出没問題
第7回 自然保護の多様性ー保護と保存と保全と管理
第8回 なぜ生物多様性を守らなければならないか
【学生へのメッセージ】
哺乳類は人間に近いだけに擬人的な捉え方をしてしまい、特に大型の種には特別な思いを抱き易いですが、もっと多様な生き物のことを考えないと本当の共存はできません。この講義で、そうしたことを考えてください。
【受講前の準備学習等】
富山県内でも、クマの出没など野生動物との共存が身近な問題になっていることに鑑み、授業の内容に対して積極的に質問できるよう、新聞、テレビなど各種メディアの情報に注目し、自分の考えを温めておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694255
学習センター	富山学習センター
学習センターコード	16A
クラスコード	K
科目名	**ランダムウォークの再帰性**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	フジタ　ヤスヒロ 藤田　安啓 富山大学名誉教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	富山学習センター

授業概要

【授業内容】
Pólyaのフーリエ級数に基づくランダムウォークの再帰性について講義します。1921年の論文でPólyaは、時刻0にｄ次元の原点から出発してｄ次元の格子点（成分がすべて整数からなるｄ次元の点）を移動するランダムウォークについて考えました。このランダムウォークは各ステップごとに隣り合う格子点のいずれかに等確率で移動します。Pólyaの問題意識はステップの回数が無限大になるときにこのランダムウォークが原点に無限回帰って来るか否かという再帰性の判別でした。彼は、ｄ次元のフーリエ級数を使って、次元ｄが1か2のときはランダムウォークは確率1で原点に無限回帰って来ることを、次元が3以上のときはランダムウォークは確率1で原点に有限回しか帰って来ないことを示しました。
ランダムウォークは別名酔歩とも呼ばれ酔っぱらいの千鳥足にも例えられます。Pólya の結果は平面内で酔っぱらっている限り無限回元の地点に戻って来ますが、空間内で酔っぱらうと有限回しか元の地点に戻って来られないことを説明しています。
【到達目標】
学生が、Pólyaのランダムウォークの再帰性がどのような問題かを理解して、それの解析に有効であるフーリエ級数を使えるようになる。また、学生がフーリエ級数を使ってPólyaのランダムウォークの再帰性の問題の証明がどのように示されるかを理解できるようになる。さらに、学生が全体を通して数学の厳密性がいかなるものかを理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 Pólyaのランダムウォークの再帰性についての問題の理解
第2回 多次元のフーリエ級数の解説その１
第3回 多次元のフーリエ級数の解説その２
第4回 多次元のフーリエ級数の解説その３および今日の講義のまとめと宿題
第5回 Pólyaのランダムウォークの再帰性についての証明その１
第6回 Pólyaのランダムウォークの再帰性についての証明その２
第7回 Pólyaのランダムウォークの再帰性についての証明その３
第8回 今までの授業のまとめと今後の発展
【学生へのメッセージ】
できれば、少し難しくても面白い内容にチャレンジしたいという方のご参加をお待ちしています。
【受講前の準備学習等】
オイラーの公式やフーリエ級数また無限級数論については事前に一通り勉強してきてください。また、参考文献などに限らず、日本語の本などでランダムウォークの再帰性とはどのような問題かを見てきてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記具、計算が出来るノートとは別の計算用紙
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・Fourier Series and Integrals（H.Dym and H.P.Mckean／Academic Press／ISBN=9780122264504）
pp.82-84。おおよそこれに従い講義します。ただし、これ自体に目を通してくることは必要ありません。
・An Introduction to Probability Theory and its Application, 3rd. edition（W.Feller／Wiley／ISBN=9780471257080）
Vol.1 pp.342-371。これ自体に目を通してくることも必要ありません。
・A Course in Probability Theory, 2nd. edition（K.L.Chung／Academic Press／ISBN=9780080522982）

科目コード	2694263
学習センター	石川学習センター
学習センターコード	17A
クラスコード	K
科目名	**ライティングと論理的思考法**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	15名
担当講師	ナカムラ　アケミ 中村　朱美 金沢星稜大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月29日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55
実施会場	石川学習センター

授業概要

【授業内容】
アカデミック・ワークには不可欠となるアカデミック・ライティングの入門編です。文体の作法、書き言葉の表現等の基本的事項を学びます。また、論理的に文章を組み立てるために必要な論理的思考力を高めるトレーニングも併せて行います。

【到達目標】
ライティングについての基本的事項を理解し、論理的な文章を作成することができるようになる。
引用することにより、エヴィデンスのある文章を作成することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 アカデミック・ライティング
第2回 パラグラフ・ライティング（文章の構成）
第3回 論理的思考法とは
第4回 論理的思考法（1）ブレーンストーミングとマッピング
第5回 パワー・ライティング（エヴィデンスと引用）
第6回 論理的思考法（2）視覚化としての図解
第7回 ブックレビュー（書評）を発表する
第8回 ブックレビュー（書評）を作成する

【学生へのメッセージ】
アクティブラーニング型の授業です。口頭発表を行い、ピアレビューを実践します。もちろん、「ライティング」もありますが、入門編ですので、気軽に受講してください。論理的思考力を高めるトレーニングでは、自己分析に取り組みます。

【受講前の準備学習等】
ブックレビュー（書評）の口頭発表を行いますので、紹介したい本（雑誌も可）を一冊準備しておいてください。授業当日の持参は任意です。授業で学んだことを踏まえ、後日レポートを作成し、提出してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2694271
学習センター	石川学習センター
学習センターコード	17A
クラスコード	K
科目名	**漢方医薬学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	リュウ　エンエイ 劉　園英 北陸大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	石川学習センター

授業概要

【授業内容】
漢方医薬学は、病気になる前の「未病を治す」ことを重視し、人体は自然の一部であり、環境の変化が人体に影響して病気が起こるものと考えます。天然物がベースとなった生薬を「複合剤」として、異なる複数の症状に効果が期待できます。この授業では、漢方医薬学の特質、基本理論と臨床アプローチについて体系的に学習し、生活習慣病の漢方治療と予防・養生法を概説します。

【到達目標】
1. 漢方医薬学の概念を理解できる。
2. 東洋医学と西洋医学との相違を理解できる。
3. 健康・未病・疾病について説明できる。
4. 漢方医薬学病因論について説明できる。
5. 気・血・水の病態について説明できる。
6. 漢方の診察学について説明できる。
7. 冷え性、認知症、がん、便秘症などの疾患における漢方薬の薬効について説明できる。

【授業テーマ】
第1回 漢方医薬学の考え方、西洋医薬学との相違点
第2回 漢方医薬学の気血水・経絡
第3回 漢方医薬学の診察・診断法・生薬・漢方薬
第4回 症状別漢方治療～冷え症
第5回 症状別漢方治療～便秘症
第6回 症状別漢方治療～うつ病
第7回 症状別漢方治療～認知症
第8回 症状別漢方治療～がん

【学生へのメッセージ】
漢方医薬学を学ぶことで自分の身体のことが分かり、病気の一歩手前で立ち止まることができます。この機会にぜひ漢方医薬学的な考え方・治療法・予防法・養生法を学んでください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・中国医学　医・薬学で漢方を学ぶ人のために（木村孟淳、御影雅幸、劉園英共著／南江堂／¥5,170／ISBN=9784524402076）

科目コード	2689120
学習センター	石川学習センター
学習センターコード	17A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	フセジマ　アユミ 伏島　あゆみ 金沢工業大学准教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55
実施会場	石川学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この科目では、心理学の基礎的な３つの実験を行います。受講生の皆さんは、それらの実験に参加し、その結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学実験の基本的な知識として、仮説の検証方法や実験の進め方、レポートの執筆方法の理解を目指します。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、実験それぞれについてレポートを作成・提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション、心理学実験のための基礎知識
第2回 実験１　ミュラーリヤー錯視（１）
第3回 実験１　ミュラーリヤー錯視（２）
第4回 実験２　対人魅力（１）
第5回 実験２　対人魅力（２）
第6回 実験３　心理尺度（１）
第7回 実験３　心理尺度（２）
第8回 全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
パソコンを使って、実験の実施、データの入力、分析、レポートの執筆を行います。そのため、WordやExcelの操作を習得していることが必要となります。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし､実習課題について､あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法（'21)｣を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
・ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可)。
２．OSの指定
・Windowsが必要です。
３．ソフトのインストール
・Microsoft Wordが必要です。
・Microsoft Excelが必要です。授業前に，ファイル>オプション>アドインから「分析ツール」を有効にしておいてください。
・Microsoft Access Databaseが必要です。
・配布資料はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。
・ブラウザは Microsoft Edge（エッジ)、Google Chrome（クローム)、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス)、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
４．その他
・ソフトのバージョン指定はありません。
・マウスを持参してください。
・USBメモリが必要です（容量不問)。
・学習センターにプリンターはありませんので、レポート提出の際は自宅やコンビニ等で印刷するか、メールで学習センターに提出してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	石川学習センター
学習センターコード	17A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ワタナベ　ノブユキ 渡邊　伸行 金沢工業大学教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月22日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55
実施会場	石川学習センター

授業概要

【授業内容】
現代の心理学は、様々な実験や調査の積み重ねによって、成り立っています。この授業では、「ストループ効果」、「鏡映描写」、「SD法」の３つの課題を通して、人のこころの働きをどのようにして測るか、体験してもらいます。また、データのまとめ方、レポートの書き方はもちろんのこと、実験者としての心構えについても、確認していきます。受講生の皆さんは、原則として８コマの授業すべてに出席し、３つの実験すべてにおいてレポートを作成して提出してもらいます。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション
第2回 ストループ効果～認知的葛藤を体験する～（実習編）
第3回 ストループ効果～認知的葛藤を体験する～（解説編）
第4回 鏡映描写～学習の転移を検証する～（実習編）
第5回 鏡映描写～学習の転移を検証する～（解説編）
第6回 SD法～イメージを測定する～（実習編）
第7回 SD法～イメージを測定する～（解説編）
第8回 データのまとめ方・レポート執筆指導

【学生へのメッセージ】
３つの実験を実施して、それぞれレポートを書いてもらいます。座学と違ってハードです。それも含めて、一緒に楽しみましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
<レポート課題>
1. ストループ効果、2. 鏡映描写、3. SD法 について実験レポートを作成する。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、USBメモリ（実験データを持ち帰る際に必要です。容量不問）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会　認定心理士資格認定委員会（編）／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）
・心理学研究法―データ収集・分析から論文作成まで―（大山正・岩脇三良・宮埜壽夫／サイエンス社／¥2,420／ISBN=9784781911083）
・なるほど！心理学研究法（三浦麻子／北大路書房／¥2,420／ISBN=9784762829666）

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
色識別を要する実験課題がありますが、色覚に配慮が必要な方でも問題なく実験を実施できるよう色合いを用意しています。

科目コード	2689189
学習センター	石川学習センター
学習センターコード	17A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	オオヤ　スミコ 大矢　寿美子 金沢工業大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	石川学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、講義と実習を通して心理検査法について学びます。心理検査法の歴史や基本事項とともに、倫理的配慮についても学習し、適切な心理検査の活用を理解できることが期待されます。心理検査には様々な種類があるなか、この授業では異なる性質をもつ3種の心理検査を採り上げます。それぞれの特徴を知識として学ぶと同時に、実習で受検者・検査者の役割を経験し、双方の視点からの考察を試みます。受講生のみなさんは、原則として全８回の授業にすべて出席し、すべての実習課題についてレポートを作成・提出する必要があります。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 講義：心理検査の歴史と種類／心理検査に関する倫理的配慮
第2回 講義：質問紙法の解説／実習1　新しい心理尺度：PERMA-Profiler（受検と結果の集計）
第3回 実習1　質問紙：PERMA-Profiler（尺度の特徴と結果の分析）
第4回 実習2　質問紙：POMS2の受検と結果の集計（POMS2の解説①）
第5回 実習2　質問紙：POMS2の解説②と結果の見方（質問紙法のまとめ）
第6回 実習3　描画法：バウムテスト（ペアでの検査実施）
第7回 実習3　描画法：バウムテスト（描画法の解説と結果の見方）／グループディスカッション
第8回 実習のまとめ／レポートの書き方

【学生へのメッセージ】
心理検査と聞くと、人によって異なるイメージが報告されます。怖いイメージや胡散臭さを感じる人もいますし、非常に高い期待をもたれることもあります。心理学を学ぶみなさんには実際の心理検査の有効性と限界を正しく理解してもらいたいと思っています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日目にBもしくは2Bの鉛筆、消しゴムを準備してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694280
学習センター	石川学習センター
学習センターコード	17A
クラスコード	K
科目名	**違法な広告を見抜く！薬機法入門**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	キトウ　ソウイチ 木藤　聡一 北陸大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～10:55 試験･レポート等　10:55～11:00 第２時限　11:10～12:35 試験･レポート等　12:35～12:40 第３時限　13:30～14:55 試験･レポート等　14:55～15:00 第４時限　15:10～16:35 試験･レポート等　16:35～16:40 12月13日(日) 第１時限　9:30～10:55 試験･レポート等　10:55～11:00 第２時限　11:10～12:35 試験･レポート等　12:35～12:40 第３時限　13:30～14:55 試験･レポート等　14:55～15:00 第４時限　15:10～16:30 試験･レポート等　16:30～16:40
実施会場	石川学習センター

授業概要

【授業内容】
薬機法は、正式名称を「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」といい、以前は「薬事法」と呼ばれていました。この法律は消費者保護の観点から、医薬品や医療機器、化粧品などの品質や安全性を確保し、あわせて広告表現にも厳しい規制を設けています。薬機法における広告規制の主な目的は、消費者が誤解や誤認によって健康被害を受けることを防ぐことです。そのため、効果や効能について過大な表現や科学的根拠のない表現を禁止しています。
本科目では、医薬品・医薬部外品・化粧品・健康食品などについて様々な広告表現を紹介しながら、違法な広告を見極めるポイントを詳しく解説します。
【到達目標】
・医薬品・医薬部外品・化粧品・健康食品などの広告に関して、違法な表現を見抜けるようになる。
【授業テーマ】
第1回 薬機法の概要
第2回 薬機法による「医薬品」「医薬部外品」「化粧品」「医療機器」「再生医療等製品」の定義
第3回 薬機法による「広告」の定義と主な広告規制
第4回 薬機法違反の罰則
第5回 薬機法による医薬品的効能効果表現の規制
第6回 医薬部外品における表現規制
第7回 化粧品における表現規制
第8回 健康食品における表現規制
【学生へのメッセージ】
医薬品・医薬部外品・化粧品・健康食品などの広告表現の見方が、大きく変化するきっかけになれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・Q&Aでわかる 医薬品・美容・健康商品の「正しい」広告・EC販売表示（早崎智久、五反田美彩／技術評論社／¥2,640／ISBN=9784297136512）

科目コード	2694298
学習センター	石川学習センター
学習センターコード	17A
クラスコード	K
科目名	**観光まちづくりと創造的復興**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	カワスミ　アツシ 川澄　厚志 金沢大学准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験･レポート等　15:55～16:40
実施会場	石川学習センター

授業概要

【授業内容】
観光まちづくりの理論や展開事例からまちづくり手法の特徴を理解します。その上で、令和6年能登半島地震におけるこれからの創造的復興計画を一緒に考えていきたいと思います。
【到達目標】
観光とまちづくりの学術的背景と事例について学び、令和6年能登半島地震の観光復興や創造的復興を考えることができる。
【授業テーマ】
第1回 観光対象に関する基礎知識とアフターコロナにおける観光動向
第2回 観光まちづくりの学術的背景
第3回 観光まちづくりの事例紹介ー能登の里山里海世界農業遺産
第4回 演習形式：非市場性の発見（川越と金沢の比較検証）
第5回 観光とまちづくりの事例紹介（タイのコミュニティ・ベースド・ツーリズム）
第6回 令和6年能登半島地震における創造的復興を考える①
第7回 令和6年能登半島地震における創造的復興を考える②
第8回 ミニワークショップ：創造的復興から能登復興を議論する
【学生へのメッセージ】
令和6年能登半島地震が2024年元日に発生し、甚大な被害となっています。科目担当者は、2012年度から能登地域に入って観光まちづくりの実践を行ってきました。これからの復興期において、観光は復興のエンジンと言われていますが、観光まちづくりは創造的復興で何ができるのか一緒に考えたいと思っています。多くの皆様の受講を期待しています。よろしくお願いいたします。
※本授業で使用する映像・画像には「一部刺激的な場面」が含まれる可能性がありますのでご了承ください。
【受講前の準備学習等】
令和6年能登半島地震の被害状況やこれからの復興に向けた議論に関する情報を収集しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694301
学習センター	石川学習センター
学習センターコード	17A
クラスコード	K
科目名	**平安時代の物語と日記**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	タカシマ　カナメ 高島　要 石川工業高等専門学校名誉教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月15日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	石川学習センター

授業概要

【授業内容】
平安時代の仮名文学である物語文学４作品と日記文学３作品を対象に、それぞれの作品の一部を取りあげて読み、仮名の散文文学の様相や特色を理解します。その際、物語、日記のジャンルとしてのそれぞれの特徴、境界などについて確認します。物語の種類（「作り物語」「歌物語」）を見分けて、それぞれの読みどころをおさえます。女流日記文学について、作者の置かれた位置を確認し、日記が書かれた意味をおさえます。そうして、現代に生き続ける王朝の仮名文学が身近なものとなるよう取り組みます。
【到達目標】
平安時代の「仮名文学」を理解するために、同時代の「物語」と「日記」を取りあげて、「作品を音読することができる」「作品の内容を理解することができる」「文学史的に概要を説明することができる」「作品を鑑賞することができる」ようになる。
【授業テーマ】
第1回 平安時代の仮名文学の展開について
第2回『竹取物語』を読む（「作り物語」の特色を中心に）
第3回『伊勢物語』を読む（「歌物語」の特色を中心に）
第4回『うつほ物語』を読む（長編物語の始まり・俊蔭巻を中心に）
第5回『源氏物語』を読む（冒頭「いづれの御時にか」を手がかりに）
第6回『かげろふ日記』を読む（「王朝のはかなき女性たち」の視点から）
第7回『和泉式部日記』を読む（「王朝のはかなき女性たち」の視点から）
第8回『更級日記』を読む（「源氏物語の読者」の視点から）
【学生へのメッセージ】
「声を出して読む」ことを手始めにして、王朝の文学に親しむことを心掛けてください。
【受講前の準備学習等】
（事前学習）
・平安時代の文学史の通史について、おもな作品の基本的な事項（作品・成立・作者等）を学習しておいてください。
・本講で取りあげる作品については、各作品の本文の冒頭を読んでおいてください。
・作品の講読については、自分で「本文を読む」ことを心掛けておいてください。
（事後学習）
・各作品本文について、講義で取りあげた箇所を改めて音読してみてください。
・「物語」「日記」について、それぞれ特色を整理しておいてください。
・興味をもった作品について、あなたの関心の内容をまとめておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694310	**授業概要**	**【授業内容】** 城下町金沢の町の構造と土地利用の変遷、さらにこれらに大きく関わってきた用水や惣構について、古地図などを参考に紐解きます。また、これらの歴史的変遷を踏まえた金沢の景観まちづくりについて具体的な取組などを学ぶとともに、フィールドワークを通して理解を深めます。 **【到達目標】** 城下町金沢の歴史、惣構や用水、まちなかの土地利用の変遷について知識を深めるとともに、現在の金沢の中心部において活かされている歴史資産等について概要を説明できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 惣構・辰巳用水と城下町建設の歴史 第2回 金沢城・兼六園とその周辺の変遷 第3回 広坂・兼六園周辺巡検（フィールドワーク） 第4回 金沢城公園周辺巡検（フィールドワーク） 第5回 金沢の景観まちづくり 第6回 用水を活かしたまちづくり 第7回 鞍月用水・惣構巡検（フィールドワーク） 第8回 大野庄用水巡検（フィールドワーク） **【学生へのメッセージ】** 惣構や用水については、土木工学分野の用語を使いますが、特にその専門的な事前知識は問いません。 **【受講前の準備学習等】** 安土桃山時代から明治初期にかけての歴史の大まかな流れのほか、金沢市の景観に関わる条例について自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	石川学習センター		
学習センターコード	17A		
クラスコード	K		
科目名	**金沢の歴史を活かしたまちづくり**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ウエサカ　タツロウ 上坂　達朗 株式会社東洋設計フェロー		**【受講者が当日用意するもの】** 当日はフィールドワークでまちなかを4～5km／日ほど歩きます。途中高低差もあり階段などの登り降りがありますので、歩きやすい履物、服装で参加してください。 １日目のフィールドワークでは、兼六園の入園料として「320円」が必要です。入口料金所（発券機）にて各自でお支払いいただきます。65歳以上の方など、条件を満たせば入園料が無料になる場合がありますので、各自で確認の上、必要であれば証明書等を持参してください。参考：https://kenrokuen.or.jp/information/ **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:20 試験･レポート等 12:20～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月22日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:15 試験･レポート等 12:15～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40		
実施会場	石川学習センター		**【その他（特記事項）】** 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照） フィールドワークで使用する貸切バス代（3,000円程度）は自己負担です。授業の１か月ほど前になりましたら、キャンパスメール宛に納入方法・期限等をお知らせします。なお、受講が確定した時点でバス代も発生しますので、欠席する場合でも納入いただきます。返金はできません。 ２日間とも、金沢市中心部での現地解散となります。

科目コード	2694328	**授業概要**	**【授業内容】** 地球温暖化に伴う気候変動が深刻化し、持続可能な低炭素社会の実現に向けた取り組みが活発化しています。本講義では持続可能なエネルギーとして廃熱、太陽光、バイオガス（水素）を取り上げ、それらを有効活用するためのエネルギー変換技術の仕組みと開発動向について学びます。講義形式の授業の他に、個人・グループによる体験実験も取り入れて学びます。 **【到達目標】** ・熱･光･化学エネルギーを機械的エネルギーまたは電気エネルギーに変換する技術の原理を理解し、説明できる。 ・各種のエネルギー変換の効率を理解し、変換効率の向上策を提案できる。 ・グリーンイノベーションのためのエネルギー変換技術の現状を理解し､説明できる。 **【授業テーマ】** 第1回 技術の発展と地球温暖化 第2回 廃熱で駆動できるエンジン（スターリングエンジン） 第3回 エネルギー機械の仕組み（スターリングエンジンキットの組立と発振実験） 第4回 省エネルギー技術（エアコンとヒートポンプ、熱電発電、熱音響エンジン・冷凍機） 第5回 再生可能エネルギーの利用（太陽光発電） 第6回 水素エネルギーの利用（燃料電池） 第7回 カーボンニュートラルに向けた社会の取り組み 第8回 エネルギー変換技術のまとめ **【学生へのメッセージ】** 「エネルギー変換」を行うエネルギー機械について、その仕組みを理解できるように講義だけでなく簡単な実験の体験をとおして学びます。また、エネルギー変換技術について物理と化学を基に学びますが、専門的な知識がなくても十分理解できるよう講義します。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。普段から新聞やニュースにおいて「地球温暖化」や「エネルギー」に関するトピックスに興味をもち、知識を豊かにすることが大切です。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	石川学習センター		
学習センターコード	17A		
クラスコード	K		
科目名	**環境調和型 エネルギー変換**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	タダ　ユキオ 多田　幸生 放送大学石川学習センター所長		
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験･レポート等 15:55～16:40		
実施会場	石川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** ・筆記用具 ・個人・グループ体験型の実験を行います。机上で80度くらいの湯を扱いますので、火傷防止のために長袖（袖が大きく垂れないもの）、長ズボン、足元はつま先の保護された靴を着用してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。

科目コード	2694336
学習センター	福井学習センター
学習センターコード	18A
クラスコード	K
科目名	**ホームページ作成入門**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	アオヤマ　ヨシヒロ 青山　義弘 福井工業高等専門学校電子情報工学科嘱託教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40
実施会場	福井学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

ホームページの基本的なつくりや、用語、作り方を学びます。HTMLを用いて、実際にホームページを作成します。CSS、Java scriptとはどのようなものか学び、オンラインツールを使って試します。
【到達目標】
ホームページを作成するためにその構成方法を理解する。特に、HTMLファイル、CSSファイル、Javascript等のプログラムファイルの関係を理解する。
ホームページを作成するために、基本的なHTML文法を理解し、ホームページを構成できるようになる。
よりよいホームページを作成するために、リンクやCSSを使い、複数ページにまたがるサイトを構成できる。
よりよいホームページを作成するために、テーマを決め、取材、調査を行い、情報発信ができる。
【授業テーマ】
第1回 インターネットとは　WWWの仕組み
第2回 Webページ作成の基礎とオンラインツール
第3回 情報収集
第4回 Webページの設計
第5回 Webページ作成１
第6回 Webページ作成２
第7回 プレゼンテーション１
第8回 プレゼンテーション２と実際にサイトを構成する方法
【学生へのメッセージ】
初心者向けのホームページ作成講座です。CSS、Java scriptは難しいと思いますが、何ができるのか理解してもらいます。
【受講前の準備学習等】
実際にホームページを作ってもらいます。
授業内でも資料収集しますが、発信したい情報や写真など授業前に集めてきたり、考えてきたりしてもらえると、より良いものができると思います。
予め調べられたデータ類は持参するパソコン、USBメモリ等に入れておいてください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は授業中の学習状況及び製作物により、到達目標をどれだけ達成できたかで評価します。

【受講者が当日用意するもの】
１．学生証（授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。）、USBメモリ
２．持参する端末
各自使い慣れたノートパソコンを持参してください。
発信したい情報（スマートフォンやデジタルカメラなどにあるデータ等）をPCに入れて来てください。
３．OSの指定
特に指定しません。
４．ソフトのインストール
エディタでソースを作成してブラウザでチェックします。windowsならメモ帳でも構いませんが、保存時に文字コードを選択できるものが良いです。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694344	**授業概要**	**【授業内容】** この授業は、中国語の発音・挨拶・自己紹介・簡単な観光用語の習得を目的とします。まず、中国語の発音を学び、中国語のピンインの母音、子音及び漢字ピンインの構造を学び、正しく発音できるように練習します。その後、簡単な中国語の語彙・文法と簡単な会話を覚え、簡単な観光用語や自己紹介ができることを目指します。中国の世界遺産について紹介し、理解を深めたいと思います。 **【到達目標】** この授業を通して、ピンインをマスターし、簡単な挨拶、観光用語と自己紹介ができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 中国語について（標準語はいつから？）、中国語のピンイン（単母音と子音） 第2回 中国語のピンイン（複母音とn/ngを伴う母音） 第3回 親しみ易い漢字の発音練習を通してピンインをマスターする 第4回 簡単な挨拶と観光用語、自分の名前を中国語で発音練習する 第5回 中国の世界遺産を紹介する（文化遺産） 第6回 中国の世界遺産を紹介する（自然遺産） 第7回 中国の世界遺産を紹介する（複合遺産） 第8回 自己紹介を発表する **【学生へのメッセージ】** 大胆に、しっかりと声を出して、中国語の発音を楽しんでください。また、中国語の学習を通して、中国の世界遺産に触れ、国際理解を深めてください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 受講後は、授業で学修した内容を活用して復習を行い、理解を深めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	福井学習センター		
学習センターコード	18A		
クラスコード	K		
科目名	**初級中国語と 中国世界遺産**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	カトウ　キンカ 加藤　錦霞 福井県立大学非常勤講師		
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	福井学習センター		**【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2694352
学習センター	福井学習センター
学習センターコード	18A
クラスコード	K
科目名	**人生が愉しくなる落語学13**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	シュンプウテイ　ショウキチ 春風亭　昇吉 （一社）落語ユニバーサルデザイン化推進協会代表理事
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:55～16:40 試験・レポート等　15:10～15:55
実施会場	福井学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、実際に落語を聴き、その演目に関連する語彙・文化・習慣などの背景知識を学びます。落語を通じて、日本の伝統や話芸の奥深さを楽しみながら、人生をより豊かにする視点を得ることを目的としています。また、授業の後半では、初心者向けの「落語の概論」を学びます。具体的には、落語の歴史・話芸の成り立ち・速記からネット配信までのメディアの変遷などを、分かりやすく解説していきます。
【到達目標】
落語に親しみ、基礎的な知識を身につける。様々な落語を生で聞くことにより、落語の多様性を知る。寄席や落語家に関する知識のほか、近世の文化を知ることで、より明確に落語の世界を楽しむことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 子ほめ
第2回 井戸の茶碗
第3回 権助提灯
第4回 死神
第5回 金明竹
第6回 味噌蔵
第7回 水屋の富
第8回 厩火事
【学生へのメッセージ】
教科書とノートを必ずご用意ください。
落語の魅力を存分に楽しみながら、文化的背景についてもしっかり学べる授業です。初心者でも分かりやすく、楽しみながら学べる内容になっていますので、興味のある方はぜひご参加ください。
【受講前の準備学習等】
授業内容をより深く理解するために、シラバスを確認し、主体的に自己学習に取り組んでください。落語の演目については、教科書や参考書、インターネットなどを活用し、幅広く調査してみてください。また、様々な落語家の音声や動画を聞き比べることで、表現の違いを学ぶことも有意義です。
テーマ学習については、各自、教科書を精読のうえ授業に臨んでください。授業では、プリントと教科書を併用いたします。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び授業終了後の試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、ノート、筆記用具
【教科書】
・マンガでわかる落語（春風亭昇吉／誠文堂新光社／¥1,650／ISBN=9784416619049）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
授業では、対面授業の特性を活かし、ディスカッションを取り入れています。噺の本質、疑問点などについて、学生間で５分程度話し合い、発表していただくことがあります。

科目コード	2694360
学習センター	福井学習センター
学習センターコード	18A
クラスコード	K
科目名	**病気の理解と分類 ー病理学総論ー**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ノリキ　サコン 法木　左近 福井県立大学特命教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	福井学習センター

授業概要

【授業内容】
世の中に病気はどのくらいあるのでしょうか。病気について学ぼうとするとき、それを一つずつ調べていくのでしょうか。本講義では、医者が病気をどのように理解しているかを、誰でも理解できるように解説します。つまり、病気を「先天異常、炎症、変性疾患、腫瘍」に分類し、それぞれについて説明していきます。「分ける」ことは「分かる」ことにつながります。また、病理医が行なう病理解剖というものについても説明します。病理医は病気の何を見て、どのように診断を下しているのか。病気の「本質」を知るための病理学総論の入門講座です。

【到達目標】
・先天異常の原因について概略を説明することができる。
・炎症とは何か、炎症の場ではどのようなことが起こっているのか、炎症がおこるとどうなるのか、が説明できる。
・壊死とは何か説明できる。
・腫瘍とは何かを説明できる。
・良性腫瘍と悪性腫瘍との違いを説明できる。
・悪性腫瘍の種類やその拡がり方について説明できる。
・病理解剖とオートプシーイメージング（Ai）について説明できる。

【授業テーマ】
第1回 病理学総論とは、先天異常について
第2回 炎症とは
第3回 免疫とは、炎症と免疫
第4回 循環障害と炎症
第5回 変性疾患とは
第6回 腫瘍とは何か、良性腫瘍と悪性腫瘍の違い
第7回 悪性腫瘍の種類とその考え方
第8回 病理解剖とオートプシーイメージング（Ai）

【学生へのメッセージ】
本講義では、病気の理解を深めるために、実際の臓器や病変部の画像を使用することがあります。病態を視覚的に学ぶことは、病理学を学ぶうえで重要ですが、こうした画像に不安を感じる方は遠慮なく申し出てください。

【受講前の準備学習等】
病理学総論の受講前準備として、基本的な生物学と人体の構造・機能について学習することが重要です。まず、高校生物の「細胞」「組織」「免疫」などの範囲を復習し、基本用語を理解に努めて下さい。次に、「先天異常」「炎症」「腫瘍」について一般向け書籍で概要を調べ、疑問に思ったことなどをメモしておくとよいでしょう。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694379
学習センター	福井学習センター
学習センターコード	18A
クラスコード	K
科目名	**フレイル予防のための知識と実践**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヤマジ　シュンスケ 山次　俊介 福井大学学術研究院教育・人文社会系部門教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	福井学習センター

授業概要

【授業内容】
高齢化率が21%を超える「超高齢社会」に突入して20年が経過した日本では、長く生きることよりもいかに健やかに幸せに生きるかが重要となりました。日本人の65歳の平均余命は男性で約20年、女性で約25年であり、十分な時間があります。また、高齢者の身体・認知機能は以前に比べて高いですから、高齢期にいろいろなことに挑戦し、自身の幸福を追求できます。一方で、高齢期はライフステージにおいて寝たきり・要介護・フレイル・健常・エリートと最も身体・認知機能の個人差が拡大する期間でもあります。年を重ねることは皆同じはずなのに、このような個人差が拡大するのはなぜでしょうか？授業を通してフレイルを予防するための知識と実践力を高めていきましょう。

【到達目標】
・フレイルに関わる身体的、精神的、社会的要因を理解し、自身の危険因子を整理できる。
・フレイル予防として、自身が取り組める実践方法を理解し、自身の生活習慣に組み込むことができる。

【授業テーマ】
第1回 日本はどのくらい長生きしている国なのか？
第2回 長く生きるだけでよいのか？健やかに幸せに生きるためには必要なことは？
第3回 加齢とともにどのような問題が発生するようになるのか？
第4回 フレイルに関わる要因と改善可能なことは何か？
第5回 転倒が危ないのはなぜか？どうすれば防げるのか？
第6回 認知症の兆候とは？どうすれば防げるのか？
第7回 頭と体を元気にする運動とは何か？
第8回 講義のまとめ

【学生へのメッセージ】
フレイル予防として重要なことは、正しい知識と実践力です。「健康によい生活習慣とは？」と問われると皆さんは正解を回答できます。しかし、「それを実践できていますか？」と問うと、「できている」と回答される方は少なくなります。つまり、知識だけでは健康になれません。どうすれば、実践できるかということを自分の生活ルーチンと照らし合わせながら考えていきましょう。

【受講前の準備学習等】
自身の生活習慣を振り返って、自身が考える「健康的な生活」に足りていないと感じることを整理しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
授業1回目に授業ノートを配布しますので、毎時間授業ノート内容を予習・復習して理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業の合間に簡単な体操や運動を行います（お体の調子が悪ければ見学でも構いません）。
体を動かしやすい服装、運動可能な靴で受講してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（面接授業開講科目一覧P.5参照）

科目コード	2689120	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 心理学における３つの実験的研究を取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に実験者および実験参加者として参加し、得られた結果をデータ分析し、Excelを使って図表を作成し、レポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験手順、データ分析、レポートの書き方について理解することを目指します。単位修得のためには、原則８回の授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理学実験での基本概念の説明、実習手順 第2回 実験1 ミュラー・リヤー錯視の実験 第3回 実験1のデータ分析とレポート執筆指導 第4回 実験2 概念学習の実験 第5回 実験2のデータ分析とレポート執筆指導 第6回 実験3 対人魅力の実験 第7回 実験3のデータ分析とレポート執筆指導 第8回 実験実習の総括 **【学生へのメッセージ】** 心理学実験の手法を学び、人の心の動きや変化を科学的に捉えていく方法を学んでいただきたいです。グループ実習ですので、積極的かつ協力的な参加を望みます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	福井学習センター		
学習センターコード	18A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験１**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	シバタ　アサミ 柴田　麻美 福井県済生会病院公認心理師／音楽療法士		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	福井学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコン、マウスを持参してください。 ２．OSの指定 Windowsを使用します。 ３．ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge、Google Chromeのいずれかが必要です。 ・レポートは電子媒体で作成してもらいますので、Wordが必要です。 ・統計解析を行うため、Excelが必要です。 ４．その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・電子媒体でレポート提出してもらいますが、紙媒体で提出したい場合は自宅やコンビニ等で印刷してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれかの科目からでも受講可能です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689189
学習センター	福井学習センター
学習センターコード	18A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	クリタ　トモミ 栗田　智未 福井大学学術研究院基盤部門保健管理センター講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	福井学習センター

授業概要

【授業内容】
幅広い年齢層に適用され、臨床の場で多く用いられている心理検査を中心にその理論と実際について学びます。実際に３つの心理検査を体験し、理論、技法、結果の処理の仕方、解釈等について学び、それぞれについてのレポート作成及び提出を求め、その内容を評価します。各種心理検査の特徴とその限界を理解するとともに、検査結果の解釈から自己理解を深めることもその目的に含みます。受講生の皆さんは、原則8回の授業すべてに出席し、３つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査の意義、種類、倫理
第2回【実習１】 YG性格検査
第3回 データの分析と考察、レポート執筆指導
第4回【実習２】 風景構成法
第5回 描画鑑賞と考察、レポート執筆指導
第6回【実習３】 尺度構成
第7回 研究計画立案と質問紙の作成（レポート執筆指導）
第8回 テストバッテリー
【学生へのメッセージ】
この授業では、ペアやグループによる作業及びディスカッションがあります。互いに協力し積極的に参加するようお願いします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・風景構成法　その基礎と実践（皆藤章 著／誠信書房／¥4,235／ISBN=9784414401691）
・心理測定尺度集Ⅰ～Ⅵ（堀洋道 監修／サイエンス社／）
Ⅰ￥2,970/ISBN=9784781909875、Ⅱ￥3,960/ISBN=9784781909882、Ⅲ￥3,740/ISBN=9784781909899、Ⅳ￥3,520/ISBN=9784781911670、Ⅴ￥3,465/ISBN=9784781912721、Ⅵ￥3,410/ISBN=9784781912745

科目コード	2694387	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 企業は一定の期間ごとに財務諸表を作成します。財務諸表は企業の財務状況を示し、その企業の現状や課題をステークホルダーに伝えるための大切なツールです。人間の体に例えるならば、財務諸表はその人の健康診断結果ということになります。この財務諸表から生じる情報をもって、ステークホルダーは様々な意思決定をすることになります。本講義では、財務諸表の作成方法について、簡単な事例を用いて説明した上で、財務諸表の情報の利用方法について、Excel等を用いて学びます。 **【到達目標】** ・財務諸表がどのように作成されるかについて理解できるようになる。 ・各財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）がどのような情報を提供しているか理解できるようになる。 ・財務諸表のデータを利用して、企業の財務状況を理解するとともに、それに基づいて適切な行動をとることの必要性を理解できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 仕訳とは何か 第2回 合計試算表と残高試算表 第3回 貸借対照表 第4回 損益計算書 第5回 キャッシュフロー計算書 第6回 安全性分析 第7回 収益性分析 第8回 財務データの利用方法 **【学生へのメッセージ】** 講義資料及び作業用のファイルは講義の際に配付します。 会計情報の作成者（企業・会計士）ではなく、利用者の立場から会計とその情報のことを講義します。会計学を学ばれてこなかった方にも理解できるようにするつもりですが､講義時間の観点から複式簿記の初歩だけは事前に学習しておいてください。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 講義において、複式簿記の基本から財務諸表の作成についてまで説明する予定ですが、講義時間の制限もあり、事前に複式簿記の初歩について学習してきてください。また、必須ではありませんが、財務データの利用をより深く理解するためには回帰分析等の理解があった方が望ましいです。（回帰分析の概略は説明する予定です。） **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	福井学習センター		
学習センターコード	18A		
クラスコード	K		
科目名	**会計が生み出す情報**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	オカザキ　ヒデイチ 岡﨑　英一 放送大学福井学習センター所長		
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験･レポート等 15:55～16:40		
実施会場	福井学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください。講義では、Excelの作業があります。Excelの作業が可能であればタブレット、スマートフォンでもかまいません。（MS-officeがインストールされていることが望ましいです） ２．OSの指定 種類は問いません。（Windows、macOS、ChromeOS、Android等） ３．ソフトのインストール MS-officeを使用します。 ４．その他 ソフトのバージョン指定はありません。 **【教科書】** 教科書は使用しません。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694395	**授業概要**	**【授業内容】** 世界では、紛争や対立、協力が同時に進行し、気候変動や移民問題など地球規模の課題も重なり合っています。さらに、既存の秩序を揺さぶる個性的な指導者の登場により、政治は一層複雑な様相を見せています。 本授業では、こうした動きを一過性の出来事としてではなく、無政府状態にある国際社会の構造との関係から捉えます。歴史、地理、法制度、外交、国際関係理論など複数の視点を用い、医療の「症状・診断・治療」に着目する考え方や外交の実例も取り入れながら理論と現実を結びつけ、ニュースを理解し、自らの意見を形成する力を養います。 **【到達目標】** （1）国際関係を多角的に捉え、国家の行動や国際秩序の特徴を説明できる。 （2）現実の国際問題を理論と事例に基づいて分析し、筋道立てて自らの見解を提示できる。 **【授業テーマ】** 第1回 国際社会はなぜ「無政府状態」と言われるのか―歴史の教訓とともに 第2回 地政学と国家戦略 第3回 国際法と国際裁判 第4回 外交と外交官の役割 第5回 国際関係理論の基礎と応用 第6回 強制外交と安心供与外交 第7回 気候変動と国際的対応 第8回 移民・難民問題の総合分析 **【学生へのメッセージ】** 国際問題に唯一の正解はありません。SNSには誤情報も多く、自ら考え判断する力が重要です。専門知識がなくても理解できるよう丁寧に進めます。なお、本授業で使用する映像には「一部刺激的な場面」が含まれます。 **【受講前の準備学習等】** ・事前学習としては、シラバスから判断し、関連する内容について、自己学習に努めてください。 ・事後学習としては、授業で学修した内容や講義資料、参考図書を活用し、国際問題に関する報道や解説を批判的に理解しながら、自ら考える訓練を行ってください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	福井学習センター		
学習センターコード	18A		
クラスコード	K		
科目名	**国際関係入門： 理論と実践**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ノウケ　マサキ 能化　正樹 福井大学大学院特命教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	福井学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【その他（特記事項）】** 参考図書は、授業時に紹介します。

科目コード	2694409
学習センター	福井学習センター
学習センターコード	18A
クラスコード	K
科目名	**江戸時代の論語**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	クロダ　ヒデノリ 黒田　秀教 福井大学学術研究院教育・人文社会系部門准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	福井学習センター

授業概要

【授業内容】
孔子の教えを書き記した『論語』は日本でも古くから読み継がれてきました。そこに書かれた倫理道徳は、現代の日本社会にも影響を与えています。そんな『論語』の現代日本語訳や孔子の伝記は数多く出版されていますが、実は同じ孔子の言葉でも、訳者によって意味の取り方が異なっていたり、描かれる孔子像に差異があったりします。これは、『論語』の読み方には唯一の正解というものがないためです。そこで本講義では、中国の代表的な解釈と、江戸時代の日本人による解釈とを比較していくことで、『論語』はどのように読まれてきたのかを見ていきます。
【到達目標】
・儒学の基本的な経典について説明できるようになる。
・『論語』の主要な解釈について、どのようなものがあるかを説明できるようになる。
・伊藤仁斎、荻生徂徠、中井履軒など、江戸時代を代表する思想家について説明できるようになる。
・『論語』には多様な読み方があることを理解し、自分で『論語』を読むことで自分自身の孔子像を描くことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回『論語』を読む時に必要な基本知識
第2回 漢文の読み方
第3回『論語』講読（1）
第4回『論語』講読（2）
第5回『論語』講読（3）
第6回『論語』講読（4）
第7回『論語』講読（5）
第8回『論語』講読（まとめ）
【学生へのメッセージ】
孔子の教えは日常で実践できる身近なものです。それこそ「人にされたら嫌ななことを人にしてはいけません」も、孔子の言葉がルーツです。その孔子の言葉はどのように読まれていたのか、わかりやすく説明していきます。
【受講前の準備学習等】
孔子の生きた中国の春秋時代、その後の戦国時代がどのように混乱し戦乱に満ちていたかを書籍やインターネットなどで調べておいてください。また、江戸時代の儒者として、「伊藤仁斎」「荻生徂徠」、懐徳堂の「中井履軒」についても、書籍やインターネットなどで調べ、どのような関係にあるか理解しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・よくわかる中国思想（湯浅邦弘編／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=978-4-623-09259-8）

【その他（特記事項）】
各授業テーマの内容
第１回　『論語』を読む時に必要な儒学の基本経典、中国文化の基本知識、及び孔子の伝記について説明します。
第２回　漢文の読み方（注釈を踏まえた訓読の方法やテクニック､考え方）について、解説します。
第３回　「学習」とは何か、その目的と方法とについて、孔子はどのように語っていたのかを読みます。
第４回　人倫道徳の根底にある仁や孝悌といった、孔子が大切にした道徳について読みます。
第５回　儒学には宗教的側面もありますので、祖先や神々を対象とした祭祀についての言葉を読みます。
第６回　孔子は社会を平和にする政治の方法についても考えていましたので、その言葉を読みます。
第７回　孔子の弟子は個性豊かでしたが、代表的な弟子の人となりがわかる言葉を読みます。
第８回　本講義の総括をし、レポートを作成してもらいます。

科目コード	2694425
学習センター	福井学習センター
学習センターコード	18A
クラスコード	K
科目名	**恐竜生物学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	36名
担当講師	カワベ　ソウイチロウ 河部　壮一郎 福井県立大学恐竜学部教授／ 放送大学福井学習センター客員教員 セキヤ　トオル 関谷　透 福井県立恐竜博物館主任研究員 キノシタ　シュンイチ 木下　峻一 福井県立大学恐竜学部助教 オオヤマ　ノゾム 大山　望 福井県立大学恐竜学部助教
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:20 試験・レポート等 12:20～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:20 試験・レポート等 16:20～16:40 2027年1月10日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:20 試験・レポート等 12:20～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:20 試験・レポート等 16:20～16:40
実施会場	福井学習センター

授業概要

【授業内容】
恐竜を「生き物」としてとらえることから始め、巨大恐竜がどのように暮らしていたのか、恐竜時代の地球環境はどのようなものだったのかを学びます。また、恐竜時代の昆虫など、周りの生き物との関わりにも目を向けます。あわせて、化石がどうして残るのかという仕組みや、残り方の偏りについても扱います。さらに、X線CTなどを用いて、外からは見えない化石の情報を「見える化」する方法を紹介します。さらに、頭骨の内部構造などの“中身”から感覚や行動の手がかりを読み取り、限られた証拠をつなげて恐竜の暮らしを復元する考え方を学びます。
【到達目標】
恐竜を「生き物」として捉えるために、骨格・地層・環境などの基本情報を整理し、恐竜の暮らしを推定する根拠を説明できる。
X線CT等の可視化手法の目的を理解し、どのような問いに有効かを例示できる。
【授業テーマ】
第1回 恐竜を生き物として見る（関谷）
第2回 巨大恐竜はどう暮らしていた（関谷）
第3回 恐竜時代の地球環境（木下）
第4回 見えない化石を見える化する（木下）
第5回 恐竜時代の昆虫（大山）
第6回 化石はどうして残る（大山）
第7回 恐竜の“中身”から生態に迫る（河部）
第8回 恐竜の暮らしを復元する（河部）
【学生へのメッセージ】
恐竜を「生き物」として考え、限られた証拠から暮らしを推定する授業です。予備知識は必要としていませんが、「恐竜や当時の環境のことを知りたい！」という高い学習意欲が望まれます。
【受講前の準備学習等】
・恐竜のことを全く知らない方：恐竜が出てくる映画や小説、アニメなどから、恐竜への興味を深めておきましょう。その中で気になる恐竜や興味のある恐竜時代の事案を見つけておくと良いでしょう。
・恐竜のことを知っている方：福井恐竜学や福井県立恐竜博物館の図録など、一般的な書物に目を通しておくことを推奨します。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び各教員毎に時間内に出すレポートの評点により評価します。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・福井恐竜学（福井県立大学恐竜学研究所編／福井県立大学／¥550／ISBN=9784903496146）
※書店等からの入手が困難な場合は、出版元の福井県立大学附属図書館に申し込むことで購入が可能です。詳細は、代表メールアドレスjo-libstaff[a]g.fpu.ac.jpからお問合わせください（[a]は@に変更）。配送には期間を要するため、授業実施日に間に合うよう、お早めに確認願います。
・福井県立恐竜博物館展示図録（福井県立恐竜博物館／福井県立恐竜博物館／¥1,600／ISBN=9784907355173）

科目コード	2694417
学習センター	福井学習センター
学習センターコード	18A
クラスコード	K
科目名	**人間知能の構造と表現**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	15名
担当講師	タカダ　ヒロキ 高田　宗樹 福井大学学術研究院工学系部門教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	福井学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

本授業では、能楽や自然現象、数理モデルや詩など多様な題材を通して、人間知能の「構造」と「表現」を体験的に考えます。
【到達目標】
学生は、自然現象、数理モデル、統計、言語表現などの具体例を関連づけ、人間知能に共通する構造的特徴を抽出し、その関係を論理的に説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 能楽にみる演繹的思考と構造理解
第2回 自然現象の構造解析：福井県海岸線のフラクタル次元
第3回 仮定に依存しない判断：ノンパラメトリック検定の原理
第4回 確率漸化式によるフラクタル図形の生成
第5回 カオス時系列の数値シミュレーション
第6回 制約と意味生成：四コマ漫画と五言絶句の構造
第7回 分野横断的視点による人間知能の再構成
第8回 分野横断的視点による知能の再構成
【学生へのメッセージ】
分野を越えてつなぐ視点を身につけましょう。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
受講後は、授業で学修した内容を活用して復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末：ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
2．OSの指定：種類は問いません
3．ソフトのインストール：ブラウザを使用しますが種類は問いません。表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
各回授業テーマのサブタイトル
第１回　型と身体表現から意味を読み解く
第２回　複雑さを数量化する方法
第３回　比較と順序に基づく知的判断
第４回　単純な規則から複雑な構造へ
第５回　予測可能性と初期値依存性
第６回　情報圧縮と飛躍
第７回　構造と表現を統合する

科目コード	2694697	**授業概要**	**【授業内容】** 科学技術分野では英語が国際的な情報へアクセスする重要な手段であり、専門英語の基礎理解は視野を広げる上で欠かせない。一方で、英語は世界に数多く存在する言語の一つに過ぎない。本授業では「正しさよりも内容を伝える力」を重視し、CLIL（内容言語統合型学習）の考え方を取り入れ、生活に身近な科学をやさしく英語で学ぶ。具体的には、英文記事や動画等を用いて、SDGsや環境問題に関する概念を英語で理解し、自分の言葉で説明する力を養う。科学を英語で読む・聞く・書く・話すための土台を築き、科学リテラシーと英語運用力を育成する。 **【到達目標】** 身近な科学現象に関する基礎的な概念を理解し、関連する科学英語を用いて内容を簡潔に説明できる。また、短い英語資料から科学的情報を読み取り、英語でディスカッションできるようになる。さらに、SDGs関連課題や改善点などについて、作文できるようになる。英語を学習するために、４技能について理解し、自分に合う学習法をデザインすることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 Introduction・科学英語とは何か 第2回 身近な科学①：pH・酸と塩基を英語で説明する 第3回 身近な科学②：環境問題とSDGsの基礎語彙 第4回 資料を読み取る力：短い英文記事・動画を使った理解 第5回 身近な科学③：食品科学・水質・エネルギー 第6回 科学的説明の仕方・作文練習 第7回 SDGsミニ発表（Oral presentation） 第8回 授業のまとめ **【学生へのメッセージ】** 科学と英語の両方に興味のある方に最適な授業です。 英語が得意でない方や学び直したい方でも安心して参加できます。 自宅で取り組める学習方法も紹介しますので、無理なく科学英語の世界を広げていきましょう。 **【受講前の準備学習等】** 身近な科学に興味のある話題を一つ選び、日本語の記事を軽く読んでおくと授業が理解しやすくなります。 初回に簡単な英語の自己紹介を行うため、3〜5文程度，準備しておくと安心です。 また、シラバスの内容から判断して適宜準備していただければ幸いです。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	岐阜学習センター		
学習センターコード	21A		
クラスコード	K		
科目名	**科学英語**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	リム　リーワ Lee Wah LIM 岐阜大学教授・副学長		
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30〜11:00 第２時限 11:10〜12:40 第３時限 13:30〜15:00 第４時限 15:10〜16:40 11月29日(日) 第１時限　9:30〜11:00 第２時限 11:10〜12:40 第３時限 13:30〜15:00 第４時限 15:10〜15:55 試験・レポート等 15:55〜16:40		
実施会場	岐阜学習センター		
			【受講者が当日用意するもの】 英英辞書/英和辞書、ノート、筆記用具（やる気！ /笑） **【教科書】** 教科書は使用しません。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009〜2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 英語を第二母国語として学習してきた経験を紹介します。 また、マレーシアをはじめ、普段英語を使っている国の文化なども紹介します。

科目コード	2694700
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	HK
科目名	**楽しく英語で自己表現！**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	15名
担当講師	コダマ　ヤスアキ 児玉　靖明 朝日大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。

英語は学校で学ぶ一つの「教科」ですが、我々が毎日使用している日本語と同じ「ことば」です。英語の4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）をバランスよく習得し、英語をコミュニケーション・ツールとして使用しようとする主体性、また、他人の意見に敬意を持って耳を傾けられるような姿勢を身に付けます。

【到達目標】

基礎的な英語を使用し、自分の考えや意見、気持ちを楽しみながら伝えられるようになることを目指します。

【授業テーマ】

第1回 ウォーミング・アップ
第2回 自分のことを伝える
第3回 グループ・ディスカッションⅠ
第4回 グループ・ディスカッションⅡ
第5回 物語を読む
第6回 新聞記事を読む
第7回 気持ちをのせて音読
第8回 英語でクリスマスカード/年賀状

【学生へのメッセージ】

英語は自分の考えや意見、気持ちを他の人と伝え合う「ことば」です。コミュニケーション・ツールとして英語を使えるようになることを目標に一緒に頑張りましょう！

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

英和辞典、和英辞典（電子辞書も可）

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2694700
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	HL
科目名	**楽しく英語で自己表現！**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	10名
担当講師	コダマ　ヤスアキ 児玉　靖明 朝日大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	この授業は、【▲自宅等(Zoom)】で行います。

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を必ずご確認ください。
※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。

英語は学校で学ぶ一つの「教科」ですが、我々が毎日使用している日本語と同じ「ことば」です。英語の4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）をバランスよく習得し、英語をコミュニケーション・ツールとして使用しようとする主体性、また、他人の意見に敬意を持って耳を傾けられるような姿勢を身に付けます。

【到達目標】

基礎的な英語を使用し、自分の考えや意見、気持ちを楽しみながら伝えられるようになることを目指します。

【授業テーマ】

第1回 ウォーミング・アップ
第2回 自分のことを伝える
第3回 グループ・ディスカッションⅠ
第4回 グループ・ディスカッションⅡ
第5回 物語を読む
第6回 新聞記事を読む
第7回 気持ちをのせて音読
第8回 英語でクリスマスカード/年賀状

【学生へのメッセージ】

英語は自分の考えや意見、気持ちを他の人と伝え合う「ことば」です。コミュニケーション・ツールとして英語を使えるようになることを目標に一緒に頑張りましょう！

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、表示名は出席確認のため、学籍登録している氏名としてください。
授業を受講するにあたっての必要な情報（Zoomのアクセス情報等）、は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードを、一定期間変更していない場合、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワードの変更を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

英和辞典、和英辞典（電子辞書も可）
Zoomの動作には、マイク、スピーカー、webカメラが備わったパソコンが必要です。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
Zoomを利用するためには、一定の条件を満たした通信環境が必要です。特に、通信状態が安定して維持できる環境が必要ですので、ご自宅等でご利用の通信サービスが対応可能か必ずご確認ください。また、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに１時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、４～５時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。また、長時間の受講となるため、パソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合は、授業科目を開講している学習センターに問合せてください。
なお、ご自身の端末の故障等、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694719
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**身体を動かして学ぶ スポーツ科学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	アリカワ　ハジメ 有川　一 中部学院大学スポーツ健康科学部教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
スポーツ科学（特に運動生理学的な側面）について、その理論を理解します。単なる知識の習得ではなく、簡単な実習（実験）を通して運動・スポーツに対する理解を深め、日常生活の中で健康増進やQOL向上に活用できるようになることを目指します。
【到達目標】
スポーツ科学（特に運動生理学的な側面）の理論を理解し、日常生活の中で健康増進やQOL向上に活用できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション　運動・スポーツの効能を考える
第2回 日本人の体力・運動能力の現状、体力テストの意義
第3回 体力テストの準備・実施
第4回 体力テスト結果の分析・評価
第5回 筋の特性を理解する
第6回 呼吸・循環系の特性を理解する
第7回 スポーツ科学を自らの生活に活かすために
第8回 スポーツ科学の可能性
【学生へのメッセージ】
講義形式による理論の理解とともに、実習（自らの身体を用いた簡単な実験を含む）を通してスポーツ科学の実際の活用方法について学びます。実習では教室の内外（屋外を含む）で軽い運動を行いますので、準備を整えて来てください。運動内容は決してハードではありませんので、日頃運動をしていない方でも大丈夫です。
【受講前の準備学習等】
ご自身のこれまでの健康増進に向けた運動実施について、良かった点・改善を要する点等について十分に振り返っておいて下さい。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
軽い運動ができる服装（ジャージ、運動靴（屋外用）、タオル等）、水分補給のための飲料等
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
室内および屋外で軽く運動ができる準備（服装、体調、心構え）をお願いします。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2694727
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**医療コミュニケーションの基本**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ハヤカワ　カホ 早川　佳穂 岐阜大学特任助教
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月13日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
医療現場でのコミュニケーションは、様々な思いを抱える患者さんやご家族に大きな影響を与えます。よい医療コミュニケーションとはどんなものでしょうか。もちろん医療者のコミュニケーション能力が重要ですが、患者さんが医療におけるコミュニケーションを理解することも、良い医療に繋がる第一歩となります。この授業では、まずは「コミュニケーション」の基本を学びます。そして医療者と患者さんの関係性やヘルスリテラシーについて学び、医療現場でのコミュニケーションの特性やあり方を、ディスカッションやロールプレイを通じて理解していきます。
【到達目標】
・コミュニケーションの基本知識を理解し、説明することができる。
・医療者と患者の関係を理解し、医療現場でのコミュニケーションについて議論できる。
・ヘルスリテラシーに関して理解し、議論できる。
・自分の気持ちを伝えるコミュニケーションをロールプレイで実践できる。
【授業テーマ】
第1回 自分のコミュニケーションを振り返る
第2回 コミュニケーションの基本
第3回 いろいろな場でのコミュニケーションを考える
第4回 医療現場でのコミュニケーションを考える①
第5回 医療者と患者の関係性
第6回 ヘルスリテラシー
第7回 医療現場でのコミュニケーションを考える②
第8回 医療コミュニケーションを体験する
【学生へのメッセージ】
受講者の皆さんで一緒に考えながら、より良い学びの場を創ることを目指しています。積極的に参加していただき、皆で学びを深めましょう
【受講前の準備学習等】
自分の普段のコミュニケーションや、医療の場でのコミュニケーション体験に関して、授業で共有できるように頭の中で準備しておいてください。
その他シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】、** **【受講者が当日用意するもの】、** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 心理学実験では、学生が実験者および実験参加者として実験を行い、得られたデータを統計的に分析してレポートを作成します。「心理学実験２」では、自由再生、パーソナルスペース、印象形成という３つのテーマで実験を行います。学生は原則として８回の授業全てに出席し、３種の実験全てについてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理学実験でのレポートの書き方について１ 第2回 心理学実験でのレポートの書き方について２と自由再生実験の導入 第3回 自由再生実験の実施とデータ分析 第4回 自由再生実験のレポート執筆指導 第5回 パーソナルスペース実験の導入と実施 第6回 パーソナルスペース実験のデータ分析とレポート執筆指導 第7回 印象形成実験の導入と実施 第8回 印象形成実験のデータ分析とレポート執筆指導 **【学生へのメッセージ】** 実験の進行状況により、スケジュールが変更になる可能性があります。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など ）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 ３つの課題について、レポート執筆に用いる資料は事前に準備しておいてください。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」を参照してください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により評価します。レポートは授業後に、講義室で持参したパソコンからメールで提出してもらいます。操作をご自身で行えるよう、事前にご確認ください。
学習センター	岐阜学習センター		
学習センターコード	21A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験２**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	カワシマ　ケンタロウ 川嶋　健太郎 東海学院大学教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	岐阜学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等） ３．ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です ・Wordが望ましいです（Googleドキュメントも可） ・Excelが必要です ４．その他 ・USBメモリ ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。心理学実験１、心理学実験 ２、心理学実験 ３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2694824
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**アニマルセラピー概論**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヨシダ　ナオコ 吉田　尚子 （公社）日本動物病院協会理事／獣医師
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では「アニマルセラピー（動物介在介入：AAI）」について、その歴史的背景から最新の科学的根拠、動物福祉までを包括的に学びます。「癒やし」の枠を超え、医療・福祉・教育の現場で動物が果たす役割を、獣医学および行動学等の視点から紐解き、専門家でさえもなし得ないことを、物言わない生き物がそばにいることで実現できた、奇跡的な犬の効果の事例なども共有します。
日本における導入事例や多職種連携での安全管理のガイドラインに加え、「読書犬」や「付添犬」といった最新の展開についても詳説します。人間側に偏った恩恵だけでなく、関わる動物の福祉（ウェルフェア）はもちろん、幸せ（ウェルビーイング）を同時に実現するための課題を共有します。

【到達目標】
1．AAIの定義を正しく理解し、各現場における適切な運用形態のために必要な内容を説明できる。
2．人と動物の相互作用がもたらす生理的・心理的効果について、オキシトシン等の科学的根拠に基づいて解説できる。
3．動物福祉（アニマルウェルフェア）の観点から、参加動物の適性、セッション内でのストレスサインを理解し、倫理的配慮に基づいた活動を説明できる。
4．「One Welfare（人・動物・環境の地続きの幸せ）」の視点を持ち、自身の専門領域や地域社会においてAAIの実装可能性を検討できる。

【授業テーマ】
第1回 人と動物の関係学とAAIの定義・歴史
第2回 AAIの現場と安全管理・チーム医療の実際
第3回 犬の行動特性とセラピードッグの選抜・適性
第4回 アニマルセラピーの科学的根拠（生理・心理的効果）
第5回 教育現場への応用：読書犬（R.E.A.D.プログラム）
第6回 動物の幸せを考える：動物福祉とエシカルな視点
第7回 司法・医療への展開：付添犬・コートハウスドッグ
第8回 人と動物のウェルビーイング：One Healthの未来

【学生へのメッセージ】
「動物に癒される」―この感覚の裏側には、長年築いてきた絆と、緻密な生物学的メカニズムが隠されています。
本講義を通じて、動物を「利用」ではなく「共に社会を良くするパートナー」として捉えてみましょう。動物と人が共に健やかに暮らせる社会をさまざまな背景や経験を持つみなさまがぞれぞれイメージしてみてください。

【受講前の準備学習等】
多くの人がなぜ、ペットと暮らしているのでしょうか。しかしながら、先進国中、日本はペットの飼育率が欧米に比べてどんどん減っています。その理由や背景についてもぜひ考えてみてください。
参考：https://petfood.or.jp/pdf/dictionary/webcatalog.pdf

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日にプリントまたは、事前にオンラインリンクをまたはPDFデータを配付します

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・動物がくれる力（大塚敦子／岩波書店／¥902／ISBN=9784004313410）
・いっしょにいるよ　子どもと裁判に出た犬（涌井学／小学館／¥1,540／ISBN=9784093887533）

科目コード	2694735
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**発酵醸造学**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ナカガワ　トモユキ 中川　智行 岐阜大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
人類は太古の昔から微生物のもつ様々な機能を見出し、私たちの生活に活用してきた。先人達が確立した微生物を用いた技術は「発酵」や「醸造」と呼ばれ、それらはまさに彼らの「叡智の結晶」と言える。本講義では、先人達が確立した「発酵・醸造学」について解説し、前半は乳酸菌と日本の伝統的発酵食品について、後半は、清酒、ワイン、ビールなど「アルコール醸造」に関わる技術と酵母をはじめとした発酵微生物の機能を中心に「酒類」の醸造について講義する。
【到達目標】
「発酵」と「醸造」について理解し、乳酸菌による発酵食品と乳酸菌の機能について、また、清酒、ワイン、ビールなどの「アルコール醸造」に関わる技術と世界の酒類について、酵母をはじめとした発酵微生物の機能と地域文化・食文化的背景との関わりも踏まえて説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回「発酵醸造学」とは
第2回 発酵食品と乳酸菌ー乳酸発酵からプロバイオティクスまで
第3回 日本の伝統的発酵食品「なれずし」の発酵科学
第4回 微生物による発酵生産ー食品・医薬品の生産からプラスチック生産まで
第5回 The 醸造ー地域食文化と酒類の多様性
第6回 清酒醸造ときょうかい酵母
第7回 ワイン醸造と微生物
第8回 ビール醸造と酵母の進化
【学生へのメッセージ】
発酵・醸造について詳細に解説します。前半は乳酸菌のによる発酵食品、後半はアルコール飲料についてその醸造技術の発展と酵母の進化までを解説します。面接授業２日目授業終了後に授業とは別に、日本酒の官能検査（利き酒）を行います。官能検査（利き酒）に参加できる方の受講を希望します。受講者は公共交通機関を利用して参加ください。なお、20歳以上の方の受講をお勧めします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断し講義で学修する内容を踏まえて、日常から触れている「発酵・醸造」について理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具をご持参ください。官能検査（利き酒）の日本酒代として、1,000円（現金のみ）を当日に集めますので持参ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
20歳以上の方の受講をお勧めします。また、２日目に官能検査（利き酒）を予定していますので、必ず公共交通機関を利用して出席ください。

科目コード	2694743
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**低炭素熱エネルギー変換技術入門**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イタヤ　ヨシノリ 板谷　義紀 岐阜大学名誉教授／ 愛知工業大学総合技術研究所客員教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
カーボンニュートラル技術と社会システムの構築は直近の課題となっており、グリーンイノベーション基金をはじめとする国プロジェクトにより、多岐にわたる研究開発が実施されている。しかし、エネルギーの理想と現実が乖離した議論が行われることも多い。本講義では、エネルギー需給の動向を概観した上で、エネルギー変換の基盤となる熱力学、移動現象論、化学プロセスなどの学問体系の初歩について、わかりやすく解説する。
【到達目標】
エネルギーの実態を理解する上で必要な基礎的学問体系の初歩を理解し、カーボンニュートラル社会システムをイメージすることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 エネルギーとは
第2回 エネルギー需給統計データから見る動向の過去と現在
第3回 熱力学の基本法則とエネルギー変換
第4回 移動現象論の基礎
第5回 伝熱速度論と伝熱促進技術
第6回 エネルギー変換技術の初歩
第7回 省エネルギー技術と高効率エネルギー変換
第8回 カーボンニュートラルに向けた研究開発プロジェクトの概観
【学生へのメッセージ】
理解を深めるために演習課題を併用しながら、質疑にも重点を置きつつ講義を行います。できるだけ関数電卓またはスマートフォンの計算機アプリを準備して、その利用に慣れておいてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容と講義資料を参考に、予習と復習に努力してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
学生へのメッセージにも記載のように、関数電卓またはスマートフォンの計算機アプリを準備して、その利用に慣れておいてください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694751
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**岐阜にまつわる東洋史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ツカモト　アスカ 塚本　明日香 岐阜大学地域協学センター准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
１日目は岐阜の由来。「岐阜は織田信長が名付けてくれた地名」とよく言いますが本当にそうか？忘れられていた「義婦山」伝説と合わせて検討します。また、「岐阜」の文字が「岐山」と「曲阜」にちなむことも知られていますが、それは中世日本の知識人にとってどんなイメージの地名なのか。中国古典の内容と、現代の歴史学で分かってきたことを紹介します。
２日目は建築史の中の岐阜。日本建築史の大まかな流れを確認しつつ、岐阜県内にある様々な関連史跡を紹介します。近場の史跡めぐりが少し面白くなるかもしれません。
【到達目標】
・歴史学の基礎的な調査方法や論の立て方が理解できる。
・身近な事柄について東洋史の大きな流れを踏まえて捉えなおすことができる。
【授業テーマ】
第1回 岐阜の由来①―岐阜の由来の伝説検証
第2回 岐阜の由来②―地名の変遷と「岐」のはなし（周の文王とその周辺）
第3回 岐阜の由来③―「阜」のはなし（孔子の功績と影響）
第4回 岐阜の由来④―禅僧の役割
第5回 建築史の中の岐阜①―仏塔のはなし
第6回 建築史の中の岐阜②―寺社仏閣の形
第7回 建築史の中の岐阜③―非宗教権力者の居所
第8回 建築史の中の岐阜④―庶民の居所
【学生へのメッセージ】
日常的に見る地名、何気なく目にする建物、身近なものの背後にある歴史性に目を向けてみるきっかけになればと思っています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・「岐阜の地名考」『地域志向学研究』第5巻（塚本明日香／岐阜大学地域協学センター）
講師の執筆した論文（日本語）です。参考資料として当日配布します。 その他、各回のテーマに即した参考文献をプリントで提示します。

科目コード	2694760
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**岐阜、日本、世界の方言**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヤマダ　トシヒロ 山田　敏弘 岐阜大学教育学部教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
岐阜県の方言の特徴を日本の各地方言との比較において学びます。また、世界的に見て日本は方言が豊かな国であることも、特にヨーロッパ南部の言語事情と比較しながら学びます。
【到達目標】
言語におけるバリエーションとはなにかを理解するために、日本および世界の方言を含むさまざまな言語に触れ、経済や人口規模では測れない言語の普遍的価値と個性を正しく判断できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 日本の方言の概説　（方言区画と東西方言、周圏分布）
第2回 日本の方言の中の岐阜方言　（飛騨と美濃、言語接触と変容、音韻）
第3回 美濃方言の特徴　（尾張方言の影響と方言の東進現象）
第4回 飛騨方言の特徴　（岐阜県の方言の一体性、方言文法）
第5回 岐阜県方言の語彙１　（伝統的方言語彙の語源と由来）
第6回 岐阜県方言の語彙２　（学校方言と子どもの遊びの方言）
第7回 世界の方言と言語　（ロマンス語世界の言語と方言）
第8回 方言の価値　（多様性と方言、ビジネスへの応用）
【学生へのメッセージ】
岐阜の方言を知らなくても大丈夫です。むしろ、岐阜の方言に興味をもってくだされば他県からの参加を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
中日新聞岐阜県版に毎週連載している記事をよければ読んできて、自分の体験や質問などを話してくださると助かります。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・岐阜県方言辞典（山田敏弘／岐阜大学／¥2,200）
岐阜県方言により関心をもって知りたいという方に、講師から直接お頒けします。ただし、必須ではありませんし、在庫僅少につき希望者全員にお頒けできないかもしれません。

科目コード	2694778
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**海軍志願兵と地域社会**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	キムラ　ミユキ 木村　美幸 岐阜聖徳学園大学・専任講師
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、講師の専門分野である海軍の志願兵の問題について、特に地域社会との接点を中心に講義を行います。この際、特に海軍が地域に対してどのように働きかけを行なったかを重視し、在郷軍人会といった組織の役割はもちろん、ポスターや映画（「ハワイマレー沖海戦」など）についても授業中に取り上げ、視聴する時間も設けたいと考えています。
【到達目標】
海軍志願兵について理解し、軍隊と社会の関係について説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 海軍志願兵について問う意義
第2回 明治・大正期の志願兵
第3回 戦時下の海軍志願兵
第4回 国策映画と海軍
第5回 海軍の地方拠点
第6回 海軍の宣伝方法
第7回 海軍志願兵を集める地域社会
第8回 志願兵のその後と現代社会
【学生へのメッセージ】
近現代史、特に戦争や軍隊の歴史に関心のある皆さんの受講を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・日本海軍の志願兵と地域社会（木村美幸／吉川弘文館／¥9,900／ISBN=9784642039178）
・海軍へ志願せよ（木村美幸／吉川弘文館／¥1,980／ISBN=9784642306232）

科目コード	2694786
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**有機化学の基礎2**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イシダ　ヒデハル 石田　秀治 放送大学岐阜学習センター客員教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
生命に不可欠な有機分子や我々の生活を支える有機化合物について、その性質や機能性などを理解するために、有機化合物の命名法、溶解性などの物理的性質、さらに反応性などの化学的性質について学びます。通年で学ぶ予定のうちの後半です。前学期の「有機化学の基礎1」では、アルカン、アルケン、アルキンなどの炭化水素、ベンゼンなどの芳香族化合物、またアルコールやその関連化合物などについて学びました。本学期ではより生体成分との関連が深い、アルデヒドとケトン、アミン、カルボン酸と誘導体について学びます。
【到達目標】
・アルデヒドとケトンの構造、安定性、反応性について説明することができる。
・アミンの構造、安定性、反応性について説明することができる。
・カルボン酸と誘導体の構造、安定性、反応性について説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 アルデヒドとケトンの性質について
第2回 アルデヒドとケトンの反応について
第3回 アミンの性質について
第4回 アミンの反応について
第5回 カルボン酸と誘導体の性質について
第6回 カルボン酸と誘導体の反応について
第7回 演習①
第8回 演習②
【学生へのメッセージ】
前期の「有機化学の基礎1」では比較的単純な物質を扱いましたが、本学期では、より生体成分に近い物質について学びますので、生命科学や環境科学の理解に役立つと思います。
【受講前の準備学習等】
教科書に予め目を通しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
・マクマリー生物有機化学　有機化学編（菅原二三男、倉持幸司監訳／丸善出版／¥4,950／ISBN=9784621302415）
1学期に開講した「有機化学の基礎1」と同じ教科書を使用します。

科目コード	2694794
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**岐阜の地形・地質・歴史**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	コジマ　サトル 小嶋　智 岐阜大学名誉教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40
実施会場	この授業は、【２日目のみ★岐阜市内（岐阜公園周辺)】で行います。

授業概要

【授業内容】
岐阜市の地形は岐阜市のシンボル金華山、長良川の清流、長良川によってつくられた扇状地などによって特徴づけられる。このような地形は、今から1.5億年ほど前に海洋プレートの沈み込みによってつくられた地質にその起源をもっている。このような自然環境のもと、岐阜は織田信長の時代から日本の要衝の地として支配者達に注目されてきた。このように、岐阜の地形・地質・歴史は深い関連を持っていることを理解するために必要な知識を講義する。またそれらを実際に見て理解するために野外巡検を行う。
【到達目標】
岐阜市の地形・地質・歴史の特徴を理解し、それを他者にわかりやすく説明できる。野外における調査法を身につけ、他地域において自分で調査を行うことができる。
【授業テーマ】
第1回 岐阜市の地形
第2回 岐阜市の地質（その1）
第3回 岐阜市の地質（その2）
第4回 岐阜市の歴史
第5回 岐阜市の地形・地質・歴史に関する野外巡検（その1）
第6回 岐阜市の地形・地質・歴史に関する野外巡検（その2）
第7回 岐阜市の地形・地質・歴史に関する野外巡検（その3）
第8回 岐阜市の地形・地質・歴史に関する野外巡検（その4）
【学生へのメッセージ】
野外巡検では数km歩きますので、その体力があることが参加条件です。
【受講前の準備学習等】
本講義を理解するためには､中学校までに学んだ理科の基礎知識が必要です｡復習し､理解しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業・巡検への取り組みと、課題の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
巡検には歩きやすい服装と靴で参加してください。雨具・飲み物を用意してください。昼食は周辺でとることもできますし、お弁当を持参していただいても結構です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この科目は「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(この保険の加入については、面接授業開設一覧P.5参照)

科目コード	2694808
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**天気予報の仕組みと使い方**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヨシノ　ジュン 吉野　純 岐阜大学工学部教授／岐阜大学工学部附属応用気象研究センターセンター長
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月22日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
近年頻発する巨大台風や集中豪雨といった異常気象により天気予報はますます重要となりつつあると同時に、気象や気候の影響を受ける産業（農業、漁業、建設業、エネルギー業、小売業、医療業・・・）において生産性を高めリスクを下げるために天気予報を効果的に活用することが望まれます。この授業では、気象学の基礎を学び、天気予報の仕組みと天気図等の見方を理解するとともに、気象情報の効果的な活用方法についても学習します。
【到達目標】
・気象予報の仕組みと原理を理解できるようになる。
・天気図パターンを知り，地上天気図から天気を予測できるようになる。
・温帯低気圧のメカニズムを理解し，高層天気図の見方を理解できるようになる。
・リードタイムの異なる様々な気象情報について理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 天気予報の仕組み
第2回 天気予報の物理学
第3回 地上天気図の見方
第4回 地上天気図のパターン
第5回 高層天気図の見方
第6回 温帯低気圧と天気図
第7回 天気図解析実習
第8回 様々な気象情報
【学生へのメッセージ】
最近よく当たるようになってきた天気予報を皆さんの生活や仕事に役立ててみませんか？気象予報士の仕事に触れてみましょう！
【受講前の準備学習等】
テレビやインターネットからどのような気象情報があるのかを調べてみましょう。それらについて目を通しておけばこの講義の理解に役立ちます。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び以下のレポート課題の評点により行います。
レポート課題：気象情報のもつ性質を整理し、皆さんの生活や仕事にどのように活用することができるかを考察してください。
なお、レポートは後日返却します。

【受講者が当日用意するもの】
色鉛筆（あればご持参ください。天気図分析のために利用します。）
スマートフォンやタブレット端末（インターネット上の気象情報を見るために利用しますが無くても支障ありません。）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・新　百万人の天気教室（改訂版）（白木正規 著／成山堂書店／¥3,520／ISBN=9784425513529）
・図解入門 最新天気図の読み方がよ～くわかる本［第3版］（岩槻秀明／秀和システム／¥2,090／ISBN=4798064807）

【その他（特記事項）】
必要な教材は配布しますので、参考書は必ずしも購入していただく必要はありません。

科目コード	2694816
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	HK
科目名	**知らなきゃ損する 生活防衛環境学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	ヤマグチ　ヒロヨシ 山口　博美 岐阜大学非常勤講師
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。

「電気代高騰・異常気象に負けない！知らなきゃ損する生活防衛環境学」
カーボンニュートラル・SDGｓ・マイクロプラスチック、耳にはするけど「結局、私の生活にどう関係あるの」と思っていませんか。この講義は、単なる知識の習得ではありません。現代の環境知識・リスクを正しく理解した上で、江戸時代の「究極の省エネ生活」と現代の最新技術をかけ合わせ、あなたと家族の暮らしを守る具体的なヒントを２日間の集中講義で手に入れることができます。

【到達目標】

1．エコ検定の要点を押さえ、地球温暖化やマイクロプラスチック、SDGｓといった現代の重要キーワードを正しく理解し、ニュースや社会の動きを自分の頭で判断できるようになる。
2．学んだ知識を「自分の生活」に落とし込み、明日から始められる家計・健康・防災のための生活防衛を意識できるようになる。

【授業テーマ】

第1回 なぜ今「環境」なのか～公害から地球規模の課題へ～
第2回 2050年の夏を生き抜く～異常気象の正体と命を守る適応策～
第3回 脱炭素社会の舞台裏（1）～電力供給の現状～
第4回 脱炭素社会の舞台裏（2）～カーボンニュートラルとは～
第5回 生物多様性と海洋ゴミの衝撃～私たちの自然を脅かすリスク～
第6回【温故知新】江戸に学ぶ～江戸時代のエコな生活～
第7回 SDGsの背景～世界の現状と日本の幸せ～
第8回 ワークショップ～じゃあ何してみようか～

【学生へのメッセージ】

本講義は、環境の話を聴くだけの授業ではありません。皆さんの人生経験や知恵を共有いただきながら、今の自分や家族の生活に感謝しつつ、よりエコな生活を心掛けることによって地球にも優しくなることを一緒に考えるクラスです。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して、テキストを事前に予習するなど自己学習に努めて下さい。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

eco検定公式テキスト改訂10版・ノート・筆記用具

【教科書】

・eco検定公式テキスト改訂10版（東京商工会議所／日本能率協会マネジメントセンター／¥2,860／ISBN＝9784800592958）

科目コード	2694816
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	HL
科目名	**知らなきゃ損する 生活防衛環境学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	10名
担当講師	ヤマグチ　ヒロヨシ 山口　博美 岐阜大学非常勤講師
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	この授業は、【▲自宅等(Zoom)】で行います。

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。

HK　→　学習センター

HL　→　自宅等（Zoom）

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】を必ずご確認ください。

「電気代高騰・異常気象に負けない！知らなきゃ損する生活防衛環境学」

カーボンニュートラル・SDGｓ・マイクロプラスチック、耳にはするけど「結局、私の生活にどう関係あるの」と思っていませんか。この講義は、単なる知識の習得ではありません。現代の環境知識・リスクを正しく理解した上で、江戸時代の「究極の省エネ生活」と現代の最新技術をかけ合わせ、あなたと家族の暮らしを守る具体的なヒントを２日間の集中講義で手に入れることができます。

【到達目標】

1．エコ検定の要点を押さえ、地球温暖化やマイクロプラスチック、SDGｓといった現代の重要キーワードを正しく理解し、ニュースや社会の動きを自分の頭で判断できるようになる。
2．学んだ知識を「自分の生活」に落とし込み、明日から始められる家計・健康・防災のための生活防衛を意識できるようになる。

【授業テーマ】

第1回 なぜ今「環境」なのか～公害から地球規模の課題へ～
第2回 2050年の夏を生き抜く～異常気象の正体と命を守る適応策～
第3回 脱炭素社会の舞台裏（1）～電力供給の現状～
第4回 脱炭素社会の舞台裏（2）～カーボンニュートラルとは～
第5回 生物多様性と海洋ゴミの衝撃～私たちの自然を脅かすリスク～
第6回【温故知新】江戸に学ぶ～江戸時代のエコな生活～
第7回 SDGｓの背景～世界の現状と日本の幸せ～
第8回 ワークショップ～じゃあ何してみようか～

【学生へのメッセージ】

本講義は、講師の話を聴くだけの授業ではありません。皆さんの人生経験や知恵を共有いただきながら、今の自分や家族の生活に感謝しつつ、よりエコな生活を心掛けることによって地球にも優しくなることを一緒に考えるクラスです。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して、テキストを事前に予習するなど自己学習に努めて下さい。 Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、表示名は出席確認のため、学籍登録している氏名としてください。

授業を受講するにあたっての必要な情報（Zoomのアクセス情報等）、は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードを、一定期間変更していない場合、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワードの変更を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

eco検定公式テキスト改訂10版・ノート・筆記用具
Zoomの動作には、マイク、スピーカー、webカメラが備わったパソコンが必要です。

【教科書】

・eco検定公式テキスト改訂10版（東京商工会議所／日本能率協会マネジメントセンター／¥2,860／ISBN＝9784800592958）

科目コード	2694832
学習センター	岐阜学習センター
学習センターコード	21A
クラスコード	K
科目名	**野生動物と人の共存を考える**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	スドウ　アキコ 須藤　明子 ㈱イーグレット・オフィス／専務取締役
日程 実施時間	12月26日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月27日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

【授業内容】
日本における野生動物と人との関係について、生態学的知識と社会的背景の双方から理解を深めることを目的とする。イヌワシやカワウ、鰭脚類（アザラシ・アシカ類）などの事例を取り上げ、保全と管理の考え方、被害問題の構造、合意形成の課題について解説する。また、野生動物管理に関わる制度や専門職の役割についても紹介し、科学的知見を社会実装する過程の課題を理解する。野生動物と人の望ましい共存のあり方について、受講者とともに考える。

【到達目標】
1. 野生動物管理の基本概念を理解し説明できる。
2. 保全と管理の違いおよび両立の必要性を理解できる。
3. 具体的事例を通じて野生動物管理の課題を整理できる。
4. 野生動物と人との共存のあり方について自分の考えを述べることができる。

【授業テーマ】
第1回 野生動物管理とは何か：共存を考える視点
第2回 絶滅危惧種との共存①　イヌワシ：生態と生息環境
第3回 絶滅危惧種との共存②　イヌワシ：土地利用と保全の課題
第4回 絶滅危惧種との共存③　イヌワシ：伊吹山の保全実践
第5回 被害をもたらす種との共存①　カワウ：生態と被害構造
第6回 被害をもたらす種との共存②　カワウ：個体数管理と合意形成
第7回 被害をもたらす種との共存③　海生哺乳類（鰭脚類）と漁業被害
第8回 野生動物管理の未来：野生動物管理制度と専門職の役割

【学生へのメッセージ】
野生動物問題には単純な正解はありません。本授業では、科学的知識だけでなく社会的背景や価値観の違いにも目を向けながら、多角的に考える力を養うことを目指します。専門知識の有無にかかわらず受講できます。

【受講前の準備学習等】
日常生活の中で見聞きする野生動物問題について関心を持ち、新聞記事やニュース等に目を通しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・実践　野生動物管理学（鷲谷いづみ（監修・編著）梶光一・横山真弓・鈴木正嗣（編著）／培風館／¥3,300／ISBN=9784563084011）
・日本のタカ学ー生態と保全（樋口広芳（編）／東京大学出版会／¥5,500／ISBN=9784130602235）
・野生鳥獣被害防止マニュアル【鳥類編】（山口恭弘・吉田保志子・益子美由希・須藤明子（著）農林水産省（監修）／プランドゥ・ジャパン／¥0）
　農林水産省のWEBサイトより全文ダウンロード可能
・YouTube：伊吹山のイヌワシ子育てライブ(Eaglet Video Library／株式会社イーグレット・オフィス／¥0)
　2026年2月より伊吹山のイヌワシの営巣をライブ配信しています。配信の目的は、イヌワシの見守りと保全の意識を育むことです。

【その他（特記事項）】
講師自身の保全活動および科学的個体数管理の実践経験を基に構成されています。絶滅危惧種保全と被害対策の両面を扱い、理論と現場を結びつけて考察します。

科目コード	2694840
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**やさしい法学入門**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	25名
担当講師	ネモト　タケシ 根本　猛 静岡大学・名誉教授／静岡学習センター・客員教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	静岡学習センター （三島長陵高校内）

授業概要

【授業内容】
身のまわりの出来事やトラブルを題材に法の役割を考えます
【到達目標】
生活の様々な場面で法が役立つことを理解し、簡単な事例であれば解決策を示すことができる
【授業テーマ】
第1回 法って何？ ・婚約・結婚
第2回 妊娠・出産・中絶
第3回 離婚・相続
第4回 悪質商法
第5回 借金
第6回 アパートを借りる・株式会社って？
第7回 働く　労働者の保護
第8回 ギャンブル
【学生へのメッセージ】
ずっと平穏な人生であれば、弁護士のお世話になることはないかもしれません。でも困ったときに法は何とかしてくれることもあると知っていれば、安心ではないかと思います。
なお、教科書は女性のライフステージをたどるように記述されていますが、誰もが知っておくと有益な事柄です。性別にかかわらず受講を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
教科書の該当ページを読んでおいてください。理解がいっそう深まります。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書をご用意ください
【教科書】
・ライフステージと法　第8版（副田隆重ほか／有斐閣／¥2,200／ISBN=9784641221437）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2694859
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**多文化共生から考える人類学入門**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	230
定員	25名
担当講師	キム　ミョンミ 金　明美 静岡大学情報学部・教授／浜松サテライトスペース・客員教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【★静岡市教室(静岡市立南部図書館内)（静岡市駿河区南八幡町３－１)】で行います。

授業概要

【授業内容】
日本で現在、「多文化共生」は、国籍や民族等の異なる「外国人」との共生問題として狭く捉えられがちです。本授業では、まずこうした認識が形成されてきた歴史的背景を知り、社会通念を相対化するための検討を行います。その上でグローバルな動向等も踏まえ、「多文化共生」をより広く捉える必要性について、人類学の重要概念である「文化相対主義」をめぐる議論から考えます。さらに、「人間中心主義」を乗り越え、多種多様な「他者」との共生を模索する人類学の動向を学び、こうした観点から日本各地の伝統文化を見直す意義についても考えます。
【到達目標】
日本の「多文化共生」の歴史と現状を知り、文化人類学の基本的な考え方を理解して、日本の地域社会や文化を見直すことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 日本における多文化共生の概念と背景：1990年代以前の動向
第2回 日本における多文化共生の施策：2000年代以降の動向
第3回 日本における多文化共生の実践と課題：フィールドの事例より
第4回 グローバルな動向と日本への示唆：多文化主義、多様性・包摂性と人権
第5回 人類学における文化相対主義：思想的意義と課題
第6回「文化」概念再考：レヴィ＝ストロースの構造主義以前と以後
第7回 人類学の新動向：「人新世」時代のマルチスピーシーズ（多種）人類学
第8回 より開かれた「多文化共生」の可能性：日本各地の伝統文化から考える
【学生へのメッセージ】
既存の「多文化共生」概念を再考し、より開かれた多文化共生社会の実現に向けて考える契機になれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・日本の出入国と共生の理念：伝統文化から考える（原尻英樹／新幹社／¥990／ISBN=9784884001421）
・これからの時代を生き抜くための 文化人類学入門（奥野克巳／辰巳出版／¥1,760／ISBN=9784777828739）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
授業の話を補足する上で、視聴覚教材を使用します。

科目コード	2694867
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**地理学実習**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	210
定員	20名
担当講師	ヤマモト　リュウタ 山本　隆太 静岡大学地域創造教育センター准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 10月18日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	この授業は、【静岡学習センター（三島長陵高校内） 10月17日（土）の第４時限・10月18日（日）の第１時限は★屋外(三島市街周辺)】で行います。

授業概要

【授業内容】
この授業では、地理学の方法論を用いた実習を通して、地域の分析および総合に関する方法を学びます。授業では､地図・GISによる予察､フィールドワークでの観察・データの取り方、データの地図表現、地誌学的な考察法、レポートのまとめ方について実習を行います。
受講生の皆さんは、8回の授業に出席し、地図分析、フィールドワーク、考察をひとまとめにし、最後にひとつのレポートを作成、提出する必要があります。

【到達目標】
・地域を分析するために、地理学の方法論について理解した上で、地図の用法を説明することができる
・地図を用いて地域を分析し予察図を作成することができる
・フィールドワークを通じて予察図に情報を加えることができる
・地域の事象を総合するために、地図作業・フィールドワークの包括的にまとめレポートを作成することができる

【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション・地理学の方法論と地図＆GIS
第2回 地図GISによる予察
第3回 文献資料による予察
第4回 フィールドワークによる観察
第5回 フィールドワークによるデータ収集
第6回 データの地図表現
第7回 静態的な地誌学的考察
第8回 マルチパースペクティブによる地誌学的考察

【学生へのメッセージ】
地図の作業については紙地図を用いますが、希望者はご自身のパソコンを持ち込んでいただいて作業していただくことも可能です（BYOD方式)。その場合、ウェブGISや一般的なスライド作成アプリケーションを利用します。インストールが必要なGISのソフトウェアなどは特に用いませんので、事前のインストール・準備は必要ありません。

【受講前の準備学習等】
・三島にある事象やニュースについて、関心あるものを取り上げて調べてください

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートは返却します。

【受講者が当日用意するもの】
・通信機器（インターネットを介して地域の事象について調べるため）
・（可能な方は）ノートPCなどの端末

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
・この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
・スマートフォン、端末の充電が必要な方は、ご自身でアダプター等をお持ちください。
・端末等の不具合が発生した場合、基本的にはご自身で解決していただくことになります。
・端末がなくとも紙地図で作業していただけます。
・この科目は「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。この保険の加入については、面接授業開設一覧p.5を参照してください。

科目コード	2689162
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	コイケ　ハルカ 小池　はるか 東海大学児童教育学部・准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 10月18日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	静岡学習センター （三島長陵高校内）

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的な実験3種に実験者や実験参加者として参加し、実験データを集計・分析し、その結果をレポートにまとめます。この一連の作業を通して、心理学の実験方法や実験結果のまとめ方を学ぶことを目的としています。受講生の皆さんは、原則8回の授業全てに出席し、３つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション・心理学実験法と研究法
第2回 実験（1）：囚人ジレンマ
第3回 実験（2）：囚人ジレンマ（続き）・分析の初歩と実験のまとめ
第4回 実験レポートの書き方
第5回 実験（3）：SD法
第6回 実験（4）：SD法（続き）・実験のまとめ
第7回 実験（5）：社会的判断（ヒューリスティック判断）
第8回 実験（6）：社会的判断（ヒューリスティック判断）・実験のまとめ・レポート課題について
【学生へのメッセージ】
授業時にレポートの書き方を説明しますが、説明を聞きながらレポート作成します。手書きの方は筆記用具とレポート用紙、それ以外の方はパソコンを持参してください。希望者には、授業時にOneDriveを介して資料配信します。
【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
手書きでレポート作成する方は筆記用具とレポート用紙、パソコンでレポート作成する方はパソコン。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・改訂新版　心理学論文の書き方（松井豊／河出書房新社／¥1,870／ISBN=9784309245225）

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2694875
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**子どもと創造活動**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	310
定員	20名
担当講師	タカハシ　トモコ 髙橋　智子 静岡大学教育学部教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【★静岡市教室(静岡市立南部図書館内)（静岡市駿河区南八幡町３－１)】で行います。

授業概要

【授業内容】
本授業では、教育における美術の創造活動の意義や魅力について、講義や演習（表現及び鑑賞）を通して考えていきます。創造活動では、全ての子どもが表現や鑑賞の活動過程で自分の夢や願いを想像し、自分なりの新たな意味や価値をつくりだします。多様な作品を鑑賞したり、受講者自身が表現したり鑑賞したりすることを通して、創造活動の意義や魅力、表現や鑑賞の方法、材料や用具の特徴、活動における指導のポイント等について学んでいきます。
【到達目標】
・教育における表現や鑑賞活動の意義を理解することができる
・多様な子どもの創造活動の指導のポイントを理解することができる。
・様々な鑑賞方法の違いや特徴について理解し、その魅力と課題について考えることができる。
・材料や用具の性質を理解し、自分の制作に活用することができる。
【授業テーマ】
第1回 教育における表現や鑑賞活動の意義とは
第2回 多様な子どもの実態から創造活動を考える
第3回 鑑賞：様々な鑑賞方法を知ろう
第4回 鑑賞：日本や西洋の美術作品を鑑賞しよう
第5回 鑑賞：作品制作に向けて作品鑑賞しよう
第6回 表現：紙と消しゴム、カッター・はさみで表現しよう１
第7回 表現：紙と消しゴム、カッター・はさみで表現しよう２
第8回 表現及び鑑賞：紙と消しゴム、カッター・はさみで表現しよう３
【学生へのメッセージ】
教育における美術の創造活動の意義や魅力について、自身の表現や鑑賞活動を通して楽しみながら考えていきたい方はぜひ受講してください。
【受講前の準備学習等】
多様な美術作品に興味を持ち、積極的に美術館へ足を運んでみてください。本物の作品鑑賞を通して、表現や鑑賞の意義や魅力について講義までに考えておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・特別支援教育のための図画工作・美術の授業づくり（髙橋智子／開隆堂／¥2,200／ISBN=9784304031168）

科目コード	2694883
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**心理学研究法**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	タカハシ　ヒデアキ 高橋　秀明 放送大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	静岡学習センター （三島長陵高校内）

授業概要

【授業内容】
まず、心理学研究を、問題意識から始め、研究計画の立案、研究の実行と公表、研究の評価までの一連の流れとして紹介し、各段階での作業内容、注意事項を取り上げて説明します。次に、代表的な心理学研究法である、観察法、実験法、質問紙法のそれぞれについて概説します。本講義の目標は、心理学研究での、研究計画書あるいは実験（調査）計画書を書くことができるようになることです。
【到達目標】
心理学研究での、研究計画書あるいは実験（調査）計画書を書くことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション、研究の流れ（1）：研究とは、問題意識
第2回 研究の流れ（2）：研究計画の立案
第3回 研究の流れ（3）：研究の実行
第4回 研究の流れ（4）：公表、研究の評価
第5回 観察法
第6回 質的研究法
第7回 実験法：実験計画法を中心に
第8回 質問紙法、まとめ
【学生へのメッセージ】
はじめて心理学を学ぼうとする方、あるいは、近い将来に卒業研究を受講しようとお考えの方、さらには大学院への進学をお考えの方に、受講していただきたいと思っています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び授業中に課すレポートにより行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694891	**授業概要**	**【授業内容】** 児童虐待問題は、子育てのゆがみの最も深刻な状態です。ここに至る前に、予防することでしか児童虐待を減少させることはできないと思われます。親が、親として成長することを意図した教育が必要です。特に、産前からの親教育が必要だと感じています。児童虐待予防の意味でも、夫婦関係・家庭をどう運営していくかは児童虐待問題を考えるうえで重要な要素です。産前からの親教育について学びます。 **【到達目標】** 児童虐待の現状について知り、その実態を理解すること。また、児童虐待の発生予防について理解することができるようになる。 さらに、健全な家庭生活を送るために、子どもが産まれる前からの取り組みが必要であることを理解することができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 児童虐待の現状 第2回 児童虐待の予防とは 第3回 親教育プログラム 第4回 産前から産後にかけての親移行の問題 第5回 産後の夫婦関係の変化 第6回 産後クライシス問題 第7回 産後クライシスと児童虐待 第8回 知っていれば防げる問題としての産後クライシス **【学生へのメッセージ】** 日ごろからマスコミ報道などに現れる児童虐待問題に注目していてください。新聞のスクラップなどしてみてください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	静岡学習センター		
学習センターコード	22A		
クラスコード	K		
科目名	**児童虐待予防 ー親教育の視点ー**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	シバタ　シュンイチ 柴田　俊一 常葉大学・特任教授		
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・産前からの親準備教育のススメ（柴田俊一／明石書店／¥2,420／ISBN=9784750358505）
実施会場	この授業は、【★静岡市教室(静岡市立南部図書館内)（静岡市駿河区南八幡町３－１)】で行います。		**【その他（特記事項)】** 平成26年度第２学期から平成31年度第1学期にかけて、静岡学習センターおよび浜松サテライトスペースで開設された面接授業「児童虐待・愛着障害の現状と課題」と内容が重なる部分があります。 児童虐待問題・子育て支援活動に関心のある方の受講をすすめます。 子育て経験のある方は、母子手帳をとりだし、出産前後のご自分の精神状態がどうであったか、思いおこしておいてください。 子育て経験のない方は、ご自身の生まれ、乳児期の子育てなどについて、聞ける状況の方がいらっしゃるようでしたら、どのように子育てを経験してこられたか聞いておいてください。

科目コード	2689146
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ソノダ　アキヒト 園田　明人 静岡県立大学国際関係学部・教授／ 静岡学習センター・客員教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55
実施会場	静岡学習センター (三島長陵高校内)

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的実験３種を行います。皆さんはそれらの実験に、「実験者」及び「被験者」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８コマの授業すべてに出席し、３つの実験すべてについて、問題と目的、方法、結果、考察を含む「標準的レポート」を、授業終了後に作成して提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学と実験について
第2回 実験１「要求水準」の実施（実験者と被験者）
第3回 実験１の解説とデータ集計
第4回 統計解析の基礎とレポート作成について
第5回 実験２「自由再生による記憶の系列位置効果」の実施（被験者）
第6回 実験２の解説とデータ集計
第7回 実験３「運動技能学習におけるフィードバックの効果」の実施（実験者と被験者）
第8回 実験３の解説とデータ集計
【学生へのメッセージ】
授業時間外にも各自で集計・分析し、後日、３本のレポートを提出してもらいます。一部の実験では、パソコンのキーボードで文字を入力し、素早く漢字変換できる必要があります。また、教室の大型スクリーンに投映される実験の刺激材料（黒文字）を視認できる必要があります。
基本的なパソコン操作（word，excel等）は習得されていることが望ましいでしょう。第４回の講義時間（90分）と第８回の講義時間（45分）を均等配分（70分と65分に）する場合があります。
【受講前の準備学習等】
・インターネットへの接続ができる方が望ましいです（実験ではネットは使いませんが、統計解析をする際に、インターネットへの接続が必要です）。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
・なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みと、後日提出のレポートの評点により行います。
レポートは、Windowsで読み込めるWord形式のファイルで作成し、電子メールに添付し提出してもらいます。なお、レポートは、希望がある場合、気がついた点にコメントを付けて返却します。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
・ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
・端末にUSB Type-Aの差込口が必要です（変換アダプタでも可）。
２．OSの指定
・OSの種類は問いませんが、キーボードで日本語の入力（漢字変換）ができる必要があります。
３．ソフトのインストール
・Microsoft Excelが必要です。
・Microsoft Wordが必要です。
・PDFファイルを閲覧できるソフトウェアが必要です。
４．その他
・【アイマスク】実験で目隠しをするのに使用します。目隠しができるものを用意してください。
・USBメモリー（Type-A）で、Excelの集計用ファイルを配布します。
・マウスの使用を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2694905
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**対人関係と適応の心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	ハシモト　タケシ 橋本　剛 静岡大学人文社会科学部・教授／ 静岡学習センター・客員教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	この授業は、【★静岡市教室(静岡市立南部図書館内)（静岡市駿河区南八幡町３－１)】で行います。

授業概要

【授業内容】
人間が自己を知るためには、他者の存在が必要不可欠であり、人は自他の比較や、他者とのコミュニケーションを通じて、己を知ることになります。さらに、自己理解や自己受容は人々の社会的適応と密接に関連していますが、個人の社会的適応は、個人を取り巻く社会や文化のあり方によっても大きく左右されます。本講義では社会心理学の観点から、これらの心理的メカニズムについて概観します。
【到達目標】
自己概念、自尊感情、共感などの、社会的存在としての人間の心理的特徴について、社会心理学の観点から、的確に理解・説明できる。
孤立・孤独、社会的排斥、攻撃などの、現代社会における対人関係にまつわる諸問題について、社会心理学の観点から探求・洞察できる。
【授業テーマ】
第1回 自己概念
第2回 自尊感情
第3回 自己制御
第4回 自己表出
第5回 援助と共感
第6回 ストレスとサポート
第7回 対人関係のダークサイド
第8回 ウェルビーイング
【学生へのメッセージ】
円滑な授業実施のために、体調管理および受講マナーの遵守にご協力ください。
授業の妨げとなる受講態度の方は受講をご遠慮頂く場合がありますので、ご了承ください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・社会心理学概論（北村英哉・内田由紀子（編）／ナカニシヤ出版／¥3,850／ISBN=9784779510595）
・社会心理学[補訂版]（池田謙一他／有斐閣／¥3,520／ISBN=9784641053878）
・社会心理学（杉浦淳吉他／有斐閣／¥1,980／ISBN=9784641200111）

科目コード	2694913
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**発達臨床心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	ハタガキ　チエ 畠垣　智恵 静岡大学人文社会科学部・教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【★静岡市教室(静岡市立南部図書館内)（静岡市駿河区南八幡町３－１)】で行います。

授業概要

【授業内容】
乳幼児期、児童期、思春期に焦点を当て、人間の発達の道筋とそこからのずれ、遅れ、逸脱、不全などをともなう状態について紹介します。発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如多動症）と児童虐待について、個人の特性に焦点を当てるだけでなく、家族、子育ての環境、学校環境についても取り上げます。具体的な事例や動画なども紹介します。
【到達目標】
子どもや家庭を取り巻く諸問題について、最近の事例や制度を学び、適切な判断や議論ができるようになる。児童虐待や発達障害について、概念的な理解のみならず、事例を通じて身近な問題として考えられるようになる。
【授業テーマ】
第1回 発達臨床とは　子どもと家族を取り巻く現状
　　発達とは　ピアジェ、エリクソン等の全般的な発達に関わる理論　時期別の心理的な問題の概要
第2回 乳幼児期の発達と愛着形成　愛着の礎となるもの
第3回 発達障害についての基礎理解　DSM-5に基づく発達障害概念の理解
第4回 発達障害　社会性の問題（自閉スペクトラム症：ASD）について
　　幼児期から学齢期の特徴、サポート　動画視聴あり
第5回 発達障害　行動上の問題（注意欠如多動症：ADHD）について
　　幼児期から学齢期の特徴、サポート　動画視聴あり
第6回 発達障害のある子どもと学校・家族　困難さとサポートを多様な視点で理解する
第7回 児童虐待についての基礎理解　小児期逆境体験
第8回 児童虐待への対応をめぐって　行政の取り組み
　　家族を取り巻く子育ての環境も視野に入れて
【学生へのメッセージ】
授業中にコメントペーパーを書いていただきます。授業内容と関連した書籍や映画などを授業中に紹介します。
【受講前の準備学習等】
発達障害や児童虐待に関する新聞記事、ニュース、テレビの特集などに触れておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689189
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	32名
担当講師	タナベ　ハジメ 田辺　肇 静岡大学人文社会科学部・教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55
実施会場	静岡学習センター （三島長陵高校内）

授業概要

【授業内容】
この授業では、心理検査について、実習を通して理解を深めることを目的としております。特に、検査者／被検査者双方の体験を通して、心理検査の性質を学びます。実習が中心となりますので、原則8回の授業全てに出席し、それぞれの実習について、レポート（目的・方法・結果・考察・リファレンスを含む標準レポート）の提出が求められます。

【到達目標】
心理検査を「検査者」や「被検者」として、あるいは、「制作者」として、体験的に学ぶことにより、心理検査における「教示や課題や質問の備えるべき性質」「被検者との検査者との関わりのあり方」「検査者の訓練」「検査後の解釈までの手順」「それらにかかる理論的、統計的な背景」「倫理的配慮」「テストバッテリーなどの実践的な事項」などについて、質問紙法、投映法、課題成績による方法などの方法に応じた違いもふくめて、基本的な事項を具体的に説明できる。
また、検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理検査概論：心理検査の種類とその特性、検査倫理
第2回 質問紙法（実習①）：Y-G性格検査
第3回 症状評価尺度（実習②）：DES
第4回 実習③の準備、レポートについて
第5回 認知機能・神経心理査定：Wisconsin Card Sorting Test（体験：レポートは課しません）
第6回 知能検査（実習③）：ウェクスラー式知能検査（一部：積木模様）
第7回 投影法（実習④）：TAT
第8回 心理査定における検査法：テストバッテリー、検査法以外の方法と総合的理解

【学生へのメッセージ】
実習①では検査を受検した上で、クラス全体の結果を集計し、各自の結果の得点化の実習を行います。
実習③では数名のグループで、検査課題の作成・実施と受検体験の実習をします。実施の様子は録画し、作成から結果の記録までの全過程をレポートで使用します。
実習④では、二人ペアになって検査実施と受検体験の実習をします。その際、個人の検査結果や録音内容については、本人のみがレポート作成で利用します。
いずれの実習でも、個人のプライバシーを尊重するように留意ください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
標準レポートの書き方、参考文献の探し方については、他の心理学研究法の授業の受講を通して、事前に修得しているものとします。
また、性格・知能・精神症状・高次脳機能障害・職業適性など検査で測定されることがらについてのごく基礎的な心理学的な知識は既修であるものとします。
同様に、リッカート法、相加平均、標準偏差、標準得点・偏差値、パーセンタイル順位、積率相関係数、ランダム誤差、α係数、κ係数、感度、特異度、陽性的中率、陰性的中率、事前確率などの心理測定法・心理統計法についての基礎的な知識が既修であることとします。
ウェクスラー式知能検査の積み木模様、コース立方体組み合わせ検査について、興味のある人は学習しておいていただけると実習の準備が進むと思います。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 ('24)」、「心理学研究法 ('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓、ストップウォッチ、ボイスレコーダをご用意ください（スマホの機能で代用可。ただし、スマホの機能を上手く使いこなせない場合は、別にご用意ください）。USBメモリ、LINEなどの共有可能なSNSアカウント、あるいは、オンラインストレージサービスが利用できる環境があるとグループメンバー同士でのデータのやりとりの際に便利です（情報セキュリティや個人情報の扱いにはご留意ください）。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694921	授業概要	【授業内容】 この授業では、ヨーロッパの社会・経済について、教育・生活・余暇などの様々な視点から理解することを目指します。今日の社会を深く理解するには、その歴史的経緯をふまえることが必要です。遠くは中世までさかのぼり、地域別・時代別の特質に注目しながら比較・検討します。特にフランスを例に取り上げながら、多くの素材・資料を使って、様々な姿を多面的に学んでいきます。 【到達目標】 今日のヨーロッパの社会・経済について、特に産業・社会について理解するため、教育・生活・余暇など様々な視点から関心を寄せて、歴史的経緯をふまえて説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 ヨーロッパにとってのEUとは 第2回 移民問題と若者 第3回 教育制度と選抜 第4回 経済と産業① 第5回 経済と産業② 第6回 個人と国家 第7回 仕事と生活 第8回 おわりに 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。世界史を履修していない場合は、高校の教科書などで大きな流れを把握しておくと、理解の助けとなります。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	静岡学習センター		
学習センターコード	22A		
クラスコード	K		
科目名	**ヨーロッパの社会と生活**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	310		
定員	40名		
担当講師	マツダ　ノリコ 松田　紀子 静岡大学国際連携推進機構・教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	静岡学習センター (三島長陵高校内)		

科目コード	2694930	授業概要	【授業内容】 2013年6月に世界遺産に登録された富士山。「富士山の美しい景色や豊かな自然の恵みが長い歴史を通して様々な信仰や芸術を生み出し、今もわれわれ日本人の心のよりどころとなっている」として文化遺産に登録されたものですが、この科目では人文科学分野から富士山を学ぶものです。信仰の原点となる原始・古代に始まり、信仰が大衆化する中世・近世を経て、近代・現代の我々の心の中へ富士山がどのように意識され続けていったのか、歴史学と民俗学による複数のテーマから学習します。 【到達目標】 第１回テーマの富士山信仰史概説を理解し、第２回以降の授業がどの時代を背景にしたテーマであるかを踏まえて、説明することができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 富士山信仰史概説（大高） 第2回 富士山の縁起を知る（大高） 第3回 富士山の参詣曼荼羅を絵解く（大高） 第4回 富士山登山道の「合目」標記の変遷（大高） 第5回 登山案内図にみる富士山周辺の信仰景観（井上） 第6回 登山記から江戸時代の富士登山を読み解く（井上） 第7回 ビジュアルメディアから探る日本の象徴としての富士山（井上） 第8回 富士山のもたらす多様な恵みを活かした生業（井上） 【学生へのメッセージ】 世界文化遺産である富士山の普遍的な価値について、信仰の対象・芸術の源泉といった点からだけではなく、多様な分野からご紹介します。皆さん自身にとって、富士山とはどのような存在なのかということを意識しながら、受講してください。 【受講前の準備学習等】 ・シラバス記載の参考書などを参考にして、実際の授業で触れるテーマについて自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	静岡学習センター		
学習センターコード	22A		
クラスコード	K		
科目名	**富士山の歴史と民俗**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	50名		
担当講師	オオタカ　ヤスマサ 大高　康正 静岡県富士山世界遺産センター教授 イノウエ　タクヤ 井上　卓哉 静岡県富士山世界遺産センター准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・富士山と日本人（遠山敦子編著／静岡新聞社／¥1,980／ISBN=9784783803713） ・古地図で楽しむ富士山（大高康正編著／風媒社／¥1,870／ISBN=9784833101905） ・富士山　信仰と表象の文化史（H.バイロン・エアハート著、井上卓哉訳／慶應義塾大学出版会／¥4,950／ISBN=9784766425420） ・富士山は里山である（中山正典／一般社団法人　農山漁村文化協会／¥2,640／ISBN=9784540131912） ・富士山学　第1号（静岡県富士山世界遺産センター編／雄山閣／¥2,860／ISBN=9784639027584）
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	静岡学習センター (三島長陵高校内)		

科目コード	2694948	授業概要	
学習センター	静岡学習センター		
学習センターコード	22A		
クラスコード	K		
科目名	**<ケルト>から考える ヨーロッパ**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	モリノ　サトコ 森野　聡子 静岡大学名誉教授		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	静岡学習センター （三島長陵高校内）		

【授業内容】
<ケルト>という概念は、ヨーロッパ古代の民族集団から、アイルランド等の「ケルト周縁」を指すなど、その意味は一様ではありません。その理由は、近代においてヨーロッパという概念を補強する<内なる他者>としてケルトがさまざまに語られてきたからです。この授業では<ケルト>の学術的定義から始めて、18世紀以降、ヨーロッパで誕生した比較言語学・考古学・人類学といった近代的諸学問の発展に<ケルト>がどのような位置を占めていたのかを確認し、さらに<ケルト>というアイデンティティ意識と民族運動の関わりを考察します。
【到達目標】
講義を通じて①ヨーロッパの歴史・文化を新たな観点から考察し②大学での学びに必要な批判的視点に基づく分析的考察ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 <ケルト>とは何か
第2回 ヨーロッパ文学のなかの<ケルト>①―「オシアン」から「アーサー王」まで
第3回 ヨーロッパ文学のなかの<ケルト>②―19世紀の「ケルト文芸復興」
第4回 日本における「ケルト受容」
第5回 考古学・歴史学のなかの<ケルト>
第6回 人類学・民俗学のなかの<ケルト>
第7回 民族主義としての<ケルト>
第8回「ケルト懐疑論」ビフォー・アフター
【学生へのメッセージ】
<ケルト>というと、ファンタジー、神話、妖精などを思い浮かべる人も多いと思いますが、それはなぜなのでしょう。ヨーロッパ、そして日本において<ケルト>はどのように語られ、またなぜそのように語られてきたのか、考えてみてください。
【受講前の準備学習等】
ケルトに関する著作は硬軟合わせて多数、日本で出版されています。いくつか読んで、自分なりの疑問点・知りたい点・興味をもった点などをまとめておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・ケルト学の現在（日本ケルト学会（編）／三元社／¥7,260／ISBN=4883035867）
・<民族起源>の精神史―ブルターニュとフランス近代（原聖／岩波書店／¥2,860／ISBN=4000268473）
・ケルト／装飾的思考（鶴岡真弓／筑摩書房／¥1,540／ISBN=4480080945）書誌情報はちくま学芸文庫版

科目コード	2694956	授業概要	
学習センター	静岡学習センター		
学習センターコード	22A		
クラスコード	K		
科目名	**家族とジェンダーの 社会学概論**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	シライ　チアキ 白井　千晶 静岡大学人文社会科学部・教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	この授業は、【★静岡市教室（静岡市立南部図書館内）（静岡市駿河区南八幡町３－１）】で行います。		

【授業内容】
この授業の目的は、私たちの生活・人生に深く根差した家族やジェンダーを社会学の観点から捉える力を養うことです。ジェンダー、セクシュアリティ、リプロダクション（性、避妊・家族計画、不妊治療・生殖技術、妊娠、人工妊娠中絶、出産、産褥、育児）と家族をめぐる社会の仕組みについて、現代や歴史、日本や世界など多様な視点で学びます。女性や子どもの福祉や社会的養護についても学ぶ予定です。面接授業の利点を活かし、グループワークや質疑応答を通して、双方向的、アクティブな学習を目指しています。
【到達目標】
社会学的な視点からジェンダーと家族について理解し、現代日本社会における現状と課題および今後の展望について自らの視点で考えることができる。
【授業テーマ】
第1回 セクシュアリティ
第2回 近代家族と婚姻制度
第3回 不妊
第4回 第三者が関わる生殖技術
第5回 生むことをめぐる現状と歴史
第6回 生まないことをめぐる現状と歴史
第7回 女性の福祉とリプロダクション
第8回 子どもの福祉と共同養育
【学生へのメッセージ】
映像資料の視聴や、グループディスカッションを予定しています。学びを通した出会いを楽しみにしています。なお、アクセス保障については受講センターと相談をお願いします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・『13歳からの家族の研究』（白井千晶／かもがわ出版／¥1,980／ISBN=9784780314069）

科目コード	2694964
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**映像表現入門**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ニシオ　ノリヒロ 西尾　典洋 目白大学メディア学部准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	静岡学習センター (三島長陵高校内)

授業概要

【授業内容】
デジタル機器の進歩により、誰もが動画作品を制作できる時代になりました。この授業では、普段何気なく見ている動画（テレビ、映画、ネット動画）を対象に、その歴史、社会に与える影響を学びます。さらに、身近なソフトウェアを使って簡単なスライドショーの制作を行います。作品制作において必要になる企画・撮影・編集の一連の作業を演習によって体験し、動画制作の基本を学習します。

【到達目標】
・映像表現の歴史・理論・基礎技術を理解し、映像作品を技術面／表現面の両方から客観的に分析・鑑賞できる。
・映像が社会や受け手に与える影響を理解し、目的・対象・メッセージを明確にした映像企画（テーマ設定、構成、表現方針）を立案できる。
・映像制作機器の基本を理解し、簡単な映像作品を自ら制作して発表できる。

【授業テーマ】
第1回 映像制作の最新事情
第2回 映像の歴史、社会に与えた影響
第3回 映像制作の基礎（構図・構成が視聴者に与える印象）
第4回 企画・リサーチとは？
第5回 スライドショーの撮影
第6回 スライドショーの制作・１（粗編集とは？）
第7回 スライドショーの制作・２（BGM,ナレーション入れ）
第8回 作品上映・相互評価

【学生へのメッセージ】
この授業ではiPad（講師より貸出）を利用して制作活動を行います。タブレットPCの操作が発生しますので、操作に慣れていない方はあらかじめご了承の上、受講をお願いします。初心者に合わせて演習を進めていきますが、動画制作の制作フローに従って一部、専門的な内容を取り入れる予定です。慣れた人には少しもの足りないかもしれませんが、あらかじめご了承ください。

【受講前の準備学習等】
本授業は映像制作のために講師のiPadを貸し出しての演習を行う時間があります。しかし、情報収集の際などにノートパソコンがあると作業しやすいです。タブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況（作品のコンセプトデザイン）及び授業で制作する作品によって評価を行います。

【受講者が当日用意するもの】
BYOD-PCの持参は推奨であり、必須ではありません。持参する場合は下記の内容をご確認ください。
１．持参する端末
　種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。
　iPadのiMovieを使った実習を予定している（端末は貸し出し予定）ので、iPadをお持ちであればご持参ください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
３．ソフトのインストール
　ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。
授業では、動画作品の企画・制作を行います。可能であれば自分の趣味や最近行った旅行等の写真や動画をUSBメモリ、SDカード等でお持ちください。紙の写真も利用可能です。（お持ちにならなくても作品制作は可能です）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・新版　映像制作ハンドブック（グラスバレー（EDIUSWORLD.CO（著）、ビデオSALON編集部（編さん）／玄光社MOOK／¥2,090／ISBN=9784768305386）
・新版　映像カメラマンのための構図完全マスター（益子広司（著）、内田一夫（著）／玄光社MOOK／¥2,200／ISBN=9784768304549）

科目コード	2694972
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**情報ネットワークとサービス**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	シバサキ　ジュンジ 芝﨑　順司 放送大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	静岡学習センター （三島長陵高校内）

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

私たちは日々、Web閲覧やメール、SNS、クラウド、IoTなどの情報ネットワークを利用していますが、その仕組みを体系的に理解する機会は多くありません。
本授業では、モバイルやWi-Fiなどの通信の仕組み、インターネットの構造や情報の流れ、情報セキュリティの基礎を、身近な事例を通して学びます。
さらに、自宅や職場のネットワーク環境を自ら確認する方法も習得し、ネットワークを理解し活用できる力を養います。
【到達目標】
・情報ネットワークを利用したサービスの概要について説明することができる。
・情報ネットワークの仕組みの概要について説明することができる。
・情報ネットワークの役割とリスクについて事実に基づき、意見を述べることができる。
【授業テーマ】
第1回 統計でみる情報ネットワークの利用とサービス
第2回 情報ネットワークを利用したサービス
第3回 身の回りの情報ネットワーク
第4回 情報ネットワーク上の情報の伝わり方
第5回 Webや電子メールの仕組み
第6回 情報セキュリティ
第7回 ネットワーク情報の可視化の方法
第8回 まとめ（レポート課題あり）
【学生へのメッセージ】
内容に専門用語も含まれますが、できるだけ図や具体例を通して説明し、交流をしながら授業を進めます。また、身の回りのネットワーク情報を確認する場面もありますが、無理のない範囲で取り組んでください。
適宜、グループディスカッションや質疑応答を行います。
資料の掲載等はGoogle Classroomを利用して提供します。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
受講者には事前にGoogle Classroomを利用して資料等を提供します。掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンでもかまいませんが、第7回では主にwindowsPCを利用します）。
2．OSの指定
授業中の実習に参加するにはWindowsが必要です。
3．ソフトのインストール
ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。
4．その他
windows11以降を対象とします。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694980
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**火山が作った 大地の成立ちと防災**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	コヤマ　マサト 小山　眞人 静岡大学・名誉教授／ 静岡学習センター・客員教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	この授業は、【静岡学習センター（三島長陵高校内） 11月7日（土）の第４時限は★屋外(三島市街周辺)】で行います。

授業概要

【授業内容】
富士山などの火山がもたらす災害に関する話題がたびたび報道されていますが、火山噴火をもたらす現象の積み重ねによって日本列島の広い範囲の大地が作られたことへの理解はあまり広まっていません。本授業では、静岡県の東部を例にとって、火山による大地の成立の歴史、火山特有の地形・地層・岩石がつくられる作用、火山災害の特徴やハザードマップなどについて学び、身の回りの自然景観の見方を養うと共に、火山がもたらす恵みと災害の双方と共生してきた地域社会の歴史・文化・防災についての考察も深めます。
【到達目標】
火山地域の大地の成り立ちを理解した上で、それを成立させた火山現象の基本特性と多様性、火山現象がつくった痕跡や事物の読み解き方とそれらの保全・保護の重要性、時として生じる火山災害の歴史・予測・防災対策について基本的な説明をすることができる。
【授業テーマ】
第1回 日本列島の火山分布とその特徴、マグマの発生と上昇
第2回 噴火現象・噴出物の特徴と多様性
第3回 伊豆半島の生い立ち（1）伊豆の北上と海底火山の時代
第4回 火山が作った三島の大地（実際に三島の街を歩いて地形や岩石を観察しよう）
第5回 伊豆半島の生い立ち（2）本州への衝突と陸上火山の時代
第6回 富士山の生い立ちと噴火の歴史
第7回 火山災害予測の現状、ハザードマップと防災対策
第8回 大地の営みが育てた産業・歴史・文化、世界遺産・富士山と伊豆半島ジオパーク
【学生へのメッセージ】
１日目の第４時限には実際に三島の街歩きと地形・岩石の観察をするので（少雨決行）、歩きやすい靴と服装（必要に応じて雨具、日射・防寒対策など）をご用意ください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
街歩き用の歩きやすい靴と服装（必要に応じて雨具、日射・防寒対策など）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・富士山　大自然への道案内（小山真人／岩波書店／¥990／ISBN=9784004314370）
・伊豆の大地の物語（小山真人／静岡新聞社／¥1,676／ISBN=9784783805496）
・静岡の大規模自然災害の科学（岩田孝仁・北村晃寿・小山真人（編著）／静岡新聞社／¥1,760／ISBN=9784783805557）

【その他（特記事項）】
この科目は「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。この保険の加入については、面接授業開設一覧p.5を参照してください。

科目コード	2694999
学習センター	静岡学習センター
学習センターコード	22A
クラスコード	K
科目名	**薬学への誘い**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	アオヤギ　ユタカ 青柳　裕 金城学院大学薬学部・教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	この授業は、【★掛川教室（掛川市立中央図書館内）（掛川市掛川1148－1）】で行います。

授業概要

【授業内容】
楽しい人生を送るために『健康』は重要な鍵となります。本講座では『健康』を維持するための幅広いテーマを取り上げ、薬学的な見地から見つめなおします。更に、くすりやサプリメント健康食品、ハーブ、漢方薬、スキンケア化粧品などを賢く使いこなし、社会でいきいきと活躍でき、楽しい人生を送るための実践的知識、考え方を身につけます。
【到達目標】
くすりやサプリメント健康食品、ハーブ、漢方薬、スキンケア化粧品など、実践的で広範な薬学的知識を理解し、実生活に生かす考えを説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 薬学入門～くすりのウソ・ホント
第2回 くすりと法～私たちを守っているくすりに関する法律
第3回 医薬品との上手なつきあい方
第4回 サプリメント健康食品とのつきあい方（1）～総論
第5回 サプリメント健康食品とのつきあい方（2）～各論
第6回 ハーブ、生薬、アロマオイルの上手な使い方
第7回 漢方薬入門
第8回 スキンケアを考えましょう
【学生へのメッセージ】
できるだけわかりやすく理解できるように講義します。くすりやサプリ、アロマ、漢方などをよく知って、賢く人生を楽しみましょう！
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、市販薬（自分が興味があるものなら何でも結構です。）の添付文書をインターネットで検索し、内容を見てきてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695006	**授業概要**	**【授業内容】** 本授業では、問題解決にあたって、情報を収集・整理し、解決に向けて発想を広げ、目標に到達するまでの一連の系統立てた技法を学びます。前半は、考え方や手法を学習し、後半はグループワークによる実践です。グループワークでは、司会者や発表者など全員が何らかの役割を担当し、明日から仕事や日常で実践できる考え方を学びます。また、システム思考やデザイン思考といった近年注目されている手法についても一部紹介します。 **【到達目標】** 問題を見つける、制約条件を挙げる、目標を設定する、解決策を検討するといった問題解決の一連の手順を身につける。 自分の考えを図解化して表現することができる。 グループでの適切な情報を収集し、それをもとに自分の意見を再構成し、正しく発信することができる。 これらの一連の作業をグループでの多様な意見に触れながら、解決策を検討できる。 **【授業テーマ】** 第1回 組織による問題解決の進め方とは何か、問題とは何か 第2回 問題を見つけ、目標を設定する 第3回 図解の方法、問題解決の演習 第4回 アイデアの出し方と整理の方法、演習テーマの設定 第5回 演習：グループワーク（テーマの深掘り、目標を設定する） 第6回 演習：グループワーク（対策の検討、アイデア出しと整理） 第7回 演習：グループワーク（発表内容のまとめ、報告書式への記入） 第8回 発表、まとめ、振り返り **【学生へのメッセージ】** 予想もしていなかった問題が発生する現代において、人との違いを受け入れる多様性の視点が重要と言われています。このような中で､価値観の違う複数のメンバーで、多角的視点で問題を解決を行うことが大切です。特に本大学の学生は、職業や年齢などの多様性が高いこともあり、それぞれの違いを認めながら、子供のような純粋で柔軟な発想で問題解決を進めていくことを体得していただくことをねらいとしています。 **【受講前の準備学習等】** 日頃、問題と感じていることを整理しておいてください。自分事や地域の事、社会情勢でも構いません。何らかの問題意識をもって、本授業に臨んでいただくとより理解が深まると思います。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	静岡学習センター（浜松）		
学習センターコード	22S		
クラスコード	Q		
科目名	**改訂・問題解決の進め方**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	モンナ　テツヤ 門奈　哲也 国立研究開発法人　産業技術総合研究所 総括研究主幹		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	浜松サテライトスペース （クリエート浜松内）		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・改訂新版　問題解決の進め方（秋光淳生、門奈哲也／放送大学教育振興会／¥2,420／ISBN=9784595325243） 旧版の教材でも問題ありません。 **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 ２日目の「演習：グループワーク」では、グループ単位での作業になるため、当日の進行により休憩時間がグループ毎に異なります。

科目コード	2695014
学習センター	静岡学習センター（浜松）
学習センターコード	22S
クラスコード	Q
科目名	**英語リーディング入門2**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	ヤストミ　ユウキ 安冨　勇希 静岡大学大学教育センター准教授／ 浜松サテライトスペース客員准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月29日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	浜松サテライトスペース （クリエート浜松内）

授業概要

【授業内容】
英語が苦手な大学生向けのリーディング入門の授業です。
環境、歴史、エンターテインメント、科学などの各分野で起こる世界の出来事を比較的平易な文章で一緒に読み解き、新たな知の世界に触れましょう。
1学期に開講される「英語リーディング入門1」の続きです。（1学期で扱わなかった章を扱います。）
なお、1学期の「英語リーディング入門」を履修していなくても履修できます。

【到達目標】
・環境、歴史、エンターテインメント、科学など様々な分野について簡易な英語で書かれた文章を読みながら、その内容や要旨を理解することができる。
・分からない英単語について、意味や発音を自ら調べることができる。
・英語学習を楽しむことができる。

【授業テーマ】
第1回 Free Solo Climbing: Doing What's Impossible
　　フリーソロ・クライミング ～不可能なことをすること～
第2回 Caber Tossing: A Macho Sport
　　ケイバー・トス ～マッチョなスポーツ～
第3回 Around the World in 518 Days: A Tale of Determination
　　518日間で世界一周 ～決心の物語～
第4回 Kodak and Apple: A Tale of Two Companies
　　コダックとアップル ～二社物語～
第5回 Happy Endings: What Do People Want in a Movie?
　　ハッピーエンディング ～観客は映画に何を求めているか～
第6回 Beyond the Milky Way: What the Stars Tell Us
　　天の川を超えて ～星が教えてくれること～
第7回 Zahra's Paradise: Telling the World about Iran
　　ザフラーの楽園 ～世界にイランのことを伝える～
第8回 振り返り

【学生へのメッセージ】
この授業は、高度な読解力やディスカッション能力の習得をめざすのではなく、大学基礎レベルの英語学習をめざします。なお、授業では、英文法の説明は最低限となります。

【受講前の準備学習等】
教科書を各自で入手し、事前に授業テーマに関連する英文を予習し、自分なりの読解を試みてください。授業では、学生に1文ずつ和訳してもらいます。（なお、分からなければパスOKです。）

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、予習ノートと辞書。

【教科書】
・A New Look at the World Esay to Contemporary Topics（英語リーディング入門 新たな世界を開く15章）（原田祐貨／橋本健広／Patricia Massy／金星堂／¥2,200／ISBN=9784764741041）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2689120
学習センター	静岡学習センター（浜松）
学習センターコード	22S
クラスコード	Q
科目名	**心理学実験１**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	クボタ　タカユキ 久保田　貴之 静岡産業大学経営学部・准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	浜松サテライトスペース （クリエート浜松内）

授業概要

【授業内容】
心理学の研究法とレポートの書き方を概説した後、心理学の実験を3つ（情報伝達、ミュラー・リヤー錯視、一対比較による尺度構成）取り上げます。受講生の皆さんは、実験者・参加者を体験し、得られたデータをもとにレポートをまとめます。授業を通して、実験の方法、データの整理、レポートの書き方について学んでください。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 本授業の位置づけ、心理学研究法
第2回 レポートの書き方、実験課題概要
第3回 情報伝達の実験：実施・分析
第4回 情報伝達の実験：考察・レポート執筆指導
第5回 ミュラー・リヤー錯視の実験：実施・分析
第6回 ミュラー・リヤー錯視の実験：考察
第7回 一対比較による好悪の尺度化の実験：実施・分析
第8回 一対比較による好悪の尺度化の実験：考察

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組み（学習状況）とレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記具、電卓（パソコンやスマートフォンの電卓アプリ、Excel等を利用しても構いません）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれかの科目からでも受講可能です。

科目コード	2695022
学習センター	静岡学習センター（浜松）
学習センターコード	22S
クラスコード	Q
科目名	**社会を読み解く技法**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	アベ　コウヤ 阿部　耕也 静岡大学・特任教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	浜松サテライトスペース （クリエート浜松内）

授業概要

【授業内容】
新聞やテレビ等のメディアで＜社会＞は様々に描かれ、世論やイメージが作られます。
その際、様々な世論調査の結果や統計等が使われますが、そうしたデータはどのように集められ、分析されているのでしょうか。社会調査の方法を学び、部分的に試行してみることによって、社会を読み解く技法について学びたいと思います。

【到達目標】
・学生が社会調査の意義・方法の基礎を理解し、データを的確に判断できるようになる。
・学生が質問紙調査の結果を理解し、また自ら試みることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション：「社会を読む」とは？
第2回 社会調査の意義
第3回 アンケートから＜社会＞を読み取る
第4回 質問紙調査の方法
第5回 質問紙調査の実際
第6回 メディアとは何か？
第7回 メディアを読み解く
第8回 社会を読み解き、社会を描く

【受講前の準備学習等】
・新聞記事やインターネット上で示される世論調査等を調べておいてください。
・授業で学修した視点や方法を活かして復習し、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・＜社会＞を読み解く技法～質的調査法への招待（北澤毅・古賀正義編／福村出版／¥2,860／ISBN=9784571410314）

科目コード	2695030
学習センター	静岡学習センター（浜松）
学習センターコード	22S
クラスコード	Q
科目名	**エネルギーと環境を考える**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	マツダ　サトシ 松田　智 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	浜松サテライトスペース （クリエート浜松内）

授業概要

【授業内容】
エネルギーと環境の問題は、相互に関連し合う複雑な関係にあります。エネルギー資源は自然界から得られ、その意味では資源問題であり、使用後の捨て場の問題は、そのまま環境汚染に繋がります。エネルギーは人間社会で使われるので、もちろん社会・経済・政治的な意味合いが強いのですが、科学法則の支配下にある点では人間の意思を越えています。本講では、これらの諸問題をテーマ別に取り上げ、基本的な理解を図ると共に、持続可能な社会作りの条件について考えます。

【到達目標】
エネルギーと環境の問題を、科学的に信頼できるデータに基づいて論理的に整理して、理解できるようになる素養を身につける。これらの問題の、どこに困難さが存在し、それを克服するにはどんな手立て・道筋があり得るのかを、考え抜く思考力も身につける。

【授業テーマ】
第1回 環境問題とは？：環境問題には地球規模と地域規模がある。各問題の具体像をデータ等で示す。それにより温暖化問題が他と異質であることが浮き彫りになる。
第2回 SDGsと環境政策：環境政策は、1970年代以降に現れた、政治・行政上の比較的新しい課題である。その歴史的概観とSDGsとの関連性・問題点などを整理する。
第3回 環境問題を扱う難しさと対処法：上流側にある資源問題を出発点に、中流にある人間社会、下流にある地球環境の相互関係を概観する。その際に必要となるシステム思考の内容と必要性について述べる。
第4回 エネルギー問題総論：まず人類史を概観し、特にエネルギー利用の歴史に注目する。その中で、産業革命とは熱機関の発明・利用による動力革命であった事実を確認する。その延長上にある現代のエネルギー問題とは、化石燃料問題であることを確認し、化石燃料枯渇後の持続可能社会について展望する。
第5回 温暖化問題（その1）：基礎編として、地球気温はどのように決まるか（熱収支）、温室効果ガスの種類と寄与率、地球気温データ、大気中CO_2濃度変化と地球上の炭素収支など、主に自然科学的な事項を整理する。
第6回 温暖化問題（その2）：コンピュータ・シミュレーション予測の限界と問題点、温暖化と異常気象は関連するのか？、太陽活動と地球気温の関連についての新しい学説、COP会議や世界政治との関連などのトピックスをまとめる。
第7回 脱炭素政策について：日本政府の脱炭素政策の基本構想を、政府資料に基づいて整理する。特に、脱炭素政策の目玉である「グリーン成長戦略」の問題点を議論する。その際に必要な事項として、経済成長の捉え方、再エネ100%で万事解決か？、成長戦略とは何か？などを整理する。
第8回 脱化石燃料社会への課題：脱化石燃料が達成できれば、自動的に脱炭素は可能であるが、それには様々な問題がある。具体的には、一次エネルギーの選択、熱需要をどう賄うか？、新たな動力源は？等々、多岐にわたる。それらを整理し、エネルギーと環境問題を考える視点を総括する。

【学生へのメッセージ】
本講義を基に、マスコミ報道を鵜呑みせず、自分自身で実データをチェックし、自分の頭で判断する習慣を身につけていただけたらと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバス内容から判断して、関連すると思われる新聞・ネット記事などを見ておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・正しく知る地球温暖化（赤祖父俊一／誠文堂新光社／¥1,540／ISBN=9784416208182）
・気候変動の真実　科学は何を語り、何を語っていないか？（スティーブン E. クーニン／日経BP／¥2,420／ISBN=9784296000623）
・「気候変動・脱炭素」14のウソ（渡辺正／丸善出版／¥1,650／ISBN=9784621307328）
・世界史の構造（柄谷行人／岩波書店／¥1,540／ISBN=9784006003234）
・なぜ日本は原発を止められないのか？（青木美希／文藝春秋／¥1,210／ISBN=9784166614332）

科目コード	2695049
学習センター	静岡学習センター（浜松）
学習センターコード	22S
クラスコード	Q
科目名	**「文明」の思想史2：近世～現代**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ヨシダ　ヒロシ 吉田　寛 静岡大学情報学部・教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 10月18日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	浜松サテライトスペース （クリエート浜松内）

授業概要

【授業内容】
現代は、情報技術など高度に科学技術が発達した文明社会である一方、戦争や技術事故、そして地域文化や自然の破壊など、文明のあり方について考えさせられる時代です。最近の国際情勢においては、「文明の衝突」とも考えられる事態も発生しています。前期の講義では、古代から近世の世界史を見ながら「文明」の発展について考えました。今期はとくに、科学技術の母体である近代ヨーロッパ文明の成長と発展について、そして日本を含む世界はどのようにこの文明と向き合っていくべきかについて考えます。授業参加者同士の「対話」を通じて自分とは異なる「文明」観に触れながら、お互いに考えを深めていきたいと思います。

【到達目標】
「近代ヨーロッパ文明」という思想の発展と、世界や日本がどのようにこの文明と向き合ってきたのかについて、講義を踏まえて理解を深める。また他者との対話を通じて、望ましい「文明」のあり方や、「文明」との向き合い方について、これまでの自分にはなかった新たな視点や新たな気づきを得ることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 文化と文明　「日本文明」について
第2回 ヨーロッパ近代文明の始まり　3つの革命
第3回 ヨーロッパ近代文明の広がり　近代主義と植民地
第4回 ヨーロッパ近代文明の批判　ポスト近代主義
第5回 近代日本の文明化　脱亜入欧思想
第6回 近代日本の文明批判、アジア主義
第7回 情報文明と現代社会　インターネット帝国とネット文化
第8回 振り返り　「文明」との向き合い方

【学生へのメッセージ】
高度な情報技術や医療技術が発達している現代。改めて科学技術文明を振り返りながら、私たちの生活を真に豊かにするための考え方を検討しましょう。古代～近世を扱った前期講義の続編ですが、近現代を考える後期だけ受講していただいても大丈夫です。

【受講前の準備学習等】
インターネットや参考文献、あるいは中高の教科書などでもよいので、事前に近現代の世界史や日本史を復習しておいていただけると授業の理解に役だちます。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業内で対話を行うため、メモをとるための筆記用具を持参ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・子どもたちに語るヨーロッパ史（ジャック・ル・ゴフ／筑摩書房（学芸文庫）／¥1,210／ISBN=4480092463）
初心者でもわかりやすいヨーロッパ史。文明史を考えるうえで最適な入門書です。
・文明の衝突と21世紀の日本（サミュエル・ハンチントン／集英社（集英社新書）／¥1,100／ISBN=4087200159）
世界に衝撃を与え、文明論を語るうえで欠かせない、ハンチントンの『文明の衝突』論。その解説に加えて、21世紀の日本、そしてアメリカの戦略を明快に論じています。
・文明と野蛮の衝突　―新・文明論之概略（俵木浩太郎／筑摩書房（新書）／¥792／ISBN=4480059229）
日本の「文明開化」をめぐる思想、中国の孔子思想など、東洋の観点から「文明」を「野蛮」と対比して検討しています。2024年現在、紙媒体は絶版となっているので、電子媒体で購入するか、古書を入手ください。
・対話する社会へ（暉峻淑子／岩波書店（新書）／¥990／ISBN=9784004316404）
講義の中で「対話」を行います。「対話」は日常的にだれもが行っていることですが、意識的に実践することで得られるものはとても大きいのです。「対話」について、その背景や広がり、内容をコンパクトに紹介したものとして本書をお勧めします。
・フランス・バカロレア式　書く！　哲学入門（曽我千亜紀・松井貴英・三浦隆宏・吉田寛／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779514951）
哲学はソクラテスの昔から「対話」を通して思考を深めてきました。フランスの高校には哲学の時間があり、それでは哲学のテキストと向き合って対話的な思考を養います。対話的思考法の実践的なトレーニングとして、拙著で恐縮ですが、本書を、事前にやっておくと力の付く本としてお勧めします。また講師の専門は哲学ですので、講義の論点は本書で示される哲学的な問題と深いところで関連しています。

【その他（特記事項）】
第一回の講義で前期に扱った古代～近世の文明論をざっと振り返りますので、前期の講義を受講せず、この後期の講義だけ受講していただいても大丈夫です。

科目コード	2695057
学習センター	静岡学習センター（浜松）
学習センターコード	22S
クラスコード	Q
科目名	**低酸素環境の生物学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	ヤマウチ　キヨシ 山内　清志 静岡大学名誉教授／ 静岡学習センター・客員教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月15日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	浜松サテライトスペース （クリエート浜松内）

授業概要

【授業内容】
生物は色々な環境に適応して生活している。その中で低酸素環境は、呼吸系・循環器系などの器官だけでなく、個々の細胞内でも、様々な変化がみられる。本授業では、高地低酸素環境を中心に、動物の特徴ある適応戦略を紹介する。また、私たち人類の高地適応の研究にも触れながら、ノーベル賞を受賞した低酸素応答の研究も紹介したい。
【到達目標】
生物の酸素の取り込み・体内での利用の仕組みを説明できる。低酸素環境に生物がどのように適応していったか、その戦略を説明できる。
【授業テーマ】
第1回 環境応答と環境適応
第2回 高山病と高地トレーニング
第3回 高地民族と動物たち
第4回 呼吸器循環器系の低酸素応答と適応
第5回 細胞の低酸素応答と適応：　ミトコンドリアと代謝
第6回 ヘモグロビンの低酸素応答と適応
第7回 分子レベルの低酸素応答と適応：　低酸素応答因子
第8回 遺伝子レベルの低酸素応答と適応
【学生へのメッセージ】
私たちは住みやすい環境で生活していますが、低酸素という極限環境に生息している動物もいます。そんな動物の適応戦略から多くのことを学んでいただけらば、うれしく思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスに示した内容に沿って興味あることを一つ選び、具体的な例をひとつ取り上げ、調べまとめてきてください。テーマについて（A4用紙1枚以内)、授業中に発表してもらう予定です。授業終了後に提出してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノート、準備してきたレポート
【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

科目コード	2695065	**授業概要**	**【授業内容】** 単なる「作文」や「感想文」ではなく、ある程度まとまった内容を論理的にわかりやすく書くためにはどうすればよいのか、理論と実践で学んでいきます。なお、「添削指導」の回では、「小論文作成実践①」で書いた文章の中からいくつかを例として取り上げ、実際に添削をしながら、わかりやすい文章の書き方について講義していきます。 **【到達目標】** レポートや論文の基礎となる、論理的な文章の書き方のポイントについて理解し、ある程度まとまった内容を論理的にわかりやすく書けるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 作文と小論文 第2回 小論文の書き方 第3回 レポートの書き方 第4回 小論文作成実践① 第5回 添削指導・わかりやすい文章とは① 第6回 添削指導・わかりやすい文章とは② 第7回 添削指導・わかりやすい文章とは③ 第8回 小論文作成実践② **【学生へのメッセージ】** 講義の中で、実際に文章（小論文）を書く時間を２回設けます。提出された文章は添削して返却しますが、講義の中で使用することもあります。 **【受講前の準備学習等】** 〈事前学修〉 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 〈事後学修〉 授業中に配付した講義資料を復習してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び小論文により行います。なお、小論文は返却します。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**レポート・論文の書き方入門**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	ハタナカ　マナミ 畠中　愛美 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:20 試験・レポート等 16:20～16:40 11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:15 試験・レポート等 16:15～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 書きやすい鉛筆（シャープペンシル）と良く消える消しゴム。また国語辞典（電子辞書可）を持参すると便利です。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2689014	**授業概要**	**【授業内容】** これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。 **【到達目標】** パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、Webサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出） **【学生へのメッセージ】** 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。 **【受講前の準備学習等】** 「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**新・初歩からのパソコン**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	12名		
担当講師	ナガシマ　マサノリ 長島　正憲 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月22日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証・システムWAKABAパスワード（※必須。ログイン操作を伴う実習があります。） **【教科書】** ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） 授業当日に配付します。 **【参考書】** ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。

科目コード	2695073	**授業概要**	**【授業内容】** 映画をただ受け身で鑑賞するのではなく、語学教材として積極的に活用することは、英語学習のモチベーションを高める効果があります。特に、人気がある映画を選び、それを英語教育に活用することで広い層の学習者が学ぶことができます。この映画では、イギリス英語を中心に、アメリカ英語も含めた様々な英語を学ぶことができます。特に、日常生活で頻繁に用いられる場面に応じた会話表現を学ぶことができます。 **【到達目標】** イギリスで作成された映画を鑑賞することで、日常使用する英語表現を学ぶことができる。 映画で見られる活動を通して、イギリス文化の特徴について理解を深めることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 Love Actually is all around 第2回 Agony of being in love 第3回 Feel uncomfortable? 第4回 Have you gone completely insane? 第5回 It's for you 第6回 Merry Christmas 第7回 The time to be with the people you love 第8回 All I want for Christmas is you **【学生へのメッセージ】** 英語での映画鑑賞というと敷居が高く感じられるかもしれませんが、英語を全て聞き取ることを目標とせず、少しでも英語を聞き取れて、その中から英語学習やイギリス文化理解につながることを学ぶ授業を目指しております。映画もしくはイギリスに興味がある学生さんは是非ご参加ください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。もし余裕があれば、授業前に当該映画を鑑賞されることをお勧めします。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**映画で学ぶ 英語とイギリス文化**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	40名		
担当講師	カマクラ　ヨシヒト 鎌倉　義士 愛知大学教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター （※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で実施。）		**【受講者が当日用意するもの】** 英和辞書、スマートフォンで使用できる辞書も可とします。 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・映画総合教材『ラブ・アクチュアリー』(Richard Curtis／松柏社／¥2,640／ISBN=9784881986837) ・ラブ・アクチュアリー改訂版（スクリーンプレイ・シリーズ）(久米和代（監修）／フォーイン スクリーンプレイ事業部／¥1,760／ISBN=9784894076020)
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2695081	**授業概要**	**【授業内容】** この授業は、初めてスペイン語を学ぶ方を対象としています。基礎的な文法を説明した後、買物、ホテルなど、場面設定した日常会話の練習を中心に、授業を進めていきます。発音練習、ペアワークなどを通じてスペイン語になじんでいってください。今回の授業では、動詞の現在形を使って話せるようになることが目標です。また、適宜動画などの視聴覚教材を使って、スペイン語圏の文化を紹介していきます。 **【到達目標】** スペイン語の特徴、基本的な文法の仕組みを把握する。 スペイン語で挨拶、簡単な日常表現を使うことができる。 動詞の現在形の活用（主に規則活用）を理解し、それを使って簡単な会話や作文ができる。 **【授業テーマ】** 第1回「おはよう」 アルファベットと発音、あいさつ 第2回「コーヒーを一つ、お願いします」 名詞、冠詞、数字 第3回「私は学生です」 ser動詞、形容詞 第4回「銀行はどこにありますか」 estar動詞、hay 第5回「あなたは日本語を話しますか」 -ar動詞 第6回「一緒に食事をしましょう」 -er動詞 第7回「君はどこに住んでいますか」 -ir動詞、「私はお腹がすいています」動詞tener 第8回 質問、全体のまとめ **【学生へのメッセージ】** スペイン語は、約5億人の話者を持ち、20ヶ国の公用語となっています。この授業では、この広いスペイン語圏の様々な文化にふれながら、基礎スペイン語を無理なく習得することを目標としています。リラックスして受講してください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容を参考に、できれば自己学習をしてください。参考書などがあれば、基本的なところに目を通しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**スペイン語を話そうよ！**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	40名		
担当講師	サクライ　リカ 櫻井　里香 名古屋学院大学ほか非常勤講師		
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** お持ちの辞書、参考書をご持参ください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2695090	**授業概要**	**【授業内容】** 授業は、講義及び演習形式で行います。日本人英語学習者が間違えやすい項目を取り上げ、クイズ形式で考えてもらった後、感覚英文法の観点から説明します。また、日常会話でネイティブスピーカーが使う自然な表現を取り上げ、感覚英文法の観点から説明します。認知言語学という理論言語学をわかりやすく英語学習に活かした授業内容となります。 **【到達目標】** ・英語の動詞の形（テンス・アスペクトなど）の仕組みを理解し、文脈に応じて適切に選択し、意図的に使いこなすことができるようになる。 ・英語の法助動詞の機能を理解し、話し手の意図やニュアンスの違いを踏まえて、適切に使用できるようになる。 ・英語の名詞の形（冠詞、名詞の可算性、単数・複数など）の仕組みを理解し、文脈に応じた正しい表現を使いこなすことができるようになる。 ・英語の前置詞の機能を理解し、空間・時間・論理関係を適切に表現できるようになる。 ・誤解しやすい基本語の語法について、動詞、名詞、前置詞、形容詞などの品詞ごとの違いを理解し、適切に使いこなすことができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 時制と相（第9章　時制の表現法/第10章　相の概念） 第2回 時制と心（第11章　過去形と丁寧表現） 第3回 冠詞と名詞（第7章　aとtheの使い方/第8章　名詞の二つの用法） 第4回 比喩表現と多義語（第4章　日常言語の中の比喩/第5章　多義語の意味も、比喩によってつながっている） 第5回 形と意味の関係（第6章　形と意味Ⅰ/第13章　形と意味Ⅱ） 第6回 動詞の用法（第12章　動詞の二つの用法） 第7回 英熟語の学習方法 第8回 法助動詞と形容詞 **【学生へのメッセージ】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【受講前の準備学習等】** テレビ・ラジオの英語講座等から、自分のレベルに合ったものを１、２選んで学習しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**イメージ英文法・語法**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	40名		
担当講師	ナカガワ　ユウヤ 中川　右也 三重大学准教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 英英または英和辞書、スマホの辞書でもよいです。 **【教科書】** ・イメージで捉える感覚英文法 ―認知文法を参照した英語学習法（今井隆夫／開拓社／¥1,980／ISBN=9784758925204） **【参考書】** ・実例とイメージで学ぶ　感覚英文法・語法講義（今井隆夫／開拓社／¥2,090／ISBN=9784758912105） **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2695103	**授業概要**	**【授業内容】** このクラスは韓国語を始めて勉強する方、または韓国語の基礎を固めたい方を対象にします。 韓国語の文字（ハングル）の読み書きを始め、自己紹介、買い物、飲食店での注文など生活に必要な基礎的な会話を学習していきます。どなたでも気軽に勉強できるように、できるだけわかりやすく、かつ本場の韓国語を再現して教えたいと思います。ハングルの仕組みから文法、単語、日常会話、そして韓国文化までカバーしており、面白くて楽しい授業を目指しております。 **【到達目標】** 韓国語の文法仕組みが理解できる。基礎的な名詞及び動詞や形容詞を中心にする600語程度の基本語彙、60項目などの基本文法を身につけ、それを用いた短文の読み書き、聞きとり、そして会話上の運用を可能にする。 **【授業テーマ】** 第1回 ハングルの仕組み 第2回 ハングルの読み書き 第3回 なんですか/誰ですか 第4回 です・ます体 第5回 しません/できません 第6回 覚えていますか？ 第7回 これをください 第8回 ３月２日です **【学生へのメッセージ】** 韓国語の仕組みや読み書きから始めますが、予めハングル文字を覚えてくると大変助かります。生活用語中心の身近な韓国語表現の学習に加え、韓国社会や文化に関する理解も深められる集中講義のような授業にしたいと思っております。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**使える韓国語入門**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	40名		
担当講師	リュウ　ジュウヨン 柳　朱燕 愛知淑徳大学准教授		
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用ノート１冊 **【教科書】** ・ウキウキ韓国語（柳朱燕／ユデザイン出版社／¥2,530） 授業当日に愛知学習センターにて販売します。 **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2695111	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 今日、多くの人がパソコンを利用していますが、パソコンの機能をごく一部しか利用していません。本講習では、社会生活の中でのパソコンの活用事例を紹介するとともに、日常業務などでワード・エクセルを使用している人を対象に、それぞれを本格的に活用するための機能について詳説していきます。具体的には、ワードについては、章立てを行った本格的な文書作成や年賀状の宛名印刷に使える差し込み印刷等の機能までを、エクセルについては、簡単なデータ入力・集計処理から始めて、グラフ作成・関数・マクロ機能などを学習します。パソコン初級者では、単位取得が著しく困難なため、履修の決定は慎重に行って下さい。 **【到達目標】** 多くの人が、ワード・エクセルを日常生活や仕事で使っているが、本来の機能を使えていない場合が大半である。例えば、ワードにおいて、通し番号の入力において数字キーは使わないし、エクセルにおいては、似たような数式を何回も入力する必要はない。この講座では、多くの人が間違えて使っている方法に的を絞って、正しい操作について理解し、実践的な文書や表を効率的に作成できるようになることを目標とする。 **【授業テーマ】** 第1回 コンピュータ発展の歴史・社会生活におけるコンピュータ活用事例 第2回 ワープロとタイプライタの違い 第3回 図の取り扱いと図表番号 第4回 エクセルデータ入力法・基本関数の利用 第5回 見出し設定による本格的な文書作成 第6回 エクセル各種応用関数とグラフ作成 第7回 ワードとエクセルの連携・ワード目次作成 第8回 文書作成演習 **【学生へのメッセージ】** この授業では、ワード・エクセルを日常的に使っている人を対象に、ワードの実践的な機能を使い目次の自動作成まで可能な文書作成や、エクセルの難解なオートフィルを使いこなせるレベルを目指します。事前学習資料に目を通し、スムーズに受講できるようにしておいて下さい。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 インターネットに接続していない環境において、ワード・エクセルで新規作成・編集・保存等の操作が可能なことを確認しておくこと。 受講前に最低限習得しておくべき知識・操作に関して、 https://hnaka24.cloudfree.jp/ouj/ に情報を掲載してあるので、各自で確認・学習しておくこと。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** １日目・２日目共に、授業中に学習したワード・エクセルの課題を提出してもらい評価します。授業内に、持参したパソコンからキャンパスメールで提出してもらいます。操作をご自身で行えるよう、事前にご確認ください。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**ワード・エクセル 実践活用法**		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	18名		
担当講師	ナカニシ　ヒロブミ 中西　宏文 愛知教育大学特別教授		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコン又はタブレット（Surfaceなどのキーボード・マウス機能の付いたもの）を持参してください。（スマートフォンは不可） ２．OSの指定 Windowsが必要です。 ３．ソフトのインストール WORD、EXCELが必要です。 4.イヤホンまたはヘッドホン ノートパソコンに接続して音を聞くことのできるイヤホンまたはヘッドホン（無線接続の場合は、各自で音が聞けるように、あらかじめ設定を済ませておくこと） 5.その他 Windows11、WORD2016、EXCEL2016以上のデスクトップ版（Microsoft Office Home and Business、Microsoft Office Personal、Microsoft Office Professionalなどに含まれるもの）を対象とします。 **【教科書】** ・ワード・エクセル実践活用法（中西宏文／学術図書出版社／¥1,650／ISBN=9784780607581） 授業内容を網羅した書籍です。2019年以降発行のものであれば、問題ありませんので、授業開始前までに、各自ネット書店等で購入しておくようにして下さい。 **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2695120	**授業概要**	**【授業内容】** 食に関する情報が氾濫しているなかで正確な栄養の知識を修得し正しい食選力を養うことは、健康の保持・増進のために必要な力です。 現代の食環境や国民の栄養状態、食事に含まれる各栄養素の知識、食品の機能性、栄養と疾病とのかかわりなど基礎的な事例を学びます。また、この知識に基づき成人期や高齢者における特性と栄養摂取、生活習慣病と食事とのかかわりについても学びます。 **【到達目標】** ・栄養の仕組みを理解し、各栄養素の働きがわかる。 ・栄養素と食品との関係を理解し、食生活に活かすことができる。 ・各ライフステージの特性、それに応じた栄養・食生活を理解する。 ・生活習慣病について理解し、食事面での予防方法を理解する。 **【授業テーマ】** 第1回 食生活と健康 第2回 栄養素について１　炭水化物・脂質・たんぱく質 第3回 栄養素について２　ビタミン・ミネラル 第4回 食品について 第5回 ライフステージの特性と栄養1 第6回 ライフステージの特性と栄養2 第7回 生活習慣病と食生活 第8回 まとめと振り返り **【学生へのメッセージ】** 自分自身の問題として「食生活」をとらえ、社会で起きる多様な事象に関心を持ち、自分の考えを持ちましょう。 **【受講前の準備学習等】** 自分自身の食生活を把握してください。 新聞や雑誌などで健康や栄養に関する記事に目を向けてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**食生活論**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	バンノ　トモコ 阪野　朋子 名古屋葵大学健康科学部健康栄養学科准教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 厚生労働省のホームページにアクセスすることがありますので、スマートフォンやタブレットがあるとよいです。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695138	**授業概要**	**【授業内容】** 社会福祉の主な理論や分野を学ぶとともに、社会福祉施設・機関（介護施設・障害者施設・児童養護施設、社会福祉協議会など）における対人ケアについて考えます。 **【到達目標】** ・社会福祉の主な理論と分野について理解することができる。 ・社会福祉施設における対人ケアの本質を学ぶことができる。 **【授業テーマ】** 第1回 社会福祉の主な理論と分野、グループ交流（アンゲーム・こころかるた） 第2回 地域福祉と社会福祉協議会の役割：ドラマ&ドキュメンタリーから考えるコミュニティワークとアウトリーチ 第3回 児童相談所の臨検・捜索＆被措置児童等虐待の事例検討：社会福祉士国家試験模擬問題から考える 第4回 社会福祉施設における労働条件と労働組合の役割 第5回 笑う介護士&ユマニチュードから考える対人ケア①　映像視聴とクループ作業（KJ法の予定） 第6回 笑う介護士&ユマニチュードから考える対人ケア②　グループ発表とコメント 第7回 障害者施設の実践：社会福祉法人さくらんぼの会（職員）のゲスト講義と質疑 第8回 相談ロールプレイ、講義のまとめ **【学生へのメッセージ】** 担当教員は、これまで「子どもと福祉」「児童福祉」を担当してきましたが、今回はより広い「社会福祉」を取り上げます。内容はこれまでの2科目とほとんど重ならないため、これまで受講した方もぜひ受講してみてください。 **【受講前の準備学習等】** ・社会福祉に関する事項についてインターネットや新聞記事、文献などを通して調べておいてください。 ・２日目のゲスト講義の「社会福祉法人さくらんぼの会」（名古屋市中川区）のホームページを見ておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**社会福祉援助技術論**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ホリバ　ジュンヤ 堀場　純矢 日本福祉大学教授／放送大学客員教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月22日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・児童養護施設の労働問題：子ども・職員双方の人権保障のために（堀場純矢／ミネルヴァ書房／¥7,150／ISBN=9784623098576） ・ユマニチュード入門（本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ／医学書院／¥2,200／ISBN=9784260020282） ・社会的養護Ⅱ（みらいx子どもの福祉ブックス）第2版（喜多一憲 監修・堀場純矢 編集／みらい／¥2,640／ISBN=9784860156084） ・児童養護施設で暮らすということ（楢原真也／日本評論社／¥1,980／ISBN=9784535564091）

科目コード	2695146	**授業概要**	**【授業内容】** 医療職は生活者を支援する専門職です。しかしその前提として「生きている」生命体である「人間」を観察できるフィジカルアセスメント能力が不可欠です。本講義では、臨床場面での推論・フィジカルアセスメントの進め方と要点をまとめ、急変時のバイタルサインをどのようにアセスメントとして活かしていくかについて再確認し、生死に直結する呼吸・循環を中心にした実践的なフィジカルアセスメントを学習していきましょう。 **【到達目標】** 臨床場面での推論・フィジカルアセスメントの進め方と要点を理解し、急変時のバイタルサインをどのようにアセスメントとして活かしていくかについて再確認し、生死に直結する呼吸・循環を中心にした実践的なフィジカルアセスメントができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 臨床推論 第2回 アセスメントをどう進めるか 第3回 急変時のみかた 第4回 意識障害のみかた 第5回 呼吸のみかた 第6回 呼吸の聴診 第7回 循環のみかた 第8回 腹部のみかた **【学生へのメッセージ】** 臨床実践者として必要となる解剖生理学・病態生理学などの関連分野の知識を統合するため、既知の学習内容を振り返ることも求めます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 医療系の資格習得に必要程度の身体の構造・機能並びに病態についての基礎知識があることを前提とします。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 （レポート課題） 本講義を終えて、それまでの自己の臨床実践を振り返りどうであったかと、フィジカルアセスメントを今後の臨床実践にどう活かすかについてまとめてください。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**身体を診る ～生命を護るために**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ヤマウチ　トヨアキ 山内　豊明 放送大学・教授		
日程 実施時間	12月18日(金) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	愛知学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・フィジカルアセスメントガイドブック　目と手と耳でここまでわかる（第2版）（山内豊明／医学書院／¥2,640／ISBN=9784260013840） ・緊急度を見抜く！バイタルサインからの臨床推論（山内豊明／医学書院／¥2,530／ISBN=9784260050326）
			【その他（特記事項）】 医療系の資格習得に必要程度の身体の構造・機能並びに病態についての基礎知識があることを前提とします。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、実際に３つの心理検査を体験してもらいます。自分自身の結果について解釈し、レポートにまとめます。実習を通して、心理検査の面白さと難しさを体験するとともに、心理検査による人間理解の特徴や限界について学びます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの検査すべてについてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理検査法に関する概説 第2回 検査実習１　質問紙検査（エゴグラム） 第3回 検査実習１の解釈と解説 第4回 検査実習２　質問紙検査（ＹＧ性格検査） 第5回 検査実習２の解釈と解説 第6回 検査実習３　投影法検査（風景構成法） 第7回 検査実習３の解釈と解説 第8回 心理検査における倫理と伝え方 **【学生へのメッセージ】** 心理検査を通した人間理解は面白く奥が深いです。また、自分自身が心理検査を体験することで、自分の特徴の一端を垣間見ることもできます。積極的な参加を期待しています。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内での実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	スギオカ　マサノリ 杉岡　正典 名古屋大学心の発達支援研究実践センター准教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:25 試験・レポート等　12:25～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:25 試験・レポート等　16:25～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:25 試験・レポート等　12:25～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 4Bか2Bの鉛筆と消しゴム、12色程度のクレヨンかクレパス **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【その他（特記事項）】** 色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2689120
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ホリ　マサシ 堀　匡 中部大学人文学部准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では、心理学の実験を3つ（ミュラー・リヤー錯視、ワーキングメモリ、心理尺度）取り上げます。受講者自身が実験者や実験参加者となって、データ収集、データの整理と分析、結果のまとめと考察を行い、実験課題ごとにレポートを作成します。授業を通して、心理学実験の実施、データ整理、実験レポート作成の方法について理解することを目標とします。原則として全8回の授業にすべて出席することと、すべての課題のレポートを作成・提出することが必要となります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験のための基礎知識
第2回 ミュラー・リヤー錯視（1）
第3回 ミュラー・リヤー錯視（2）
第4回 心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）（1）
第5回 心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）（2）
第6回 ワーキングメモリ（1）
第7回 ワーキングメモリ（2）
第8回 まとめとレポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
実験実施やレポート作成はパソコンを使用するため、WordやExcelの基本的な操作に慣れていることが必要です。実験課題によってはグループで行う場合があります。レポート作成の負荷が大きい授業です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実験課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。授業内に、持参したパソコンからメール（キャンパスメール）で提出してもらいます。操作をご自身で行えるよう、事前にご確認ください。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンとUSBメモリを持参してください。
2．OSの指定
　実験課題のパソコン上での動作確認が取れているためWindowsを推奨しますが、準備が難しい場合は他のOS（macOS、ChromeOS等）でも構いません。ただし、Word、Excel（ソフトのバージョン指定はありません）が使えるようにしておいてください。
3．ソフトのインストール
　Word、Excel（ソフトのバージョン指定はありません）
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
4．その他
　マウスを持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2695154
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**なぜ大学で学ぶのか**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	アベ　ユキコ 安部　有紀子 名古屋大学准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月1日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、「なぜ大学で学ぶのか」について、高等教育論の知見に基づいて考えることを目的としています。高等教育論の基本的な知識を学ぶとともに、受講者の皆さんが、それぞれの「大学で学ぶ意義」について考えを深めていくことを、授業のねらいとします。日本の大学が参照してきた米国大学を中心とした海外大学との比較を踏まえて、前半は、大学という仕組みが、どのように生まれ、また、どのように変わろうとしているのか考えていきます。後半は、大学進学、大学教育、大卒就職に関わる現代的な課題を学ぶとともに、学生の学習の成果を踏まえたうえで、改めて「なぜ大学で学ぶのか」について考えます。

【到達目標】
・大学や大学生の成り立ちや他国との比較を踏まえ、社会において大学が果たす役割や意義を説明できる。
・現代の日本の大学生に求められる能力やスキルを2つ挙げ、他者にわかりやすく説明できる。

【授業テーマ】
第1回 大学とは何か（世界の大学の歴史と仕組みを学ぶ）
第2回 日本と世界の大学
第3回 現代における大学の役割と課題
第4回 現代社会における放送大学の役割と課題
第5回 なにを大学で学ぶのか（大学教育の現代的課題）
第6回 大学教育と接続を考える（大学進学と卒後就職）
第7回 大学生の質の変化（現代の大学生の課題）
第8回 改めて、「なぜ大学で学ぶのか」

【学生へのメッセージ】
この授業は、受講者の間の話し合いや、教員と受講生間のディスカッションを交えながら進めます。特別な配慮が必要な方は担当教員にご相談ください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
レポート課題：面接授業の内容を踏まえ、「なぜ大学で学ぶのか」について、あなたの考えを記述してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・よくわかる高等教育論（橋本鉱市・阿曽沼明裕（編著）／ミネルヴァ書房／¥2,860／ISBN=9784623091133）

【その他（特記事項）】
パソコンを持参してインターネット検索しても構いません。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
世界の大学生、中世ヨーロッパの頃の大学生、近代の日本の大学生に思いを馳せながら、大学生である自分自身について理解を深めていただければと思います。皆さんのお考えから、私も多くを学ばせていただければと思います。どうぞよろしくお願いします。

科目コード	2689146
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イトウ　キミオ 伊藤　君男 東海学園大学心理学部心理学科教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学における実験的研究を3つ（印象形成、自由再生による記憶の系列位置効果、パーソナルスペース）取り上げます。受講生のみなさんは、それらの実験に、実験者および参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生のみなさんは、原則として8コマの授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験とは？
第2回 実験の実施とデータ処理およびレポートの書き方について
第3回 実験1：パーソナルスペース（1）
第4回 実験1：パーソナルスペース（2）
第5回 実験2：自由再生による記憶の系列位置効果（1）
第6回 実験2：自由再生による記憶の系列位置効果（2）
第7回 実験3：印象形成（1）
第8回 実験3：印象形成（2）
【学生へのメッセージ】
３つのテーマの実験の実施およびレポート作成をおこないますので、積極的に取り組む姿勢が必要となります。
【受講前の準備学習等】
今まで受講された心理学の講義を復習しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
実施した実験についてのレポートを講義内で作成します。

【受講者が当日用意するもの】
電卓（平均値を計算できるものであればパソコン、タブレット、スマホでも可。）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162	**授業概要**	**【授業内容】** **--------------------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **--------------------** 心理学における２つの実験的研究（ストループ効果・視覚探索）を通じて「情報処理装置としてのヒト」に関して理解を深めます。同時に、心理学における仮説設定、実験の方法、データの整理、レポートの書き方について理解することを目指します。全員が実験者、および実験参加者となります。受講生の皆さんは、原則として８コマの授業すべてに出席し、２つの実験についてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理学における実験について 第2回 ストループ効果の説明と実験 第3回 ストループ効果のレポートの書き方 第4回 ストループ効果のまとめ 第5回 視覚探索の説明と実験 第6回 視覚探索のレポートの書き方 第7回 視覚探索のまとめ 第8回 全体のまとめ **【学生へのメッセージ】** 実験の実施・データの分析・レポートの作成にはPCを使用します。特に、EXCEL、WORDの取り扱いには慣れておいてください。また、「心理学統計法」を履修しておかれることが望ましいです。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。授業内に、持参したパソコンから提出してもらいます。操作をご自身で行えるよう、事前にご確認ください。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験３**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	コザワ　リョウ 小澤　良 中京大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ３．ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 ４．その他 ・マウスの使用を推奨します。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【その他（特記事項）】** 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2689162
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ウエハラ　シュンスケ 上原　俊介 鈴鹿医療科学大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月29日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この講義では、囚人のジレンマ、ストループ効果、視覚探索の３つの心理学的実験を行います。受講生は自ら実験に参加し、その結果をレポートにまとめます。本講義を通して、仮説の検証方法や心理学的実験の考え方、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8コマの授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】

心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】

第1回 心理学実験の考え方
第2回 測定とレポートの書き方
第3回 実験1「囚人のジレンマ」の説明と実験
第4回 実験1「囚人のジレンマ」の結果とまとめ
第5回 実験2「ストループ効果」の説明と実験
第6回 実験2「ストループ効果」の結果とまとめ
第7回 実験3「視覚探索」の説明と実験
第8回 実験3「視覚探索」の結果とまとめ

【学生へのメッセージ】

パソコンを使って実験データの整理や分析を行います。とくに、レポート作成ではWord、データの分析にはExcelを使います。

【受講前の準備学習等】

インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。授業内に、持参したパソコンからメールで提出してもらいます。操作をご自身で行えるよう、事前にご確認ください。

【受講者が当日用意するもの】

１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Word が必要です。
　・Excel が必要です。
４．その他
　・マウスの使用を推奨します。
　・ソフトのバージョン指定はありません。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、ご自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2689162	**授業概要**	**【授業内容】** **--------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **--------** 心理学における２つの実験的研究（ストループ効果・視覚探索）を通じて「情報処理装置としてのヒト」に関して理解を深めます。同時に、心理学における仮説設定、実験の方法、データの整理、レポートの書き方について理解することを目指します。全員が実験者、および実験参加者となります。受講生の皆さんは、原則として８コマの授業すべてに出席し、２つの実験についてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理学における実験について 第2回 ストループ効果の説明と実験 第3回 ストループ効果のレポートの書き方 第4回 ストループ効果のまとめ 第5回 視覚探索の説明と実験 第6回 視覚探索のレポートの書き方 第7回 視覚探索のまとめ 第8回 全体のまとめ **【学生へのメッセージ】** 実験の実施・データの分析・レポートの作成にはPCを使用します。特に、EXCEL、WORDの取り扱いには慣れておいてください。また、「心理学統計法」を履修しておかれることが望ましいです。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。授業内に、持参したパソコンから提出してもらいます。操作をご自身で行えるよう、事前にご確認ください。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	M		
科目名	**心理学実験３**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	コザワ　リョウ 小澤　良 中京大学非常勤講師		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ３．ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 ４．その他 ・マウスの使用を推奨します。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** 心理検査はパーソナリティの個人差について測定するために用いられるものです。この授業では、さまざまな心理検査の理論的背景について解説し、実際に３つの心理検査を体験します。心理検査の特徴とその限界を学ぶと同時に、自分自身の結果についてそれぞれ解釈・レポートとしてまとめます。その内容を評価します。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実習すべてについてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理検査法に関する概説 第2回 検査実習１　抑うつ尺度 第3回 検査実習１の解釈と解説 第4回 検査実習２　YG性格検査 第5回 検査実習２の解釈と解説 第6回 検査実習３　バウムテスト 第7回 検査実習３の解釈と解説 第8回 心理検査における倫理 **【学生へのメッセージ】** 自分自身の心理検査の結果について解釈し、レポートにまとめて提出してもらいます。自己理解が少しでも深まればと期待します。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし実施予定の心理検査については当日の実施に影響を及ぼすため事前に調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法（'21)｣を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	L		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	スズキ　ケンイチ 鈴木　健一 名古屋大学心の発達支援研究実践センター教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:25 試験･レポート等 12:25～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:25 試験･レポート等 16:25～16:40 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:25 試験･レポート等 12:25～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** ４Bか２Bの鉛筆と消しゴム（２日目） **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	キムラ　ユミ 木村　ゆみ 東海学院大学人間関係学部講師
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における実験的研究を2つ（ミューラー・リヤー錯視、心理尺度）取り上げます。この講義は実習が中心で受講生は実験者および実験参加者の両方を体験しながら、実験で得られたデータをもとにレポートを作成します。
授業を通して心理学の仮説設定、実験方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。
受講生は原則として8コマの授業すべてに出席し、２つの実験に関するレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験とは
第2回 統計的分析、レポートの書き方
第3回「ミューラー・リヤー錯視」の実験実施
第4回「ミューラー・リヤー錯視」の分析と考察
第5回「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の実験実施
第6回「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の分析
第7回「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の考察
第8回 全体のまとめ、レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用します。基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていること、また心理学やその研究法、統計学の基礎知識があることが望ましいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」を参照してください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により評価します。レポートは授業内に、持参したパソコンからメールで提出してもらいます。操作をご自身で行えるよう、事前にご確認ください。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）
3．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です
　・Wordが望ましいです（Googleドキュメントも可）
　・Excelが必要です
4．その他
　・はさみ、定規、USBメモリ（必要に応じて）、電卓（スマホの電卓機能でも可）
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありません
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2695162
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**家族心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ウラベ　アヤコ 浦邉　綾子 愛知淑徳大学講師
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】
家族は私たちにとって最も身近な関係であり、個人の発達や心の健康に大きな影響を及ぼします。本授業では、家族心理学の基本理論をふまえ、家族を相互作用するシステムとして捉える視点を学びます。家族ライフサイクルに沿った発達的変化、夫婦関係や親子関係の特徴、現代社会における家族の多様性や課題について検討し、家族に生じる問題を関係性の中で理解することを目指します。
【到達目標】
・家族心理学の成立背景と主要理論について説明することができる。
・家族システムの構造・機能および発達的変化について説明することができる。
・夫婦関係および親子関係の特徴を発達的観点から説明することができる。
・現代社会における家族の課題を家族心理学の理論を用いて説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 家族心理学の理論的基礎
第2回 結婚と夫婦関係の発達的理解
第3回 親子関係と養育
第4回 家族ライフサイクルと世代間関係
第5回 家族関係における問題の構造と臨床的理解
第6回 家族ストレスとコミュニケーション
第7回 ジェンダーと家族の社会的文脈
第8回 家族支援の理論と課題
【学生へのメッセージ】
家族をあたり前の存在としてではなく、一つの関係として見つめ直してみましょう。皆さんの経験や疑問を大切にしながら、一緒に考えていきたいと思います。
【受講前の準備学習等】
家族に関する社会的課題や身近な出来事について関心を持ち、新聞や書籍、論文などに目を通しておいてください。日頃から家族に関する話題に触れ、自分なりの問いを持って授業に臨みましょう。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695170
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**環境の社会学**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	タニカワ　サツキ 谷川　彩月 人間環境大学環境科学部講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、自然環境と人間社会との関係性を社会学の視点から学んでいきます。社会学とはその名の通り「社会」を対象とした学問ですが、20世紀中頃以降、環境問題を一種の社会問題として取り上げる環境社会学が徐々に成立していきました。これは分析の視座を人間社会の範囲の外にまで拡げるという意味で、社会学にとってもチャレンジングな試みでした。ここでは環境社会学が何を問題と捉え、どんな学問的発想を積み上げてきたのかを理解することを目指します。
【到達目標】
これまでの環境問題や自然と人とのかかわりについて、ひろく社会学の観点から説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 環境を社会の側面から捉える（1）人間社会と自然環境
第2回 環境を社会の側面から捉える（2）環境思想と社会的リンク論
第3回 環境を社会の側面から捉える（3）受益圏と受苦圏
第4回 環境を社会の側面から捉える（4）生活環境主義
第5回 環境と社会の相互作用を捉える（1）共有地の悲劇と喜劇
第6回 環境と社会の相互作用を捉える（2）リスク社会と環境的公正
第7回 環境と社会の相互作用を捉える（3）農と食の環境問題
第8回 まとめとふりかえり―環境社会学の実践
【学生へのメッセージ】
グループになってディスカッションしたり、その結果をまとめて発表していただく時間を設ける場合があります。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『よくわかる環境社会学　第2版』（鳥越皓之・帯谷博明 編／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=4623079341）

科目コード	2695189
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**日本経済論入門**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	フジカワ　キヨシ 藤川　清史 愛知学院大学経済学部教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 10月18日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】
講義の前半では戦時体制経済から今日までの日本経済の動向を時系列で解説します。ここで受講者の皆さんには、日本経済の近代史をざっくり理解してもらいます。講義の後半では、そうした日本経済の中でも重要なイシューについてお話します。それには、少子・高齢化社会への対応、労働市場改革、社会保障と税の一体改革、コロナ危機の経済問題等が含まれます。
【到達目標】
政府が策定した経済政策と経済の動向の関係が理解できるようになる。また、政府が経済政策を策定した際の時代背景や国際状況が理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 戦時経済体制と戦後復興期の経済（1940～59年）
第2回 高度経済成長と日本経済の国際化（1960～90年）
第3回 バブル崩壊と小泉構造改革（1990～2009年）
第4回 民主党政権とアベノミクスの成長戦略（2009～20年）
第5回 経済成長の減速と人口の少子高齢化
第6回 日本の働き方改革と社会保障と税の一体改革
第7回 農業改革と東京一極集中問題
第8回 コロナ危機の経済問題と「新しい資本主義」
【学生へのメッセージ】
現在の日本経済はどのようにしてできあがったのでしょうか。昭和の時代（第2次大戦前）に遡って見てみましょう。意外な発見があるかもしれません。
【受講前の準備学習等】
受講者の皆さんは、マクロ経済学の基礎的な概念（国内総生産、インフレ、為替レート等）を知っておいてください。また新聞やWeb上の日本経済に関する記事を読んで、本講義の参考書の内容と比較してみてください。受講者の皆さんは、多様な見方・考え方があることを知り、自分なりの見方・考え方を持ってください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・日本経済論・入門（第3版）（八代尚宏／有斐閣／¥2,530／ISBN=9784641166103）
・1940年体制（増補版）（野口悠紀雄／東洋経済新報社／¥1,650／ISBN=9784492395462）

科目コード	2695197
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**財務諸表分析の基礎**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	サイトウ　マサアキ 齋藤　正章 放送大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】
財務諸表には作り方と読み方があります。今回はこの読み方について学習します。まず、主要財務諸表である貸借対照表と損益計算書の読み方について解説します。この知識をもとに、実在する企業の財務諸表を読んでみます。次に、様々な経営指標を利用した財務諸表分析を行います。この内容が一般に財務諸表分析と呼ばれているものです。最後に、受講生の皆さんに財務諸表を実際に分析してもらいます。
【到達目標】
財務諸表に関する基本的な知識を習得し、その分析方法を使って企業経営を判断できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 財務諸表分析の基礎の基礎
第2回 財務諸表分析の基本的な考え方
第3回 財務諸表を読む①
第4回 財務諸表を読む②
第5回 財務指標による分析①
第6回 財務指標による分析②
第7回 比較分析
第8回 まとめと質疑応答
【学生へのメッセージ】
会計・ファイナンス関連の講義を履修したか、予備知識のある学生の受講が望ましいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・ファイナンス入門（三訂版）（齋藤正章・阿部圭司／放送大学教育振興会／¥3,080／ISBN=9784595324116）

科目コード	2695200
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**地中海歴史ものがたりの考古学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ハセガワ　ソウ 長谷川　奏 早稲田大学／東日本国際大学客員教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】
<クレオパトラ>の考古学をテーマとします。舞台のアレクサンドリアは、精密科学を追究する地中海文明の知の中心地であった一方、ファラオ時代の宗教や言語が社会の裏面に息づく都市でもありました。アジアとアフリカ、地中海とインド洋の接点である地勢は、エジプトにはかりしれない富をもたらしましたが、それがまた外来の簒奪者に狙われる悲劇の場ともなった点を、近年の考古学成果に依拠しつつ、文明史をゆるがした一大トピックに触れます。
【到達目標】
講座主題の副題<クレオパトラの考古学>のテーマには、①古代末期世界がヘレニズム的な世界から「ローマ世界」にシフトする点、②オリエントに伝統的な神権社会がゆらぎ理論科学（＋実践科学）が基礎となる社会が築かれる点、③多神教世界が崩壊してキリスト教世界が精神の根元になる世界に移行する点、という主要３点が含まれることを理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 <クレオパトラの歴史ものがたり>を振り返るーその1ー
第2回 <クレオパトラの歴史ものがたり>を振り返るーその2ー
第3回 クレオパトラ登場の前史–ファラオ文明と地中海文明ー
第4回 アレクサンドリアにおける人々の暮しー実践科学の応用ー
第5回 地中海と紅海・インド洋の連環ー広域経済のインパクトー
第6回 クレオパトラ・ストーリーと考古学の新しい発見を求めて
第7回 クレオパトラ後のエジプトー属州への転落と宗教の転変ー
第8回 まとめとしてー環地中海圏の構造変化の視点からー
【学生へのメッセージ】
講義は考古学的な手法でテーマを紐解いていきますが、トピックは、歴史・美術・文学などさまざまな領域にわたりますので、幅広い興味をもって講義にのぞんでください。
【受講前の準備学習等】
シラバスに記されているキーワードを手掛かりに、講義の内容を予測しつつ、受講生各自によるトピックリサーチにより、講義メモの下書きを準備しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『知識革命の系譜学―古代オリエントから17世紀科学革命まで―』（大出晁著／岩波書店（2004）／¥4,400／ISBN=9784000238267）
・『甦るアレクサンドリアー地中海文明の中心都市ー』（ジャン=イヴ・アンプルール著／吉田春美、花輪照子訳／河出書房新社（1999）／¥10,450／ISBN=9784309223469）
・『図説・地中海文明史の考古学ーエジプト・物質文化研究の試みー』（長谷川奏／彩流社（2014）／¥1,980／ISBN=9784779120169）

科目コード	2695219
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**西洋美術史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	アサノ　カズオ 浅野　和生 愛知教育大学名誉教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】
ヨーロッパの美術は、２千年以上の長い歴史を持っています。この授業では、古代ギリシア（紀元前５世紀頃）から近代（20世紀初頭）までの美術作品を映写して見ながら、歴史や社会の背景、美術作品が表す意味、表現・技法上の特徴などを解説します。またその中で、どういうところに着目すれば美術がおもしろく見られるかということにも触れます。
【到達目標】
学生が美術作品を見て、単なる思いつきの感想ではなく、歴史にもとづいた自分の考えを持つことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 古代・中世・ルネサンスの美術（1）
第2回 古代・中世・ルネサンスの美術（2）
第3回 バロックとロココの美術
第4回 新古典主義・ロマン主義
第5回 写実主義
第6回 印象派
第7回 ポスト印象派
第8回 エコール・ド・パリ
【学生へのメッセージ】
美術史は、具体的に絵を見ながら説明するので、わかりやすい学問分野です。この機会に、西洋美術史についての理解を深めてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695227
学習センター	愛知学習センター
学習センターコード	23A
クラスコード	K
科目名	**実験で学ぶ物理学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	スギモト　ノリヒロ 杉本　憲広 特定非営利活動法人総合数理イノベーション理事長／放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	愛知学習センター

授業概要

【授業内容】
1日目は、電気、磁気の統一理論の「電磁気学」を実験で体験しながら、静電気から電磁波まで、電磁気の世界の理解を深めていきます。
2日目は、教室でできる素粒子に関する実験により、素粒子の世界をのぞき、素粒子や放射線についての理解を深めます。身の回りを飛び交う宇宙線や放射線の飛跡を見ることができる高性能の霧箱の作成と観察、素粒子としての光の性質を確かめる実験などを予定しています。

【到達目標】
学生は、授業で扱う物理実験を積極的に行い、結果を考察することによって、自然現象を物理的に捉えることができるようになる。また､学生は本講座で扱う「電磁気」と「素粒子」について、実験をしながら理論的な事柄を探究的に学ぶことにより、身の回りの「電磁気」と「素粒子」への理解が深まるとともに、科学的に探究する姿勢が身につく。

【授業テーマ】
第1回 電気・磁気の世界～静電気・静磁気の実験
第2回 電流と磁場～フレミングの力の実験
第3回 電磁気の世界～電磁誘導と発電実験
第4回 電磁波の世界～電磁波の実験
第5回 光の速度～光速度測定実験
第6回 光子の謎を探る～光電効果の実験
第7回 素粒子を見る～霧箱製作と観察
第8回 電子の速度の謎を探る～磁場中での電子の速度を測定

【学生へのメッセージ】
物理と聞くと難しいというイメージを持つ人は多いかもしれませんが、物理は私たちの身の回りを含めた自然界を探究する楽しい学問です。この講義では通常の講義のように受け身ではなく、実験を中心にすえて、学生同士で意見を交換しながら物理現象の仕組みを探っていきます。積極的な参加を期待しています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓（スマホの電卓でも可）、筆記用具、動きやすい服装（実験のため）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・いきいき物理マンガで実験（奥村弘二／日本評論社／¥1,650／ISBN=9784535788701）
面接授業の実験のいくつかはこの本に紹介されています。マンガを用いて解説されるので手軽に事前の予習ができます。
・いきいき物理マンガで冒険（奥村弘二／日本評論社／¥1,650／ISBN=9784535788718）
面接授業で扱う物理理論がわかりやすく書かれています。事前の予習になります。
・いきいき物理わくわく実験3（愛知・三重物理サークル／日本評論社／¥2,420／ISBN=4535784310）
面接授業で行う霧箱の実験やバンデグラフ発電機などが紹介されています。この本には講義の趣旨である「実験で学ぶ」を可能にする手作り実験のアイディアが多数掲載され、実験を楽しみながら物理学を学べる本です。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2695235	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** DNAと酵素の基礎を学習した後、酵素の機能や性質およびその利用について項目ごとに概説します。DNAの抽出や酵素に関する生物科学実験を通して、酵素が生物中でどのような役割を担っているのかを実感することができます。さらに生成AIを用いて、新規にデザインしたタンパク質の立体構造を観察します。これらの実験を進めながら、生命現象の不思議さと、バイオテクノロジーの魅力について学習し、その理解を深めます。 **【到達目標】** ・DNAとタンパク質を理解し、その生物学的意義を説明できるようになる。 ・酵素について、身近な利用例を含めて、説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 講義: 酵素バイオサイエンス概論 第2回 講義: DNAとは/実験実習: DNAの抽出・分離 第3回 講義: デンプン分解酵素とは/実験実習: 酵素を使ってデンプンを分解してみよう 第4回 講義: タンパク質分解酵素とは/実験実習: 酵素を使ってゼラチンを分解してみよう 第5回 講義: 酸化還元酵素とは/実験実習: 酵素を使ってオキシドールを分解してみよう 第6回 講義: 発光酵素とは/実験実習: 酵素を使って発光させてみよう 第7回 講義: タンパク質の立体構造とは/実験実習: 生成AIを使ってデザインしたタンパク質を観てみよう 第8回 総合討論: まとめ、質疑応答 **【学生へのメッセージ】** 身近な食材を用いた酵素に関する基礎的な実験をします。パソコンを用いた演習ではタンパク質の立体構造を観察します。これらの演習を通して酵素の性質を体感していただき、バイオテクノロジーに興味を持つきっかけにしてもらいたいと考えております。 **【受講前の準備学習等】** 酵素についての基礎的な知識は特に必要ありませんが、身近な酵素について事前に調べておいてください。 また、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**酵素バイオサイエンス実験**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	12名		
担当講師	コジマ　タカアキ 兒島　孝明 名城大学農学部准教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 1）白衣、もしくは汚れても良い服装 2）実験結果の撮影のため、デジカメ、もしくはカメラ付き携帯電話 3）ノートパソコン（詳細は下記参照） １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 ２．OSの指定 WindowsもしくはmacOSが必要です。 ３．ソフトのインストール Chromeブラウザが必要です。また、文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません。 ４．その他 文書作成ソフトを用いて作成した電子媒体でのレポートを提出してください。 ソフトのバージョン指定はありません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 ＊「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としておりますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入ください。

科目コード	2695243	**授業概要**	**【授業内容】** 発生生物学とは、1個の卵細胞が、細胞数を増やし、色々な器官・組織を作り、生体を作り出す過程を学ぶもので、大きく見れば時間軸に沿って生物がどのように変化していくかを学ぶものです。ここでは、カイコ卵を用い、まず、受精から幼虫体完成までの器官形成過程を形態学的に観察します。次に、卵黄タンパク質が、どのように利用されるかを生化学的に観察します。これらを通して、発生生物学の一端を理解します。 **【到達目標】** ・カイコの卵を用いて胚発生過程を観察することにより、幼虫体の完成に至る発生過程を説明できるようになる。 ・SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動を用いたタンパク質分離方法を学び、卵内に蓄積された卵黄タンパク質の発生過程に伴う変化の説明とタンパク質の大きさの推定ができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 講義：発生生物学とは何かを講義し、続けて実験の原理と手順を説明 第2回 講義および実験実習：カイコの受精卵から幼虫孵化直前卵までの胚の形態観察サンプルの調製 第3回 講義および実験実習：光学透過型および実体顕微鏡の原理と操作方法の学習 第4回 講義および実験実習：光学透過型および実体顕微鏡を用いて胚形態の観察とスケッチ 第5回 講義および実験実習：微量操作方法の学習とカイコ卵のタンパク質分析のためのサンプル調製 第6回 講義および実験実習：タンパク質の大きさで分離する電気泳動法の原理と操作方法の学習 第7回 講義および実験実習：電気泳動法による卵黄タンパク質の検出、大きさの算出と動態観察 第8回 講義：実験実習の結果の纏め・発表と考察 **【学生へのメッセージ】** 進み具合によっては実験の順番が異なったり、割愛する部分があります。 **【受講前の準備学習等】** 昆虫の胚発生について事前に調べておいてください。参考書を一応挙げましたが、この面接授業の後に、参考書を読み、発生生物学への理解を深めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	愛知学習センター		
学習センターコード	23A		
クラスコード	K		
科目名	**発生生物学**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	16名		
担当講師	ニイミ　テルユキ 新美　輝幸 基礎生物学研究所教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月22日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	愛知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 白衣に限らないが、汚れても良い服 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・発生生物学ー生物はどのように形づくられるかー（Lewis Wolpert著/大内淑代・野地澄晴訳／丸善出版サイエンスパレット／¥1,100／ISBN=9784621086896） **【その他（特記事項）】** ※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。

科目コード	2695251
学習センター	三重学習センター
学習センターコード	24A
クラスコード	K
科目名	**免疫学・ウイルス学総論**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	カワノ　ミツオ 河野　光雄 三重大学講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	三重学習センター

授業概要

【授業内容】
今日、感染症は複雑化の様相を呈し、従来の常識では考えられなかった新興・再興感染症等の危険性が指摘されています。本講義では、従来の免疫学やウイルス学の話のみならず、現在のニーズにあうホットな話題も提供し、感染症に対する予防法や治療法等についてわかりやすく解説していきたいと思います。
【到達目標】
我々の身体の中で働いている、身近な感染症や病気に対する免疫システムについて理解できる。
【授業テーマ】
第1回 ウイルスの分類・構造と感染形態
第2回 ウイルス感染症の治療
第3回 免疫とその種類
第4回 自然免疫
第5回 獲得免疫
第6回 ワクチン・輸血・アレルギー
第7回 ウイルス感染症①
第8回 ウイルス感染症②
【学生へのメッセージ】
微生物や医療関連の専門的知識があまりなくても理解が可能なように、身近な実例を示しながらゆっくりと授業を進めていきたいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・イラストでわかる微生物学超入門　病原微生物の感染のしくみ　改訂3版（齋藤光正／南山堂／¥2,970／ISBN=9784525163433）
・わかる！ 身につく！ 病原体・感染・免疫　改訂３版（藤本秀士／南山堂／¥3,080／ISBN=9784525162337）

科目コード	2695260
学習センター	三重学習センター
学習センターコード	24A
クラスコード	K
科目名	**ライフサイクルと健康**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヤマジ　ユミコ 山路　由実子 鈴鹿医療科学大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	三重学習センター

授業概要

【授業内容】
人口・社会・産業構造の変化に伴い、私たちをとりまく生活環境は日々変化しています。本講義では、人の生涯（ライフサイクル）を通して、健康づくりにかかる課題や政策・行政サービス・環境づくり・システムなどについて学びます。講義では、テーマに沿って、受講者間で意見交換を行い、多角的な視点で演習形式を用いて相互に学びを深めます。各日講義の最後にはテーマについて自身の考えや学びをワークシートにまとめます。
【到達目標】
・ライフサイクルと健康との関連性について理解し、少子高齢化や社会保障制度存続の危機を迎えている現代において、健康の重要性と健康づくりについて考え、意見を述べることができる。
【授業テーマ】
第1回 時代の変遷と人々の健康
第2回 我が国の健康づくり政策
第3回 健康づくりのための理論　－行動変容を促す－
第4回 各ライフサイクルにおける健康　－乳児期・幼児期－
第5回 各ライフサイクルにおける健康　－学童期・青年期－
第6回 各ライフサイクルにおける健康　－成人期・壮年期－
第7回 各ライフサイクルにおける健康　－老年期－
第8回 健康づくり計画　－自世代の健康づくりを考える－
【学生へのメッセージ】
時代の変化は、社会構造や人々の健康に影響を及ぼします。本受講が、自分や家族・身近な人の健康について考える機会となり、「健康について学び・考える」ことで、疾病予防や健康な日々に繋がってほしいです。健康や社会に興味関心のある方の受講を希望します。
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・社会で生じている様々な問題に関心をもつことを意識しながら、受講の日を迎えてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
健康に関する記事（新聞やネットなどから）興味関心をもった内容を受講初日に各自が印刷して持参ください。
最低でも１記事は持参ください。
授業の中で、記事の紹介をお願いすることがあります。また、演習でも使用します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・国民衛生の動向　Vol.72　No9　2026/2027（厚生の指標増刊）（小田清一　他／一般社団法人　厚生労働統計協会／¥3,740）
ISBNはありません。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では心理臨床の現場で使用される心理検査のうち、代表的な３つの検査（Big Five尺度、内田クレペリン精神検査、バウムテスト）について実習を通して学び、その実施法や解釈について理解を深めます。また、得られた結果を分析することで自己理解を深めるとともに、すべての検査について目的、方法、結果、考察を含む標準的レポートにまとめ、提出していただきます。原則として８回の授業すべてに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理アセスメント概論：種類とその特性、実施上の留意点（倫理含む） 第2回 所見のフィードバック＆レポート作成方法・人格とは 第3回 実習1：質問紙法検査（Big Five尺度） 第4回 実習1：結果の分析とレポート執筆指導 第5回 実習2：作業検査法（内田クレペリン精神検査） 第6回 実習2：結果の分析とレポート執筆指導 第7回 実習3：投影法検査（バウムテスト） 第8回 実習3：結果の分析とレポート執筆指導 **【学生へのメッセージ】** 自身で体験した心理検査結果について解釈し、レポートを提出していただきます。そのため、自己理解の促進に役立ちます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 なお、レポートは提出後のコピーを返却します（原本は三重学習センター保管となります）。
学習センター	三重学習センター		
学習センターコード	24A		
クラスコード	K		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	28名		
担当講師	フクシマ　ヒロト 福島　裕人 同朋大学准教授		
日程 実施時間	10月24日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月25日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40		
実施会場	三重学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 2Bか4Bの鉛筆（描画用として）、消しゴム、ボールペンを持参してください。レポートの執筆は手書きも可としますが、パソコンを使用して執筆を希望される場合は各自ノートパソコンを持参ください。 なお、レポートは各自自宅などでプリントアウトしていただき後日郵送いただくか、ファイルのままでメールにて提出いただく予定です。 その他、当日の検査ローデータをレポートに添付していただきますので、コピー機でのコピー代として20円ほどご用意ください（カメラ等で読み取ってファイルに添付する場合は不要です）。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・改訂版　心理検査の実際（澤田丞司／新興医学出版社／¥4,620／ISBN=9784880024769） 各種心理検査の概要について解説されています。 ・事例でわかる心理検査の伝え方・活かし方（竹内健児／金剛出版／¥3,740／ISBN=9784772411134） 実際の事例をもとに心理検査について解説されています。やや上級者（大学院生～実践に関わっている方）向きです。 ・心理的アセスメント（公認心理師の基礎と実践　第14巻）（津川律子、遠藤裕乃（編）／遠見書房／¥2,860／ISBN=9784866160641）

科目コード	2689146
学習センター	三重学習センター
学習センターコード	24A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	28名
担当講師	トウフクジ　イチロウ 東福寺　一郎 三重短期大学名誉教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	三重学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験を３種類実施します。受講生の皆さんはそれらの実験に実験者及び実験参加者として参画するとともに、実験が終わるたびに標準的なレポート（目的・方法・結果・考察）を作成し、提出することになります。実施する実験題目は下記のとおりで、フィードバック効果以外の実験においてはパソコンを使用します。皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。
【到達目標】
・心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
・実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、心理学実験のレポートの書き方、直接記憶範囲の実験計画
第2回 直接記憶範囲の実験計画と実験の実施
第3回 実験結果の処理作業
第4回 直接記憶範囲実験のレポート執筆指導
第5回 心的回転の実験実施と結果の処理
第6回 心的回転の実験結果の処理とレポート執筆指導
第7回 運動技能学習におけるフィードバック効果の実験と結果の処理（実験にはパソコンは使用しません）
第8回 運動技能学習におけるフィードバック効果の実験処理とレポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
認定心理士をめざす方にとっては必修科目であり、その資格認定基準に沿った授業を行います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1. 持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
2. OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
3. ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Wordが必要です。
　・Excelが必要です。
4. その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・電卓、定規及びアイマスク（実験で使用しますが、感染予防のため各自で持参してください）。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
班に分かれての実施となります。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等の不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2695278	**授業概要**	**【授業内容】** いつの時代も世代によって家族関係は変化しますが、現代はその変化が急激で、伝統的な発達心理学や臨床心理学の理論が適用できないほど家族関係は変化しています。その影響を最も大きく受けるのが、家族の中の弱者である子どもや高齢者、病者や障害者なのではないでしょうか。子育てや介護において、かつては家族や親族、地域社会で支え合い助け合ってきましたが、そのような支援は期待できず福祉サービスが担う役割は増大しています。それによって家族の負担が軽減されたメリットはあるものの新たな問題も生じているように思われます。家族形態は国によって様々なので、本講義では我が国における家族形態の変化とそれが及ぼす影響について概観し、急激な変化によって生じている現代の人々の心理的な問題への対応について家族療法のアプローチを中心に講義します。参加者それぞれが自身や身近な人の家族に関わる問題について考える機会にしてください。 **【到達目標】** 日本の家族の現状と課題について理解し、人々の心理的な問題について家族療法の視点から見られるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 日本の家族形態の変化と現在日本の抱える問題について学ぶ 第2回 家族アセスメントの方法について学ぶ 第3回 自分自身のジェノグラムを作成し自身の家族の特徴を知る 第4回 現代家族が抱える問題についてスモールグループディスカッションを行う 第5回 家族療法による家族の問題へのアプローチについて学ぶ①子どもの事例 第6回 家族療法による家族の問題へのアプローチについて学ぶ②青年の事例 第7回 家族療法による家族の問題へのアプローチについて学ぶ③夫婦の事例 第8回 全体のまとめ **【学生へのメッセージ】** 社会全体の大きな変化を知ると同時に、自分自身や家族もその影響を受けていることを知り、他者への支援だけでなく自分自身がより良く生きることができるよう心理学の知見を活かしてください。そのような心構えで講義に参加してください。 **【受講前の準備学習等】** 授業の中で３世代のジェノグラム（自分、親、祖父母世代を入れた家系図）を作成していただきます。可能な限りそれらに関する情報を得て参加してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	三重学習センター		
学習センターコード	24A		
クラスコード	K		
科目名	**現代日本の家族の課題と家族療法**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ワタベ　チヨコ 渡部　千世子 鈴鹿医療科学大学教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	三重学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・ライフサイクルの臨床心理学（馬場禮子、永井撤／培風館／¥2,640／ISBN=9784563056100） ・家族心理学　第２版（有斐閣ブックス）（中釜洋子、野末武義、布芝靖枝、無藤清子（編集）／有斐閣／¥2,750／ISBN=9784641184466） ・あいまいな喪失とトラウマからの回復:家族とコミュニティのレジリエンス（ポーリン・ボス（著）、中島聡美、石井千賀子（翻訳）／誠信書房／¥4,840／ISBN=9784414414592） ・慢性腎疾患の子どもとその母親・家族の関係発達の諸相：子どもはいかにしてその病気を自らの人生に引き受けるようになるか（渡部千世子／風間書房／¥8,250／ISBN=9784759919592） ・西洋の敗北と日本の選択（エマニュエル・トッド／文春新書／¥990／ISBN=9784166615070）

科目コード	2695286
学習センター	三重学習センター
学習センターコード	24A
クラスコード	K
科目名	**社会問題の論じ方**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	ハヤシバラ　アキヒロ 林原　玲洋 三重大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月29日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	三重学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、初学者向けに簡素化したディベートのルールに則って、さまざまな社会問題について論じるグループワークをおこないます。
ディベートとは、(1)「YES/NO」で答えられる問い（論題）を設定して肯定側と否定側に分かれ、(2) 試合前に収集（リサーチ）しておいた証拠（エビデンス）にもとづいて、(3) 対論者よりも自分の議論の方が優れていることを示し、(4) 第三者である審判（ジャッジ）を説得する、(5) 知的ゲーム（明示的なルールを持つ遊び）です。
論理的・批判的思考力やコミュニケーション力の訓練に適したディベートですが、初学者がいきなり実践するのは難しい面もあります。そこで、この授業では、初学者向けに講師が考案した「論証ゲーム」という方式で、ディベートの練習をおこないます。論証ゲームとは、論証スクリプト（議論の要素を定義する穴埋め式の台本）に従ってプレイヤーが交替で発話しながら、論証マップ（議論の構造をあらわすマインドマップ）を協同で描き、より多様な論点の発想を目指すものです。
【到達目標】
あたえられた論題について、予測・評価・批判・再反論の各論点を発想できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス：社会問題とディベート
第2回 グループワークの進め方：論証マップと論証スクリプト
第3回 ディベートの基本構造：予測と評価
第4回 証拠による裏づけ：例証と反証
第5回 予測をめぐる攻防：例外と回避
第6回 評価をめぐる攻防：排除と包摂
第7回 答えの戦略：プランとカウンタープラン
第8回 総括討論：「議論する」ことの意味を考える
【学生へのメッセージ】
グループワークを中心に進めますので、自分の意見を積極的に発信するとともに、他者の意見を肯定的に受け止める姿勢を求めます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「ディベート教育を推進すべきか」です。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング（宮内泰介／三省堂／¥1,760／ISBN=9784385365305）

科目コード	2695294	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、地方自治をめぐる事案に関して裁判所で争われた判例を読みつつ、地方自治の制度、仕組みについて学んでいきます。今回は具体的には、地方自治体の地位や住民の地位、個人情報保護などに関する判例を取り上げることにより、法的な視点はもちろんですが、それに留まらず政策的な視点からの検討も行います。また、裁判所の制度や判例の読み方についても説明を行うことにより、裁判制度への知識も深めることを目指します。 **【到達目標】** ・授業で取り上げる判例について、裁判所が示した内容を理解し、説明することができる。 ・判例で問題となった地方自治をめぐる論点や課題を理解し、自分なりの意見を持つことができる。 ・裁判の制度について、その概要を説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション（日本の裁判制度について、判例の読み方について） 第2回 法律と条例の関係について（工作物除去命令無効確認請求事件：最大判昭和53年12月21日） 第3回 条例適用にあたっての配慮義務について（規制対象事業場認定処分取消請求事件：最判平成16年12月24日） 第4回 地域居住者の景観利益について（建築物撤去等請求事件：最判平成18年3月30日） 第5回 地方自治体の政策変更とその損害について（損害賠償請求事件：最判昭和56年1月27日） 第6回 契約に関する議会の議決について（違法公金支出損害賠償請求事件：最判平成30年11月6日） 第7回 公の施設の利用拒否について（国家賠償請求事件：最判平成8年3月15日） 第8回 その他関連判例について **【学生へのメッセージ】** 授業の中では、受講者の皆さん同士で議論をしてもらう時間も設けたいと思っています。「裁判」、「判例」と聞いただけで、何となく難しいイメージを持つ方もいるかと思いますが、身構えていただく必要はありません。一緒に議論も行いつつ、理解を深めていきましょう。なお、この授業は「判例で学ぶ地方自治２」となっていますが、１を履修していただいていなくても全く問題はありません。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況（リアクションペーパーの内容も含む）及びレポートの評点により行います。
学習センター	三重学習センター		
学習センターコード	24A		
クラスコード	K		
科目名	**判例で学ぶ地方自治２**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	イマイ　ヨシユキ 今井　良幸 中京大学教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40		
実施会場	三重学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・地方自治のしくみが分かる本（村林守／岩波ジュニア新書／¥946／ISBN=9784005008230） ・地方自治判例百選［第5版］（小幡純子・斎藤誠・飯島淳子編／有斐閣／¥2,970／ISBN=9784641115668） ※授業で取り扱う判例については、当日配付します

科目コード	2695308	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 扱いやすいように関連付けたデータの集まりであるデータ構造と、問題解決のための機械的な処理手順であるアルゴリズムについて、問題を解きながらプログラムを作って動かすことで理解を深めます。基本的なデータ構造とアルゴリズムを活用して、道路網での近道を探索するプログラムをPython言語で作ることを目指します。 **【到達目標】** ・列や集合や木やグラフなどの基本データ構造について説明できる。 ・列やグラフの探索アルゴリズムについて説明できる。 ・Python言語の組み込みデータ構造を活用できる。 ・グラフの基本的な探索アルゴリズムをPython言語で読み書きできる。 ・実行結果をMatplotlibライブラリを使って可視化できる。 **【授業テーマ】** 第1回 Pythonプログラムの読み書き 第2回 Matplotlibによる データと図形 の可視化 第3回 関数定義、基本データ構造（リスト・タプル・辞書） 第4回 表形式（CSV）データの処理 第5回 列の探索アルゴリズム 第6回 データ構造の活用、集合の利用 第7回 グラフの深さ優先探索、最短路アルゴリズム 第8回 道路網での近道探索プログラム作成 **【学生へのメッセージ】** （主にPython以外での）プログラミング経験者を想定した演習です。Python言語によるプログラムの読み書きについて、チュートリアル（https://docs.python.org/ja/3/tutorial/）等で基本事項を確認して授業に臨むことをお勧めします。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 オンラインでのPythonの実行環境（paiza.io、pythontutor.com等）が使えるようにしておいてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	三重学習センター		
学習センターコード	24A		
クラスコード	K		
科目名	**実践 データ構造・アルゴリズム**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	28名		
担当講師	ヤマダ　トシユキ 山田　俊行 三重大学講師		
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	三重学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 1．持参する端末 キーボード付きのノートパソコンを持参してください。プログラムが編集しやすい画面の大きさが必要です。 2．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3．ソフトのインストール ・ブラウザは Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Safariのいずれかが必要です。 ・Word、Excel（報告作成用に必要に応じて）。 4．その他 ・マウスを持参してください（必要に応じて）。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・レポートは電子ファイルで提出してもらいます。 データを保存する場合は、USBメモリーやネットワークストレージ等をご用意ください。受講者が使う実習環境（Google Colaboratory等）によっては利用者登録が必要ですが、授業当日は登録が不要な実習環境を使って解説します。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

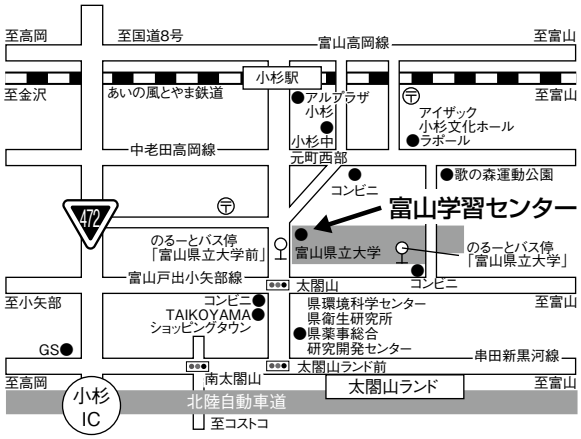
[学習センター・サテライトスペース案内図]

月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

富山学習センター

℡ 0766-56-9230
FAX 0766-56-9232
〒939-0311　射水市黒河5180（富山県立大学　情報基盤センター3階）

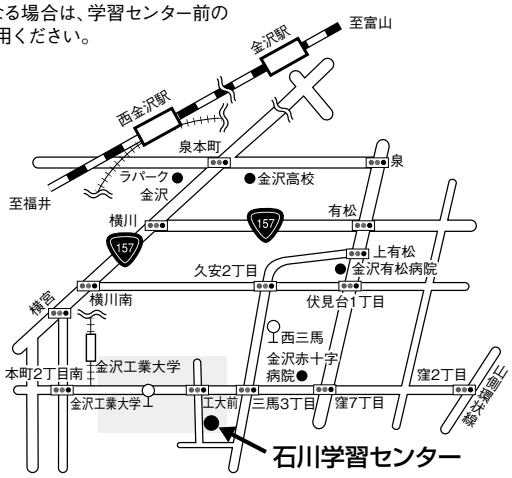
■あいの風とやま鉄道小杉駅下車
徒歩：南口から約20分（約1.5㎞）
タクシー：あいの風とやま鉄道小杉駅北口から約10分



石川学習センター

℡ 076-246-4029
FAX 076-246-4102
〒921-8812　野々市市扇が丘7-1（金沢工業大学 9号館）

■金沢駅東口バスターミナルより、金沢工業大学行乗車（約35分）、金沢工業大学下車
■車でお越しになる場合は、学習センター前の駐車場をご利用ください。

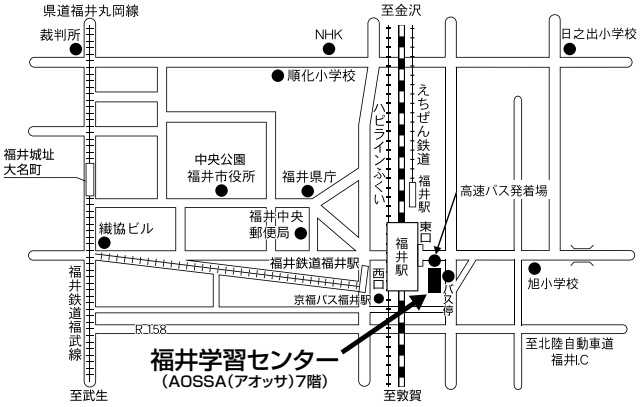


福井学習センター

℡ 0776-22-6361
FAX 0776-22-6431
〒910-0858　福井市手寄1丁目4-1（AOSSA7階）

■JR福井駅東口から徒歩約1分
■福井鉄道福井駅から徒歩約1分
■ハピラインふくい 福井駅から徒歩1分
■えちぜん鉄道福井駅から徒歩約1分
■京福バス福井駅から徒歩約1分

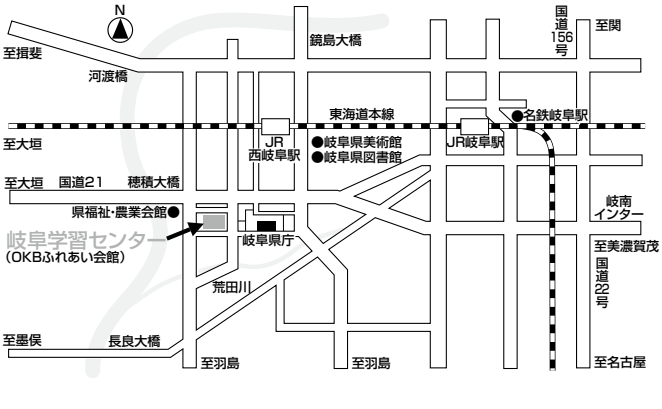
学習センターの駐車場について
●主な駐車場（有料）AOSSA地下駐車場・福井駅東パーキング



岐阜学習センター

℡ 058-273-9614
FAX 058-273-9526
〒500-8384　岐阜市薮田南5-14-53（OKBふれあい会館第2棟2階）

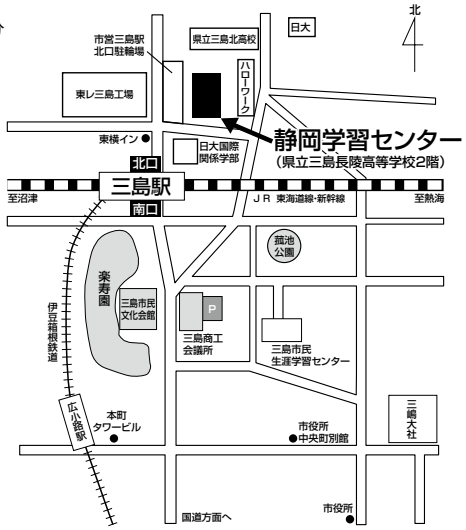
■JR 岐阜駅北口バスターミナルから岐阜バス・加納島線「OKB ふれあい会館行」に乗車、終点下車
■JR 西岐阜駅南口から「西岐阜・くるくるバス」で「県民ふれあい会館前」下車



静岡学習センター

℡ 055-989-1253
FAX 055-989-1255
〒411-0033　三島市文教町1-3-93（静岡県立三島長陵高等学校2階）

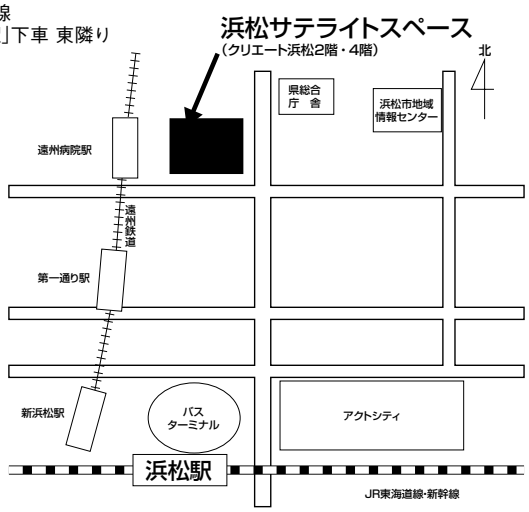
■JR三島駅北口から
約200m　徒歩3分



浜松サテライトスペース

℡ 053-453-3303
FAX 053-453-3327
〒430-0916　浜松市中央区早馬町2-1（クリエート浜松2階・4階）

■JR浜松駅北口から徒歩10分
■遠鉄西鹿島線
「遠州病院駅」下車 東隣り



[学習センター・サテライトスペース案内図]

月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

愛知学習センター

℡ 052-589-8333
FAX 052-583-8611
〒451-0051　名古屋市西区則武新町3-1-17（BIZrium名古屋5階）

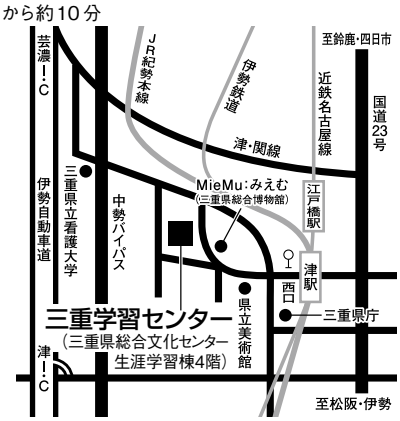
■地下鉄東山線「亀島駅」下車、②番出口徒歩６分
■名古屋駅L4出入口徒歩６分



三重学習センター

℡ 059-233-1170
FAX 059-233-1179
〒514-0061　津市一身田上津部田1234（三重県総合文化センター内）

■鉄道：近鉄名古屋線津駅下車　JR紀勢本線津駅下車　伊勢鉄道津駅下車
■バス：三重交通バス「津駅西口」で「総合文化センター」または「夢が丘団地」行きに乗車、「総合文化センター前」下車（所要時間約５分）
■徒歩：津駅西口から約25分
■自家用車：伊勢自動車道芸濃インターから約15分　伊勢自動車道津インターから約10分



年　月　日

年度　第　　学期
(＿＿＿＿学習センター／サテライトスペース 開設科目)追加登録申請書

学生番号				－							－	

フリガナ 氏名		所属学習センター	
連絡先	〒　－	電話：　（　）	
		メール：	

一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

希望	科目コード	クラス	科目名	第１回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

〇複数の学習センターへ申請する場合は本申請書をコピーするか、面接授業ウェブサイト>「追加登録」について
　から申請書をダウンロードしてください。

〇提出前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

備考


放送大学